

PORTABLE  
TONE

YAMAHA

PSR-420  
PSR-320

取扱説明書

## はじめに

このたびはヤマハポータートーンPSR-420/320をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。PSR-420/320のいろいろな機能を十分に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。なお、ご一読いただいたあとも、不明な点が生じた場合に備えて、保証書とともに大切に保管いただきますようお願いいたします。

## 安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもおお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

### 記号表示について

- ⚠ 記号は、危険、警告または注意を示します。
- 🚫 記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。
- 記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

\* お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### 警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。感電や火災、または故障の原因になります。



使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出た場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。(乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜く。) 感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



電源アダプターは、必ず指定のものを使用する。(異なった電源アダプターを使用すると)故障、発熱、発火などの原因になります。



電源は必ず交流100Vを使用する。エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。感電のおそれがあります。

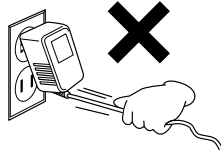


電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。感電やショートのおそれがあります。

# ⚠️ 注意

この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

- ❌ 電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源アダプターコードに重いものをのせない。  
電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。



- ❗ 電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。  
電源アダプターコードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。

- ❌ タコ足配線をしない。  
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。

- ❌ 電源アダプターコードやプラグがいたんだときは使用しない。また、長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。  
感電、ショート、発火などの原因になります。

- ❗ 乾電池はすべて + / - の極性表示通りに正しく入れる。  
正しく入れていない場合、発熱・発火・液漏れのおそれがあります。

- ❗ 乾電池は一度に全部を交換する。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど)を一緒に使用しない。  
発熱・発火・液漏れの原因になります。

- ❗ 長期間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いておく。  
乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

- ❗ 他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。  
感電または機器の損傷のおそれがあります。

- ❌ 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、またほこりや振動の多い場所で使用しない。  
本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。

- ❌ テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。  
デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。

- ❌ 不安定な場所に置かない。  
機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

- ❗ 本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。  
コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。

- ❌ 本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック製品などを置かない。  
本体のパネルが変色/変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

- ❌ 本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。  
本体が破損する原因になります。

- ❌ 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。  
聴覚障害の原因になります。

- ❗ 作成したデータは、故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータはヤマハMIDIデータファイラー-MDF2などの外部機器に保存されることをおすすめします。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、機器の故障や誤操作などによりデータが失われた場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。

長時間使用しないときは、必ず電源を切りましょう。

# PSR-420/320の特長

微妙なニュアンスを表現できるタッチレスポンス付  
61鍵キーボード

高音質、バラエティ豊かな128ボイス+8パーカッションキット(最大同時発音数28音)ボイス選択時に、各ボイスに最適なデュアルボイスやスプリットボイスなどが自動的にセットされるボイスセット機能付

いろいろな音楽ジャンルの演奏が楽しめる100スタイルのオートアカンパニメント(自動伴奏機能)

各スタイルに最適なパネル設定(ボイスなど)をボタンひとつで呼び出せるワンタッチセッティング機能

パネルの設定状況を一目で確認できる大型ディスプレイ

パネル設定(ボイス・スタイルなどの設定)を記憶させ、演奏中もワンタッチで呼び出せるレジストレーションメモリー機能(ア कंपデータをパネル設定のまま固定し、その他のメモリーデータだけを呼びだせるア कंपフリーズ機能付)

カラオケのようにパート練習できるマイナスイオン機能、反復練習に最適なリピート機能、ランプが押さえる鍵盤を教えるガイド機能(PSR-420)と充実した練習機能

演奏に効果的なデジタルエフェクト機能

ア कंप1トラック+メロディ2トラック、合計3トラックに録音/再生が可能なソング機能

プリセットされたアドリブやソロ演奏を、ワンタッチで再生できるマルチパッド(コードに応じて音程が変化するコードマッチ機能付)

スタイルやソングのバリエーションを充実させるミュージックカートリッジが使用できるカートリッジスロット付

音楽表現の可能性を広げるMIDI機能(GMシステム・レベル1対応)

## 音楽を楽しむエチケット



これは、日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を締めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

## 演奏をはじめる前に 4

電源の準備 .....	4
家庭用コンセントから電源をとるときは .....	4
乾電池を使うときは .....	4
演奏の準備 .....	5
SUSTAIN(サステインペダル)端子 .....	5
PHONE(ヘッドフォン)端子 .....	5
譜面立て .....	5
和文シート .....	5

## PSR-420/320 各部の名称 6

## デモ曲を鳴らしましょう 8

電源オン .....	8
マスターボリュームの調整 .....	8
ソングナンバー01からチェインプレイ .....	9
好みのデモ曲を選んで再生 .....	9

## ディスプレイの基本的な操作方法を覚えましょう 10

## ボイスを選んで演奏しましょう 12

キーボードパーカッション .....	14
--------------------	----

## スタイルを選んで、オートアカンパニメントを演奏しましょう 15

オートアカンパニメントとは? .....	15
アカンパニメントスタイルの選択 .....	16
ア कंपモード(シングル/フィンガード)の選択 .....	17
シングル(SINGLE)モード .....	17
フィンガード(FINGERED)モード .....	18
フィンガリングモードの変更 .....	19
ア कंपモード(シングル/フィンガード)のスプリットポイントの設定 .....	19
アカンパニメントコントロール .....	20
アカンパニメントのスタート .....	20
アカンパニメントのストップ .....	21
テンポの調整 .....	21
ビートインディケーターについて .....	21
アカンパニメントのセクションについて .....	22
ア कंपトラックの構成 .....	23
ア कंपのラージ/スモールの切り替え .....	23
トラックデータの変更 .....	24
ア कंपボリューム(AcompVol) .....	24

# 目次

## ワンタッチセッティングを活用しましょう 25

ワンタッチセッティングの呼び出し ..... 25

## 鍵盤の設定を変更しましょう 26

スプリットボイス(SPLITモード)..... 26  
スプリットボイスの設定  
(SPLIT VOICEファンクション)..... 26  
タッチレスポンス(TOUCH RESPONSE)..... 28  
タッチセンス(TouchSns)..... 28  
デュアルボイス(DUAL VOICE)..... 29  
デュアルボイスの設定  
(DUAL VOICEファンクション)..... 29  
ハーモニー(HARMONY)..... 30  
ハーモニータイプの選択  
(HARMONYファンクション)..... 30  
鍵盤の設定(OVERALL)..... 31  
鍵盤ボリューム(Kybd Vol)..... 31  
オクターブ(Octave)..... 31  
パン(Pan)..... 31

## 全体のコントロールをしましょう 32

トランスポーズ(TRANSPOSE)..... 32  
メトロノーム(Metronome)..... 32  
ボイスセット(Voice Set)..... 33  
ランプ(Lamp : PSR-420)..... 33

## デジタルエフェクトを活用しましょう 34

デジタルエフェクトタイプの選択  
(DIGITAL EFFECTファンクション)..... 34

## レジストレーションを記憶させましょう 35

レジストレーションの記憶 ..... 36  
レジストレーションの呼び出し ..... 37  
ア कंपフリーズ機能(ACCOMP FREEZE)..... 37

## マルチパッドを鳴らしましょう 38

マルチパッドの再生 ..... 38

## ミュージックカートリッジを鳴らしましょう 39

カートリッジソング ..... 40  
カートリッジスタイル ..... 41  
カートリッジレジストレーション ..... 42

## 練習機能を活用しましょう 43

マイナスワン演奏 ..... 43  
マイナスワンチャンネルの設定について ..... 45  
リピート(繰り返し)再生 ..... 46  
ソング演奏中にリピート再生するには ..... 46  
ソング停止中に(A & B)をマークするには ..... 46  
ガイド演奏(GUIDE : PSR-420)..... 47

## ソングを録音しましょう 49

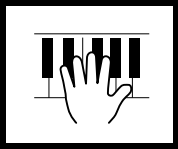
録音 ..... 50  
再生 ..... 53  
録音データのリライト(書き替え)..... 54  
ソングクリア(ソングデータの消去)..... 54

## MIDI機能を活用して演奏の幅を広げましょう 55

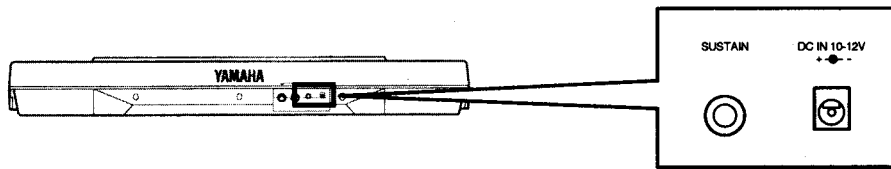
MIDIとは? ..... 55  
PSR-420/320のMIDI端子について ..... 55  
MIDI受信 ..... 56  
リモートチャンネル(受信チャンネル)の設定 ..... 56  
MIDI送信 ..... 56  
送信設定 ..... 56  
その他のMIDI設定 ..... 57  
クロックの設定 ..... 57  
ローカルオン/オフ設定 ..... 58  
イニシャルSEND(InitSnd?)について ..... 58  
MIDIバルクダンプ(MIDI BULK DUMP)について ..... 59  
MIDIバルクダンプ送信 ..... 59  
MIDIバルクダンプ受信 ..... 59

## 資料

PSR-420/320ファンクションツリー ..... 60  
ボイスリスト ..... 62  
パーカッションキットリスト ..... 64  
マルチパッドキットリスト ..... 66  
故障かな?と思ったら ..... 67  
MIDIインプリメンテーションチャート ..... 68  
初期化(イニシャライズ)の方法 ..... 70  
オプション商品のご紹介 ..... 70  
PSR-420/320仕様 ..... 71  
インデックス ..... 72  
保証とアフターサービス ..... 73



# 演奏をはじめる前に



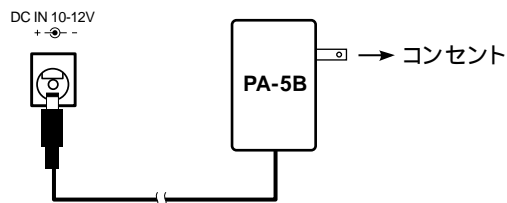
## 電源の準備

PSR-420/320は電源として、家庭用コンセントと乾電池の両方を使うことができます。

### 家庭用コンセントから電源をとるときは

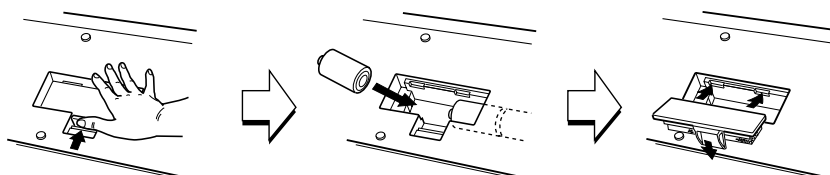
付属の電源アダプターPA-5Bをご使用ください。

- 1 アダプターのDCプラグをリアパネルのDC IN 10-12V(電源アダプター接続)端子にさし込みます。
- 2 アダプターのACプラグを家庭用(AC100V)コンセントにさし込みます。



### 乾電池を使うときは

- 1 PSR-420/320を柔らかい布などの上で裏返し、電池ブタをはずします。
- 2 市販の乾電池(単1乾電池)を6本入れます。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。
- 3 電池ブタを閉めます。



電源アダプターをご使用になる場合は、必ず付属の専用アダプターPA-5Bをご使用ください。他の電源アダプターの使用は発熱・発火などの原因になります。このような場合の故障は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。

乾電池はお早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池がなくなると、ディスプレイに「Btry Low」が表示されます。このようなときは、以下のことに注意して乾電池を交換してください。



乾電池はすべて+ / - の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのおそれがあります。



乾電池は一度に全部を交換してください。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しないでください。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品が異なるものなど)を一緒に使用しないでください。発熱、発火、液漏れの原因になります。



長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いてください。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

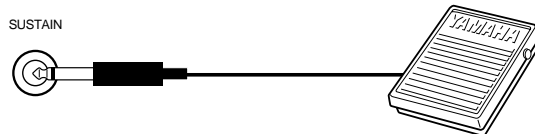


乾電池が入っていても、電源アダプターが接続されると、自動的に電源アダプターから電源が供給されるようになります。

## 演奏の準備

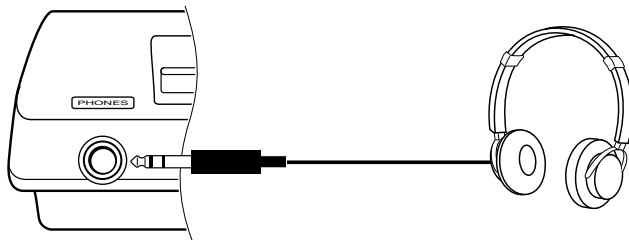
### SUSTAIN(サステインペダル)端子

この端子にフットスイッチ(FC4またはFC5:別売)を接続すると、サステインのオン/オフ操作をフットスイッチで行えます。



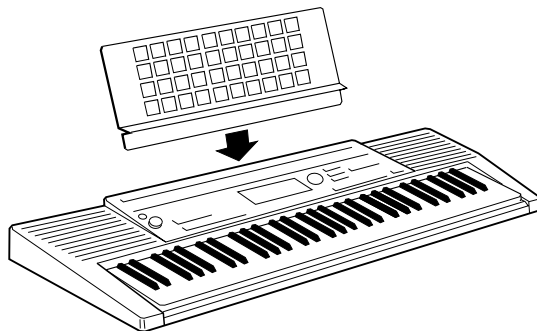
### PHONES(ヘッドフォン)端子

ヘッドフォンを使用する場合は、この端子に接続します。接続すると同時に、PSR-420/320のスピーカーからは音が出なくなります。



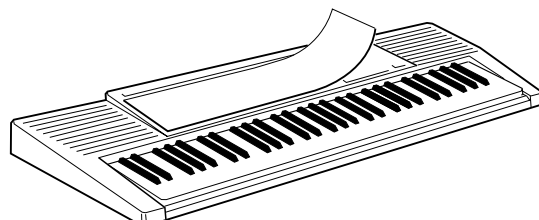
### 譜面立て

楽譜を見ながら演奏する場合は、譜面立てを利用すると便利です。譜面立ての下の部分をPSR-420/320のパネル上のスロットに差し込んでください。



### 和文シート

PSR-420/320のパネルは英語で表記されています。本書の操作説明は英語表記を使用しますが、付属の和文シートをパネルにのせてご利用になることもできます。和文シートは粘着式になっていますので、パネル面に貼り付けることもできます。



#### メモ

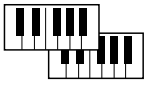
フットスイッチを踏みながら電源を入れると、フットスイッチのオン/オフが逆になります。



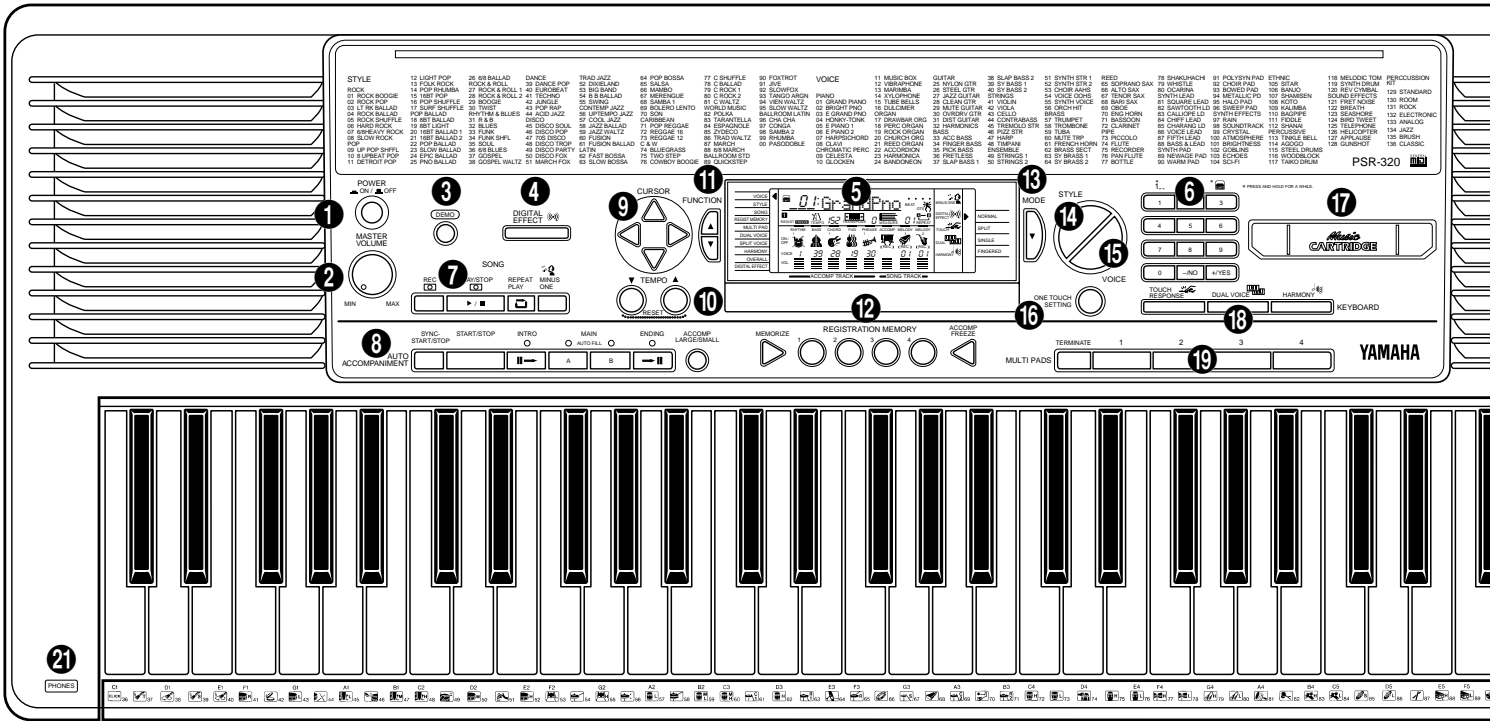
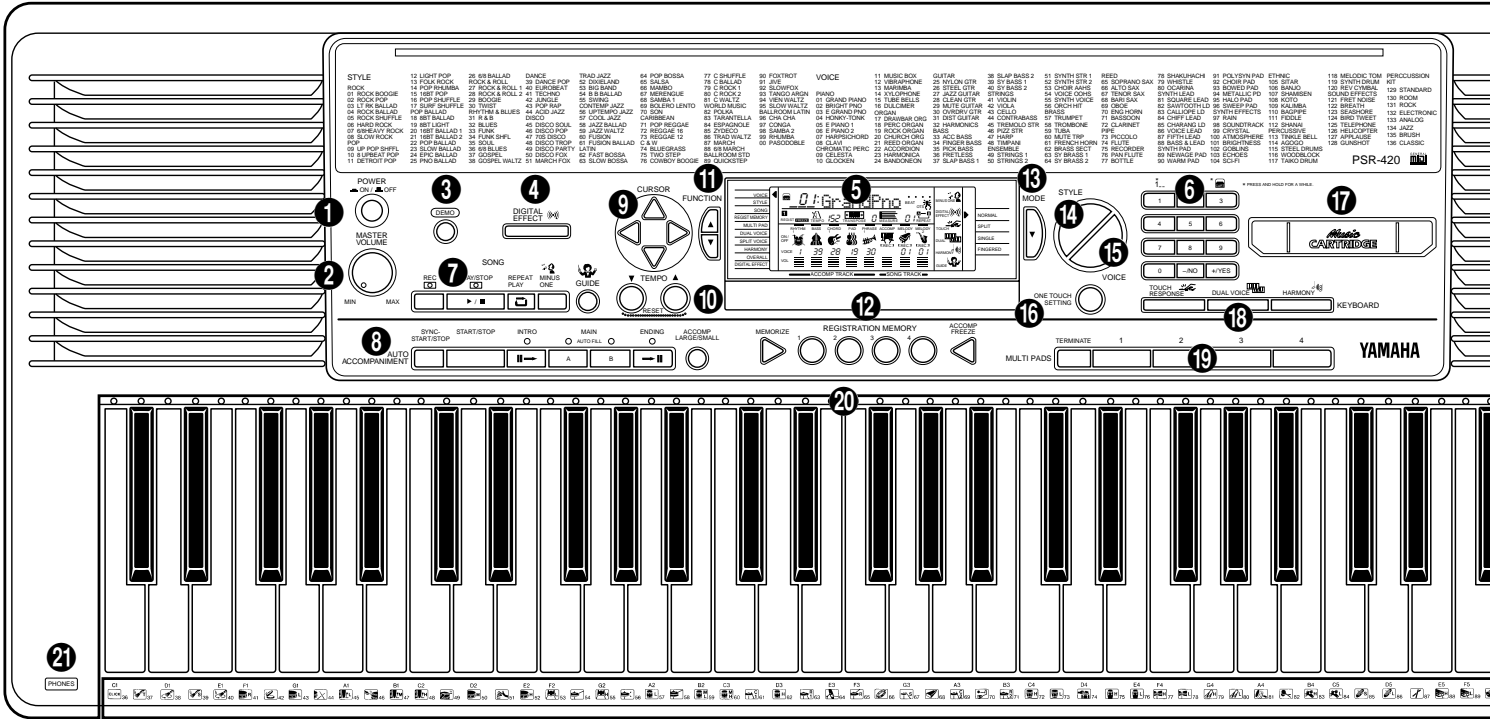
大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

#### メモ

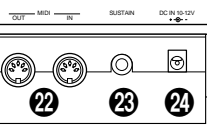
PHONES端子は音声信号を出力しますので、キーボードアンプ、ステレオ、ミキシングコンソール、テープレコーダー等の入力端子と接続すれば、PSR-420/320の演奏を外部機器で鳴らすことができます。



# PSR-420/320 各部の名称

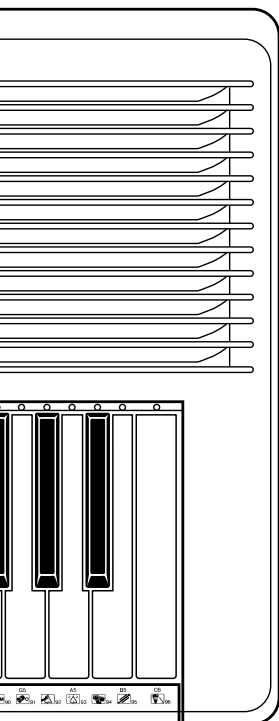


# YAMAHA

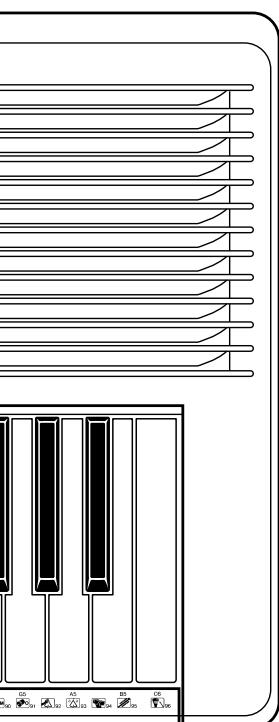




PSR-420



PSR-320



フロントパネル

- ① POWER ON/OFF (電源オン/オフ スイッチ) ..... 8
- ② MASTER VOLUME (マスターボリューム)コントロール ..... 8
- ③ DEMO(デモ)ボタン ..... 9
- ④ DIGITAL EFFECT (デジタルエフェクト)ボタン ..... 34
- ⑤ ディスプレイ ..... 10
- ⑥ テンキー-[0]-[9] [+ /YES] - /NO]... 9,10,11
- ⑦ SONG(ソング)部  
 REC(録音)ボタン ..... 50  
 PLAY/STOP(再生/停止)ボタン ..... 52, 53  
 REPEAT PLAY(リピートプレイ)ボタン ..... 46  
 MINUS ONE(マイナスワン)ボタン ..... 43  
 GUIDE(ガイド)ボタン(PSR-420) ..... 47
- ⑧ AUTO ACCOMPANIMENT (オートアкомпニメント)部  
 SYNC-START/STOP (シンクロスタート/ストップ)ボタン ..... 20  
 START/STOP (スタート/ストップ)ボタン ..... 20  
 INTRO(イントロ)ボタン ..... 20  
 MAIN A/B(メインA/B)ボタン ..... 22  
 ENDING(エンディング)ボタン ..... 21  
 ACCOMP LARGE/SMALL (アкомпラージ/スモール)ボタン ..... 23
- ⑨ CURSOR ◀▶(カーソル)キー ..... 10
- ⑩ TEMPO (テンポ)ボタン ..... 21
- ⑪ FUNCTION (ファンクション)ボタン ..... 10
- ⑫ REGISTRATION MEMORY (レジストレーションメモリー)部  
 MEMORIZE(メモライズ)ボタン ..... 36  
 1~4ボタン ..... 36, 37  
 ACCOMP FREEZE (アкомпフリーズ)ボタン ..... 37
- ⑬ MODE (モード)ボタン ..... 10
- ⑭ STYLE(スタイル)ボタン ..... 11, 16
- ⑮ VOICE(ボイス)ボタン ..... 11, 12
- ⑯ ONE TOUCH SETTING (ワンタッチセッティング)ボタン ..... 25
- ⑰ Music CARTRIDGE (ミュージックカートリッジ)挿入口 ..... 39
- ⑱ KEYBOARD(キーボード)部  
 TOUCH RESPONSE (タッチレスポンス)ボタン ..... 28  
 DUAL VOICE(デュアルボイス)ボタン ..... 29  
 HARMONY(ハーモニー)ボタン ..... 30
- ⑲ MULTI PADS1~4(マルチパッド) ..... 38  
 TERMINATE(ターミネート)ボタン ..... 38
- ⑳ ガイドランプ(PSR-420) ..... 33
- ㉑ PHONES(ヘッドフォン)端子 ..... 5

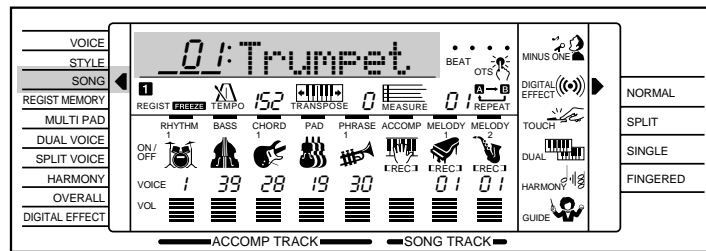
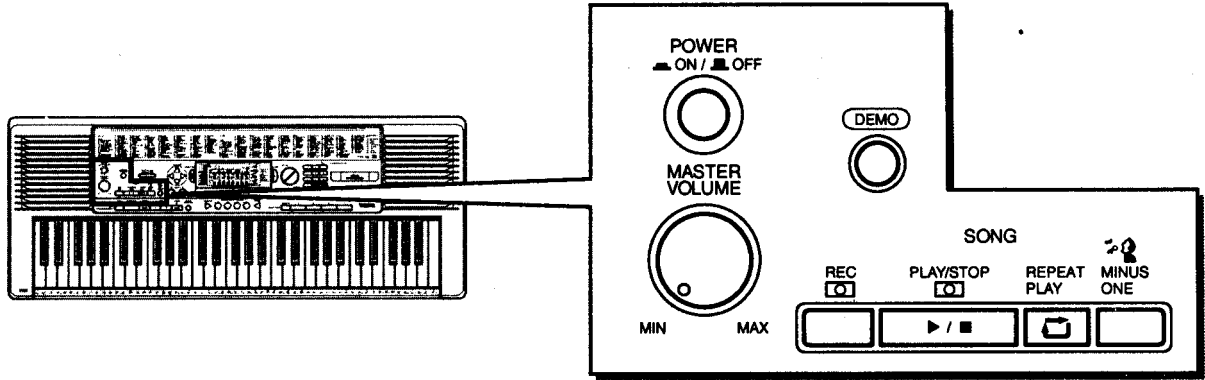
リアパネル

- ㉒ MIDI IN/OUT端子 ..... 55
- ㉓ SUSTAIN(サステイン)端子 ..... 5
- ㉔ DC IN 10-12V(電源アダプター接続)端子 ..... 4



# デモ曲を鳴らしましょう

デモ曲は、ボイスデモ8曲(01~08)とスタイルデモ8曲(09~16)で構成されています。それぞれの曲は、PSR-420/320の代表的なボイス/スタイルをもとに作られています。最初にデモ曲を鳴らしてみましょう。



PSR-420

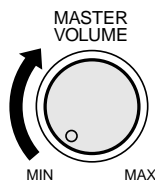
## 電源オン

POWER ON/OFFスイッチを押して電源を入れます。もう一度押すと電源が切れます。



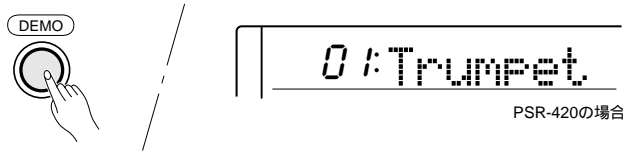
## マスターボリュームの調整

全体の音量は、MASTER VOLUMEコントロールで調整します。鍵盤を弾きながら MASTER VOLUMEコントロールを回して、適度な音量になるように調整します。



## ソングナンバー01からチェインプレイ

DEMOボタンを押すと、デモ曲のソングナンバー01から順番に演奏されます。ディスプレイはSONGファンクションに切り替わり、最上段にはデモ曲のソングナンバーとソングネームが表示されます。



演奏はPLAY/STOPボタン、START/STOPボタン、またはもう一度DEMOボタンを押すまで、何度も繰り返されます。(チェインプレイ)

デモ演奏をストップしても、ディスプレイはそのままSONGファンクションを表示しています。SONGファンクションから抜ける場合は、FUNCTION ボタン、VOICE/STYLEボタンを押して、他のファンクションを選択してください。

## 好みのデモ曲を選んで再生

FUNCTION ボタンを押して、SONGファンクションを選択します。ディスプレイ最上段にはデモ曲のソングナンバーとソングネームが表示されます。[ 0 ]-[ 9 ] + /YES ] - /NO を押して再生するデモ曲を選択します。



PLAY/STOPボタンを押すと、選択されたデモ曲の再生が始まります。選択されたデモ曲の再生は、そのデモ曲の演奏が終了すると自動的にストップします。

途中でデモ演奏をストップする場合は、PLAY/STOPボタン、またはSTART/STOPボタンを押してください。

### メモ

PLAY/STOPボタンを押してデモ曲をストップし、もう一度PLAY/STOPボタンを押してデモ曲をスタートした場合、その曲の演奏が終わると自動的にストップします。

### メモ

PSR-420は、デモ曲の演奏中、ガイドランプが点灯して、押鍵する鍵盤を示します。(ガイド機能：P.47参照)

デモ曲を聴きながら鍵盤で演奏することができます。デモ曲の中にはハーモニー(P.30参照)がかからないものがあります。

デモ曲の再生中にソングナンバーを変更すると、すぐに新しいデモ曲の再生がスタートします。

[ + /YES ] を押し続けると、ソングナンバーは、デモ曲、ソング(P.49参照) カートリッジソング(P.40参照)の順に表示されます。



# ディスプレイの基本的な操作方法を覚えましょう

PSR-420/320は、ファンクション(ボイス/スタイルなど)の設定状況や各機能の設定状況を、フロントパネル中央のディスプレイに表示します。

ここでは、その基本的な操作方法とディスプレイのアイコン(絵記号)の意味を覚えましょう。

## CURSOR ◀▶(カーソル)キー

ディスプレイ内のカーソルは、CURSOR ◀▶キーで移動することができます。カーソル表示には、アンダーライン(下線)が点滅するものと、アイコンや数値が点滅するものの2種類があります。

FUNCTION ボタンやVOICE / STYLEボタンなどを押してファンクションを選択した場合、カーソルは自動的にディスプレイの最上段に移動します。

デュアルボイス、スプリットボイス、オーバーオールファンクションは、各ファンクションに入ってからCURSOR キーを押して設定項目を選択します。



変更できない設定(値)に、カーソルは移動しません。



## CART(カートリッジ)

ミュージックカートリッジのソング/スタイル/レジストレーションを選択する時に表示されます。(P.39参照)



## BEAT(ビート)

ソングやデモ曲、オートアカンパニメントを鳴らすと、4つのインディケータが設定されたテンポにしたがって点滅し、ビート(拍数)を表示します。(P.21参照)



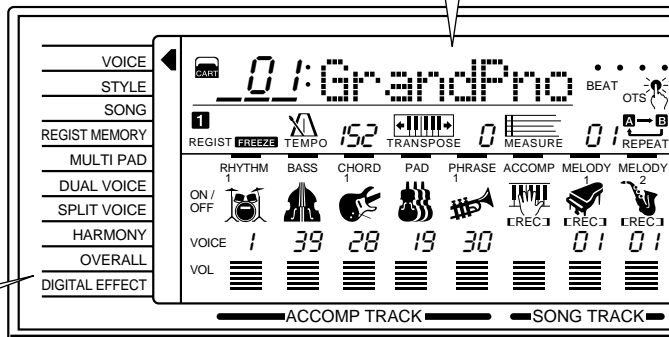
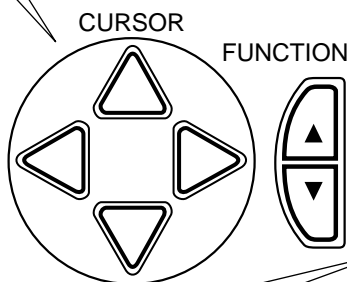
## OTS(ワンタッチセッティング)

ワンタッチセッティングのON/OFFを表示します。(P.25参照)



## REGIST(レジストレーション)

現在呼び出されているレジストレーションナンバー1~4、およびフリーズON/OFFを表示します。(P.35参照)



## FUNCTION(ファンクション)

ディスプレイ左のFUNCTION ボタンで選択します。ディスプレイ左端の◀マークが移動して、ディスプレイの最上段には、選択されたファンクションとそのファンクションの現在の設定(値)が表示されます。



DUAL VOICE/SPLIT VOICE/OVERALLファンクションに入ると、ディスプレイのトラック関連表示が消え、カーソルが移動できなくなります。

## ACCOMP TRACK(アカンパニメントトラック)

5つのアカンパニメントトラック(RHYTHM[リズム] BASS[ベース] CHORD[コード] PAD[パッド] PHRASE[フレーズ])それぞれのトラックON/OFF、ボイスナンバー、ボリュームを表示します。(P.23参照)



## SONG TRACK(ソングトラック)

3つのソングトラック(ACCOMP[アカンパニメント] MELODY 1[メロディ1] MELODY 2[メロディ2])それぞれのトラックの録音/再生のON/OFF、ボリューム、メロディトラックのボイスナンバーを表示します。(P.49参照)



# ディスプレイの基本的な操作方法を覚えましょう



**TEMPO(テンポ)**  
アカンパニメントやソングなどのテンポを表示します。(P.21参照)



**TRANPOSE(トランスポーズ)**  
鍵盤演奏、オートアカンパニメント、ソングの音程を表示します。(P.32参照)



**MEASURE(メジャー[小節])**  
ソングの小節番号を表示します。(P.52参照)



**REPEAT(リピート)**  
リピート再生の状態(A, Bポイント)を表示します。(P.46参照)

## MODE(演奏モード)

ディスプレイ右のMODEボタンで選択します。ディスプレイ右端の▶マークが移動して、選択された演奏モードが表示されます。

**NORMAL(ノーマル)** VOICEファンクションで選択したボイスで鍵盤演奏できます。

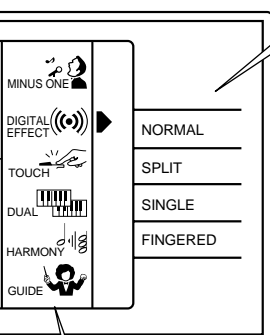
**SPLIT(スプリット)** スプリットポイント(P.27参照)を境に、鍵盤の右側と左側で2種類のボイスを演奏できます。右側鍵盤ではVOICEファンクションで選択したボイスで鍵盤演奏でき、左側鍵盤ではSPLIT VOICEファンクション(P.26参照)で選択したボイスで鍵盤演奏できます。

**SINGLE(シングル)** オートアカンパニメント(自動伴奏)をシングルモードで演奏できます。(P.17参照)

**FINGERED(フィンガード)** オートアカンパニメント(自動伴奏)をフィンガードモードで演奏できます。(P.18参照)

## STYLE/VOICE(スタイル/ボイス)

STYLEファンクションとVOICEファンクションは、ディスプレイ右のSTYLEボタン、VOICEボタンでダイレクトに呼び出すことができます。

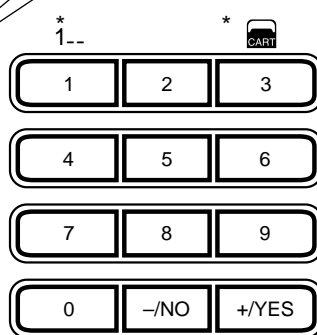


PSR-420

MODE

STYLE

VOICE



テンキー[0]~[9] + /YES] - /NO] 設定(値)の変更はテンキー[0]~[9] + /YES] - /NO] を使用します。[ + /YES] を押すとディスプレイに表示された値が1つ増加、[ - /NO] を押すと1つ減少、押し続けると連続で増減します。また、[ + /YES] [ - /NO] を押してON/OFF設定を切り替えることができます。



ディスプレイに表示される数値には、ボイスナンバーのように、[ + /YES] または [ - /NO] を押し続けると...135 136 001 002...、... 002 001 136 135...というように最大値と最小値の間で循環するものと、トランスポーズのように、[ + /YES] または [ - /NO] を押し続けると、最大値または最小値でストップするものがあります。



**MINUS ONE(マイナスワン)**  
マイナスワンのON/OFFを表示します。(P.43参照)



**DIGITAL EFFECT(デジタルエフェクト)**  
デジタルエフェクトのON/OFFを表示します。(P.34参照)



**TOUCH(タッチレスポンス)**  
タッチレスポンスのON/OFFを表示します。(P.28参照)



**DUAL(デュアルボイス)**  
デュアルボイスのON/OFFを表示します。(P.29参照)



**HARMONY(ハーモニー)**  
ハーモニーのON/OFFを表示します。(P.30参照)

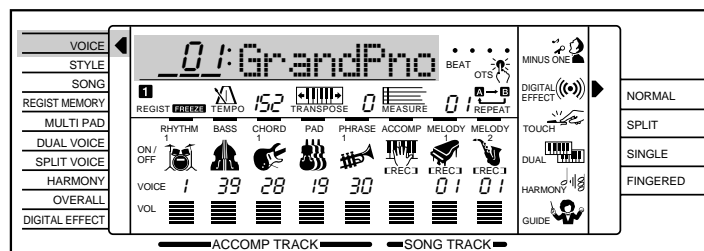
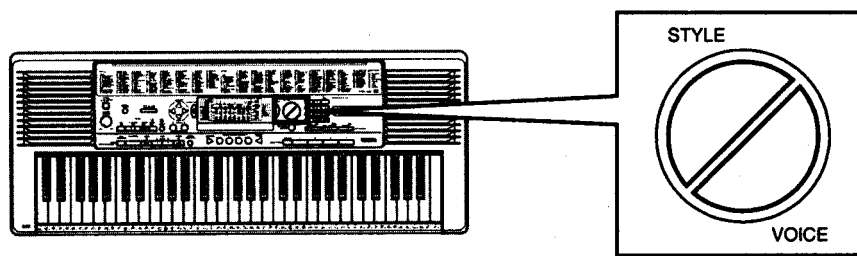


**GUIDE(ガイド: PSR-420)**  
ガイドのON/OFFを表示します。(P.47参照)



# ボイスを選んで演奏しましょう

PSR-420/320には128ボイス(ボイスナンバー001~128)+8パーカッションキット(ボイスナンバー129~136)が内蔵されています。いろいろなボイスを選択して、鳴らしてみましょう。



PSR-420

## 1 VOICEファンクションに切り替えます。

VOICEボタンを押すと、VOICEファンクションに切り替わり、現在選択されているボイス「ノーマルボイス」がディスプレイの最上段に表示されます。(FUNCTION ボタンを押してVOICEファンクションを選択することもできます。)

### メモ

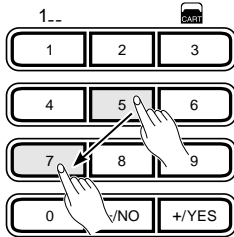
VOICEボタンを押し続けると、ダイレクトにOVERALLファンクションの「Kybd Vol」設定画面に入ることができます。(P.31参照)



## 2 テンキーでボイスナンバーを入力します。

[ 0 ]-[ 9 ] を押して、ボイスナンバーを入力します。

2桁のナンバーは、10の位、1の位の順番に2桁で入力します。



例) ボイスナンバー57「TRUMPET」を選択する場合  
テンキーを[ 5 ] [ 7 ]の順番に押します。

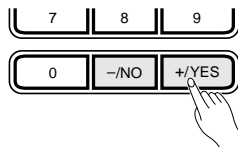
3桁のナンバーは、[ 1 ] を押し続けて100の位「1」をディスプレイに表示させてから、残りの2桁(10の位、1の位)を入力します。



[ 1 ] を押し続けて100の位「1」を  
表示させます。

例) ボイスナンバー108「KOTO」を選択する場合  
テンキー[ 1 ] を押し続けて「1」を表示させてから、[ 0 ] [ 8 ]の順番に押します。

[ +/YES ] - /NO ] を押して、ボイスナンバーを変更することもできます。



## 3 演奏しましょう。

選択したボイスで鍵盤演奏できます。ボイスを選択すると、そのボイスに最適なボイスパラメーターの設定が自動的にパネルにセットされます。(ボイスセットオン/オフ：P.33参照) いろいろなボイスを選んで演奏しましょう。

また、PSR-420は、鍵盤を押さえると鍵盤の上のランプが点灯します。(ランプオン/オフ：P.33参照)

### メモ

ボイスによって最適な音域 (OVERALLファンクションOctave = 0)が鍵盤にセットされます。(キーボードパーカッションを除く)

PSR-420/320本体のパネルボイスの配列は「GMシステムレベル1 (P.69参照)に準拠していますが、オクターブ、ボリューム、タッチカーブの設定は異なります。

# ボイスを選んで演奏しましょう

## キーボードパーカッション

ボイスナンバー129～136を選択すると、鍵盤を押してさまざまな打楽器(パーカッション)音色を鳴らすことができます。

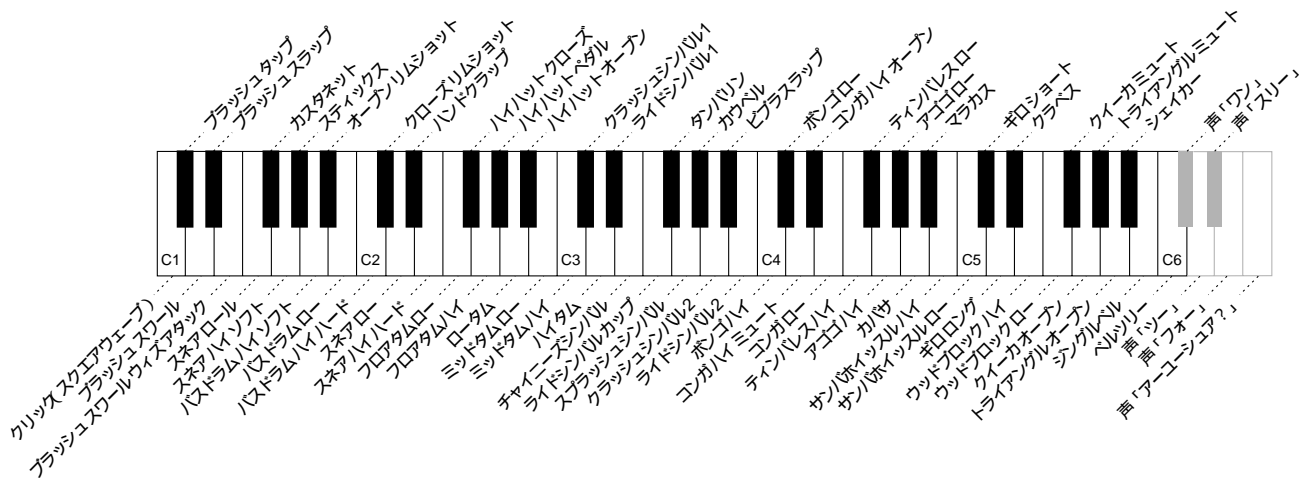


### [ パーカッションキットリスト ]

129( 1 )	Std.Kit( スタンダードキット )
130( 2 )	Room.Kit( ルームキット )
131( 3 )	Rock.Kit( ロックキット )
132( 4 )	Elct.Kit( エレクトロニックキット )
133( 5 )	AnlogKit( アナログキット )
134( 6 )	Jazz Kit( ジャズキット )
135( 7 )	BrushKit( ブラッシュキット )
136( 8 )	Clsc.Kit( クラシックキット )

( ) のナンバーは、RHYTHMトラックにアサインする場合のキットナンバーです。

### 例)129 Std.Kit( スタンダードキット )



### メモ

PSR-420/320の鍵盤下部には、ボイスナンバー129「Std.Kit」を選んだときに、各鍵盤に設定される打楽器音色を示すイラストが付いています。

各キットの具体的な内容はP.64の「パーカッションキットリスト」を参照してください。

キーボードパーカッションを選択するとハーモニー(P.30参照)、デュアルボイス(P.29参照)、デジタルエフェクト(P.34参照)をオンにできません。また、ハーモニー、デュアルボイス、デジタルエフェクトがオンに設定されている場合に、キーボードパーカッションを選択するとそれらは自動的にオフになります。

キーボードパーカッション選択時、トランスポーズ(P.32参照)はかかりません

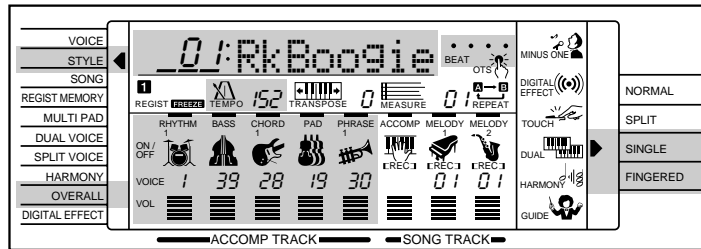
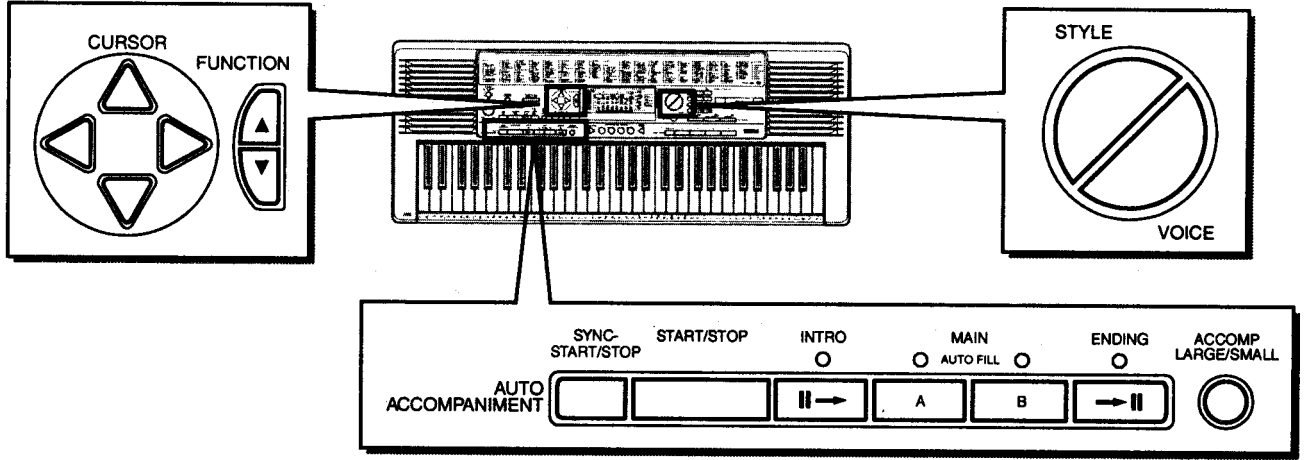
キーボードパーカッションを選択すると、オクターブの設定(P.31参照)は自動的に「-1」になります。





# スタイルを選んで、 オートアカンパニメントを演奏しましょう-----

PSR-420/320にはいろいろなジャンルの100スタイル(スタイルナンバー01~00)が内蔵されています。いろいろなスタイルを選択して、自動伴奏してみましょう。



PSR-420

## オートアカンパニメントとは?

オートアカンパニメントとは、アカンパニメント鍵域(スプリットポイントより左側の鍵盤 P.19参照)で検出されたコードと100種類の中から選択されたスタイルに合わせて、伴奏を自動的に演奏する機能です。

オートアカンパニメントを使って演奏する手順は下のようになります。

アカンパニメントスタイルの選択 ..... P.16



アカンパニメントモード(シングル/フィンガード)の選択 ..... P.17  
フィンガリング(ノーマル/フル)の選択

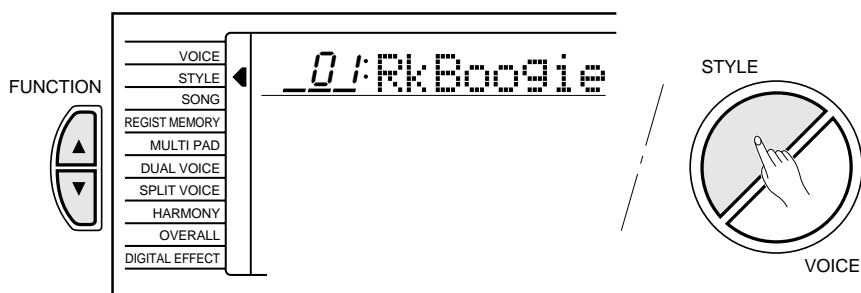


アカンパニメントコントロール ..... P.20  
アカンパニメントのスタート  
アカンパニメントのストップ

## アカンパニメントスタイルの選択

### 1 STYLEファンクションに切り替えます。

STYLEボタンを押すと、STYLEファンクションに切り替わり、現在選択されているスタイルがディスプレイの最上段に表示されます。(FUNCTION ボタンを押してSTYLEファンクションを選択することもできます。)

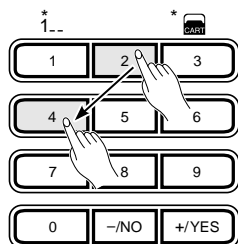


#### メモ

STYLEボタンを押し続けると、ダイレクトにOVERALLファンクションの「AcompVol」設定画面に入ることができます。(P.24参照)

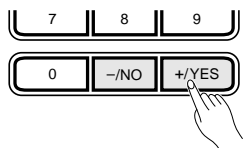
### 2 テンキーでスタイルナンバーを入力します。

[ 0 ]-[ 9 ] を押して、スタイルナンバーを入力します。ナンバーは10の位、1の位の順番に2桁で入力します。



例)スタイルナンバー24「EPIC BALLAD」を選択する場合  
テンキーを[ 2 ] [ 4 ]の順番に押します。

[ +/YES ] [ -/NO ] を押して、スタイルナンバーを変更することもできます。



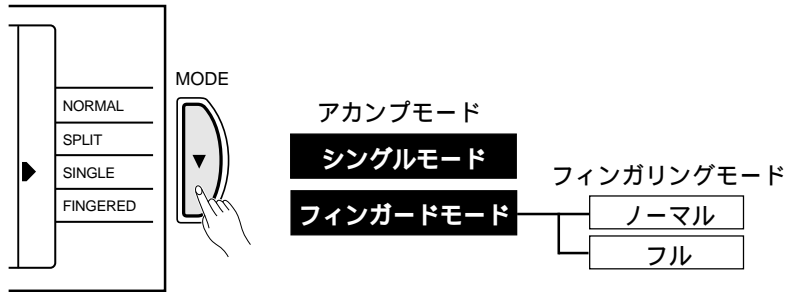
#### メモ

演奏がスタートしてからアカンパニメントスタイルのナンバーを変更することができます。新しいアカンパニメントスタイルの演奏は次の小節から始まります。

ミュージックカートリッジのカートリッジスタイルも選択してみましょう。(P.41参照)

## ア坎ブモード(シングル/フィンガード)の選択

MODE ボタンを押して「SINGLE」または「FINGERED」を選択すると、ア坎ブモードになります。



### メモ

演奏モードがシングル、フィンガード(フィンガリング:ノーマル)の時、リズム停止中にア坎パニメント鍵域でコードを押さえると「ベース+コード音」が鳴ります。(全スタイル共通)

ア坎ブモードのスプリットポイントの初期設定は「54」です。(シングル/フィンガード共通)

MODE ボタンを押してNORMALまたはSPLITを選択すると、オートア坎パニメントははたらきません。この状態ではア坎パニメントはリズムだけを演奏します。

### シングル(SINGLE)モード

このモードではア坎パニメント鍵域で、1~3本の指でメジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスのコードを作ることができます。そして、そのコードと選ばれたア坎パニメントスタイルに従って自動伴奏が演奏されます。

#### シングルモードで認識されるコードの押さえ方



メジャー(M)コード  
ルートキーを押さえてください。



マイナー(m)コード  
ルートキーと、ルートキーより左側の黒鍵を同時に押さえてください。



セブンス(7)コード  
ルートキーと、ルートキーより左側の白鍵を同時に押さえてください。



マイナーセブンス(m7)コード  
ルートキーと、ルートキーより左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえてください。

### メモ

#### ルートキーと押さえる鍵盤

スプリットポイント  
(ア坎ブモード)



# スタイルを選んで、オートアカンパニメントを演奏しましょう

## フィンガード(FINGERED)モード

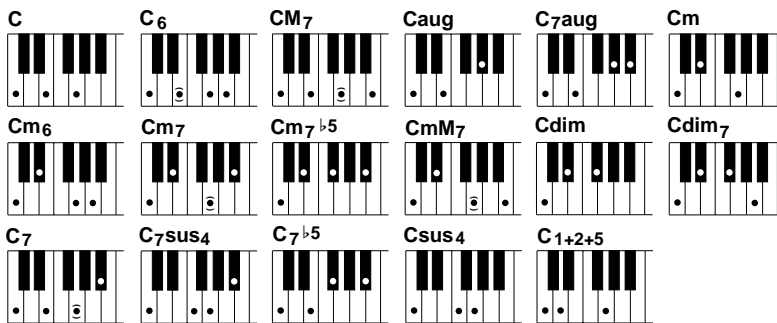
フィンガードモードには、「ノーマル：nor」と「フル：Full」の2種類のフィンガリングモードがあります。

### ノーマル(nor)モード

このモードでは、アカンパニメント鍵域でコードを押さえると、そのコードと選ばれたアカンパニメントスタイルに従って自動伴奏が演奏されます。

### ノーマルモードで認識されるコードの押さえ方(基本形)

[ Cの押鍵例 ]



メジャー[M]	1 - 3 - 5
メジャーシックス[6]	1 - (3) - 5 - 6
メジャーセブンス[M7]	1 - 3 - (5) - 7
オーギュメント[ aug ]	1 - 3 - #5
(セブンスオーギュメント[ 7aug ])	1 - 3 - #5 - b7
マイナー[m]	1 - b3 - 5
マイナーシックス[m6]	1 - b3 - 5 - 6
マイナーセブンス[m7]	1 - b3 - (5) - b7
マイナーセブンスフラットファイブ[m7b5]	1 - b3 - b5 - b7
マイナーメジャーセブンス[mM7]	1 - b3 - (5) - 7
ディミニッシュ[ dim ]	1 - b3 - b5
(ディミニッシュセブンス[ dim7 ])	1 - b3 - b5 - 6
セブンス[7]	1 - 3 - (5) - b7
セブンスサスフォー[ 7sus4 ]	1 - 4 - 5 - b7
セブンスフラットファイブ[ 7b5 ]	1 - 3 - b5 - b7
サスフォー[ sus4 ]	1 - 4 - 5
ワンプラストゥープラスファイブ[ 1+2+5 ]	1 - 2 - 5

### フル(Full)モード

このモードでは、全鍵域でコードを検出し、オートアカンパニメントを演奏します。コードの押さえ方は、ノーマルモードと同様です。また、同時に全鍵域で通常どおり鍵盤演奏もできます。

鍵盤のどこでもコードを押さえると、そのコード音とともにアカンパニメントが演奏されるため、たとえば演奏中に「右手でコードを弾いて左手でベースフレーズを弾く」など、くふう次第でいろいろなアカンパニメントの楽しみ方が可能になります。

#### メモ

フィンガリングモードの初期設定は「ノーマル：nor」です。

#### メモ

カッコ( )内の音符は省略しても構いません。

オクターブ(完全8度)の押鍵では、ルート音のみによるアカンパニメントが演奏されます。

黒鍵を含めて隣接する3音を押鍵すると、コード演奏がキャンセルされ、リズム楽器のみの伴奏になります。(コードキャンセル)

コード押鍵は全て基本形で書かれていますが、その転回形も受け付けます。ただし、以下の場合を例外とします。

- ・6は基本型のみ検出し、転回形はすべてm7とみなします。
- ・m6は基本型のみ検出し、転回形はすべてm7b5とみなします。
- ・1+2+5は基本型のみ検出し、転回形はすべてsus4とみなします。
- ・augは押鍵の最低音を根音とみなします。
- ・7b5は押鍵の最低音を根音またはb7とみなします。

#### メモ

コード押鍵の最低音から数えて11度より上の音は、すべてメロディ音になります。

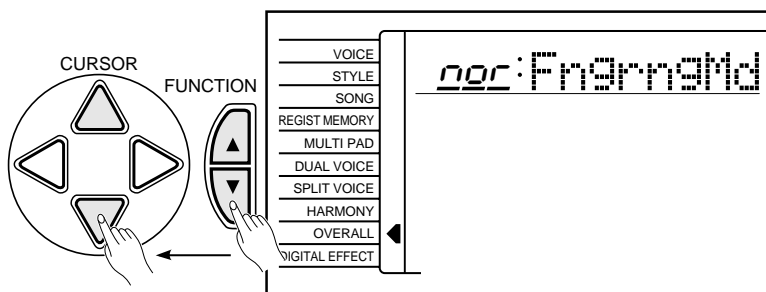
フルモードの時、ハーモニー(P.33参照)はかかりません。

# スタイルを選んで、オートアカンパニメントを演奏しましょう

## フィンガリングモードの変更

**FUNCTION** ボタンを押してOVERALLファンクションを選択します。

**CURSOR** を押して「FngrngMd」を選択します。現在設定されているフィンガリングが、ディスプレイ最上段の左側に表示されます。



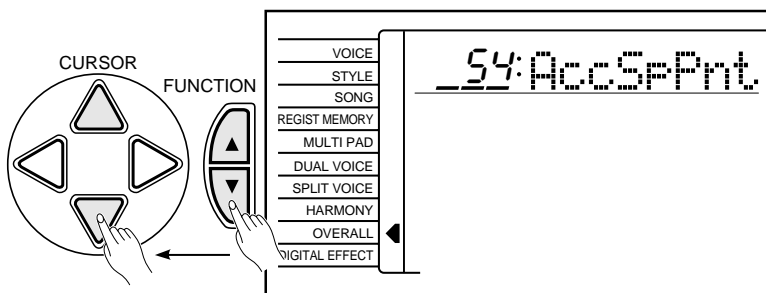
フィンガリングモードは「nor」がノーマル、「Full」がフルを表します。[ + /YES ] [ - /NO ] を押して好みのフィンガリングを選択します。

## ア कंपモード(シングル/フィンガード)の スプリットポイントの設定

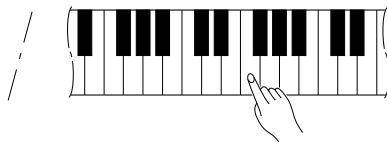
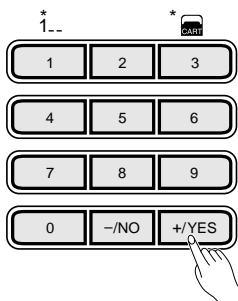
ア कंपモード(シングル/フィンガード: P.17参照)のスプリットポイント(メロディ鍵域とア कंपニメント鍵域の境界点)の設定を変更することができます。

**FUNCTION** ボタンを押してOVERALLファンクションを選択します。

**CURSOR** キーを押して「AccSpPnt」を選択すると、現在設定されているア कंपモードのスプリットポイントが、ディスプレイ最上段の左側にMIDIノートナンバー(鍵盤下部参照)で表示されます。



[ 0 ]-[ 9 ] [ + /YES ] [ - /NO ] を押す、または鍵盤を押さえると、スプリットポイントを00~127の範囲で変更することができます。この時選択した鍵盤がア कंपニメント鍵域の最高音になります。



### メモ

OVERALLファンクションに入ると、ディスプレイのトラック関連表示が消え、カーソルが移動できなくなります。

### メモ

OVERALLファンクションに入ると、ディスプレイのトラック関連表示が消え、カーソルが移動できなくなります。

[ + /YES ] [ - /NO ] を同時に押すと、ア कंपモードの初期設定(54:シングル/フィンガード共通)に戻ります。

SPLITモードのスプリットポイント設定は、P.27を参照してください。

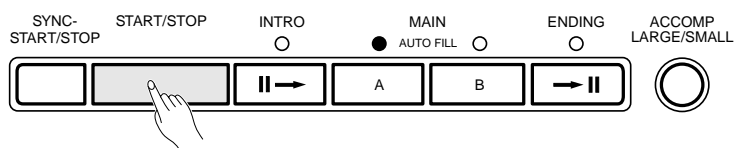
## アカンパニメントコントロール

### アカンパニメントのスタート

アカンパニメントのスタート方法には以下の3種類があります。

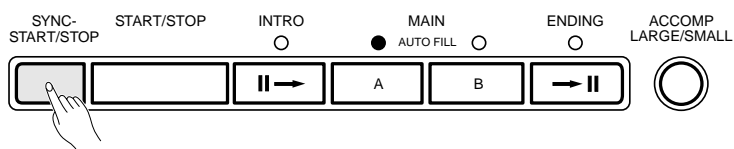
#### スタート

START/STOPボタンを押すと同時に、リズムがスタートします。コードを押さえるまで、リズムだけを演奏します。



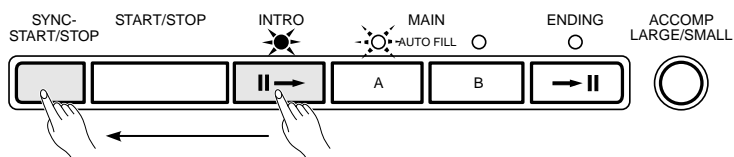
#### シンクロスタート

SYNC-START/STOPボタンを押すと、ディスプレイのビートインディケーター(4つすべて)が点滅して、シンクロスタートの待機状態になります。アカンパニメント鍵域でコードを押さえると自動伴奏がスタートします。



#### イントロシンクロスタート

INTROボタンを押して、INTROインディケーターを点灯させた後、SYNC-START/STOPボタンを押すと、ディスプレイのビートインディケーター(4つすべて)が点滅して、イントロシンクロスタートの待機状態になります。コードを押さえると自動伴奏がイントロセクションからスタートします。



スタート後、アカンパニメント鍵域でコードを押さえると、設定したフィンガリングのコード押鍵ルールに従って、コードに合った伴奏が自動的に演奏されます。自動伴奏は鍵盤から左手を離しても続きます。

伴奏に合わせて演奏しましょう。

#### メモ

演奏モード(MODE)がNORMALモード、またはSPLITモードの場合は、リズムだけを演奏します。

#### メモ

シンクロ待機状態でもう一度SYNC-START/STOPボタンを押すと、シンクロ待機状態はキャンセルされます。

SYNC-START/STOPボタンを押し続けることにより、オーバーオールファンクションの「InitSnd?」ヘダイレクトに入ることができます。(P.58参照)

#### メモ

イントロシンクロ待機状態でMAIN A/Bボタンを押せば、イントロセクション演奏後のセクション(MAIN A/B)を指定できます。

イントロ演奏中にMAIN A/Bボタンを押すと、すぐにフィルインが演奏され、メインセクションの演奏が継続されます。

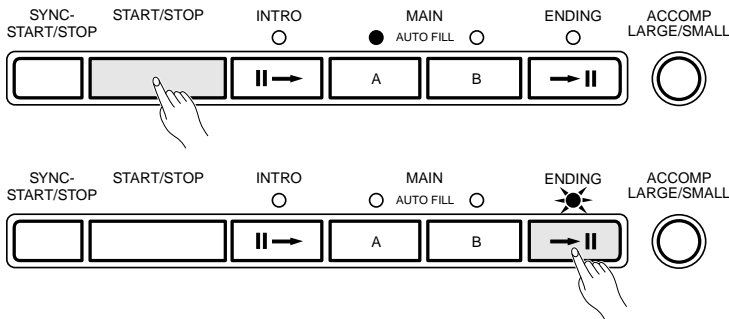
#### メモ

鍵盤演奏のボリューム(Kbyd Vol)とアカンパニメントのボリューム(AcompVol)を変更して、好みのバランスを設定することができます。(P.24, 31参照)

# スタイルを選んで、オートアカンパニメントを演奏しましょう

## アカンパニメントのストップ

START/STOPボタンを押すとアカンパニメントがストップします。  
エンディングを演奏してからストップしたい場合は、ENDINGボタンを押してください。次の小節からエンディングを演奏し、エンディング演奏終了後、アカンパニメントがストップします。



## メモ

エンディングの演奏中にINTROボタンを押すと、次の小節からイントロセクションの演奏が継続されます。

エンディングの演奏中にMAIN A/Bボタンを押すと、すぐにフィルインが演奏され、メインセクションの演奏が継続されます。

## テンポの調整

リズム / アカンパニメントやソングなどのテンポを調節することができます。

TEMPO ボタンを押してアカンパニメントやソングなどのテンポを32 ~ 280 (♩=1分間の4分音符の数) の範囲で調節します。

カーソルをTEMPOまで移動して、[ 0 ]-[ 9 ] + /YES ] - /NO ]で調節することもできます。



## メモ

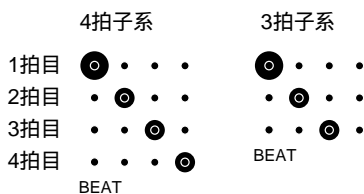
TEMPO ボタンと ボタン、または [ + /YES ] [ - /NO ] (カーソルがTEMPOの位置にある場合) を同時に押すと、アカンパニメントスタイルそれぞれの初期設定テンポに戻ります (RESET)。

リズムがストップしているときにアカンパニメントスタイルを変更すると、自動的にそのスタイルの初期設定テンポがセットされますが、リズム演奏中にアカンパニメントスタイルを変更してもテンポは変わりません (ワンタッチセッティングがONの場合を除く)。

カーソルがTEMPOの位置にある場合、[ 1 ] または [ 2 ] を押し続けると、それぞれ100の位「1\_\_」 「2\_\_」を入力することができます。

## ビートインディケータについて

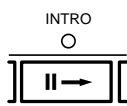
オートアカンパニメントやソングがスタートすると、ディスプレイの4つのインディケータが、設定されたテンポに従って図のように点滅し、ビート (BEAT : 拍数) を表示します。



## アカンパニメントのセクションについて

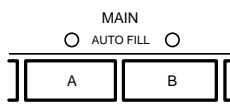
オートアカンパニメントは、曲の構成に応じてアカンパニメントの編曲をいろいろと変化させるために、イントロ、メインA/B、フィルイン(AA, AB, BA, BB)、エンディング、合計8種類のセクションを持っています。これらを演奏中に切り替えることによって、自由に1つの曲を作ることができます。

### イントロ(INTRO)セクション



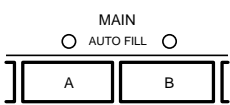
イントロダクション(曲の始まりの部分)です。イントロセクションの演奏が終了するとメインセクションに移行します。

### メイン(MAIN)セクション



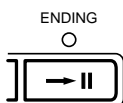
曲のメイン部分の演奏で、A/B2つのバリエーションがあります。演奏したコードに基づいたアカンパニメントが自動的に演奏されます。

### フィルインセクション



フィルインは、曲の流れに区切りをつけて演奏を盛り上げます。演奏中にMAIN A/Bボタンを押すと、フィルインが自動的に演奏され(AUTO FILL: オートフィル)アカンパニメントにアクセントをつけることができます。フィルインには4つのバリエーション(AA, AB, BA, BB)があります。

### エンディング(ENDING)セクション



エンディング(曲の終わりの部分)です。エンディングセクションの演奏が終わると、アカンパニメントはストップします。

### メモ

電源を入れた時は、必ずメインAのランプが点灯します。

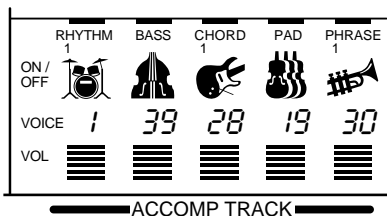
フィルイン演奏中は、MAIN A、またはMAIN Bのランプが点滅してフィルイン後の行き先のセクションを知らせます。点滅中にMAIN A/Bボタンを押せば、行き先を変更することも可能です。

曲中でINTROボタンを押すと、イントロ演奏を曲中でも使うことができます。

カートリッジスタイルのセクションについてはP.41を参照してください。



## アカンプトトラックの構成



それぞれのアカンパニメントスタイルは、最大5つのトラック(RHYTHM, BASS, CHORD, PAD, PHRASE)で構成されています。スタイルを選択したときに、いずれかのセクション(P.22参照)でそのトラックにデータがある場合は、それぞれのトラックのアイコンが点灯します。

それぞれのトラックデータは以下のような特長を持っています。

### RHYTHM(リズム)

リズムトラック。ドラム、パーカッションを演奏します。

### BASS(ベース)

ベーストラック。ベースラインを演奏します。BASSトラックのボイスは、アップライトベースからシンセベースまで多彩なボイスが楽しめます。

### CHORD(コード)

コードトラック。コード伴奏のさまざまなパターンを演奏します。

### PAD(パッド)

パッドトラック。ストリングスやオルガンなどのパッド系のコードを演奏します。

### PHRASE(フレーズ)

フレーズコードトラック。パンチのきいたプラスフレーズやアルペジオコードなどのフレーズを演奏します。オートアカンパニメントの中でひととき華やかなパートです。

### メモ

カートリッジスタイルのトラックの構成についてはP.41を参照してください。

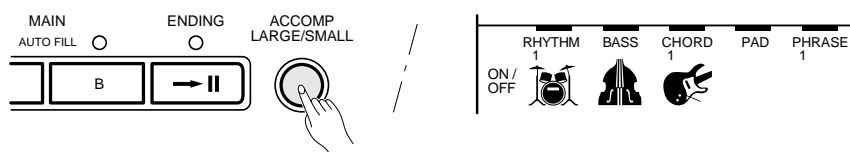
### メモ

イントロ、エンディングセクションには、2つのPHRASEトラック(1/2)を持つスタイルもあります。そのPHRASE 2トラックでは、イントロ、エンディングセクションのメロディを演奏します。

## アカンブのラージ / スモールの切り替え

ACCOMP LARGE/SMALLボタンを押して、アカンブのラージ(大編成)/スモール(小編成)を切り替えます。

スモールになると、PAD、PHRASE 1トラックがオフになり、ミュート(消音)されます。ACCOMP LARGE/SMALLボタンを押せば、演奏中もワンタッチでアカンパニメントの編成を切り替えることができ、とても便利です。



### メモ

トラック個別のオン/オフ設定は、カーソルを各トラックのアイコンに移動して切り替えます。(P.24参照)

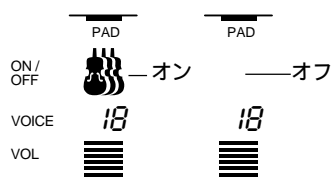
トラックのオン/オフ設定にかかわらず、スタイルを変更すると必ずLARGEになります。

カートリッジスタイルをスモールに切り替えると、各スタイルであらかじめ指定されているトラックがオフになります。

## トラックデータの変更

アカンパニメントスタイルを構成するトラック(RHYTHM, BASS, CHORD, PAD, PHRASE)ごとに、トラックオン/オフ、ボイス、ボリュームを変更することができます。この機能を活用すれば、内蔵スタイルの演奏バリエーションを何パターンにも増やすことができます。

アカンパニメントスタイルを選択した後、ACCOMP TRACKの中でトラックのオン/オフを変更したいアイコン、ボイスを変更したいトラックのVOICEナンバー、またはボリュームを変更したいトラックのVOLにカーソルを移動します。



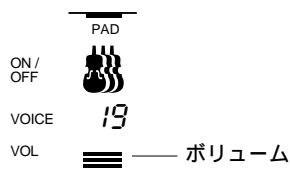
### トラックオン/オフ変更

[ + /YES ] を押すとトラックがオンになり、[ - / NO ] を押すとトラックがオフになりミュート(消音)されます。



### ボイスの変更

[ 0 ]-[ 9 ] + /YES ] - /NO ] を押して、ボイスナンバーを変更します。



### ボリュームの変更

[ + /YES ] - /NO ] を押して、ボリュームを変更します。ボリュームは設定した値が最大となり、演奏中はその範囲内でグラフィックが上下します。

アカンパニメントを聴きながら、トラックのオン/オフ、ボイス、ボリュームを設定してください。

### メモ

RHYTHMトラックのボイスにはPERCUSSION KIT 1~8 ボイスナンバー129~136が選択できます。また、RHYTHM以外のトラックにもボイスナンバー129~136(パーカッションキット)が選択できます。

PHRASE 1/2トラックは、カーソルをアイコンに移動してから、CURSOR◀▶を押して順次選択することができます。

ソングの録音中は、アカンパニメントトラックのオン/オフやボリューム、ボイスは変更できません。

トラックデータ(ボイス/ボリューム)の変更後、[ + /YES ] - /NO ] を同時に押すと、そのトラックの初期設定値に戻ります。

トラックデータの変更は、すべてのセクションに共通の設定になります。

カートリッジスタイルのトラックデータの変更についてはP.41を参照してください。

### ヒント

トラックデータの変更後、アカンパニメントスタイルを変更すると、各トラックの設定は初期設定に戻り、変更したデータは失われてしまいます。変更したデータを保存する場合は、アカンパニメントスタイルを変更する前に、レジストレーションメモリー(P.36参照)に記憶させてください。

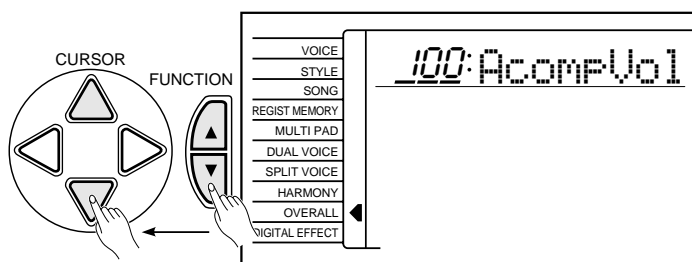
## アカンパニメントボリューム(AcompVol)

アカンパニメント全体のボリュームを変更して、鍵盤演奏とのバランスをとることができます。

**FUNCTION** ボタンを押してOVERALLファンクションを選択します。

**CURSOR** キーを押してディスプレイ表示を「AcompVol」に切り替えると、現在設定されているアカンパニメントボリュームがディスプレイ最上段の左側に表示されます。

[ 0 ]-[ 9 ] + /YES ] - /NO ] を押してアカンパニメントボリュームを00~127の範囲で変更します。



### メモ

[ + /YES ] - /NO ] を同時に押すと、初期設定 = 100に戻ります。

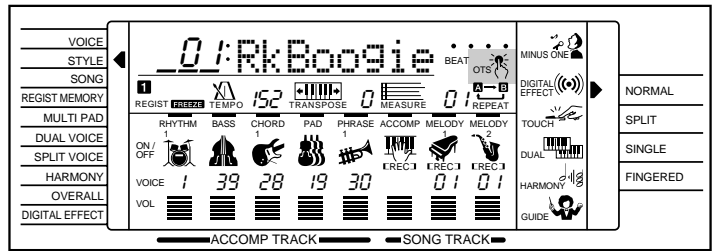
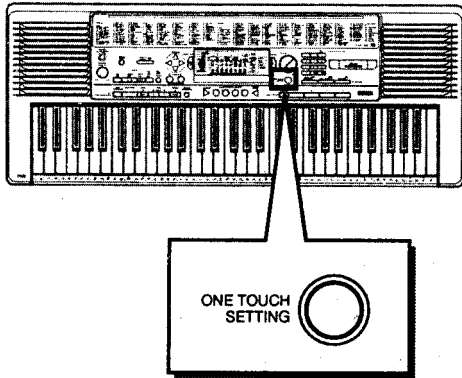
STYLEボタンを押し続けると、ダイレクトに「AcompVol」設定画面に入ることができます。

OVERALLファンクションに入ると、ディスプレイのトラック関連表示が消え、カーソルが移動できなくなります。



# ワンタッチセッティングを活用しましょう

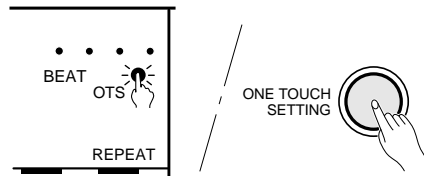
PSR-420/320には100種類のアカンパニメントスタイルそれぞれに、最も適したパネル設定(ボイス、デジタルエフェクトなどの組み合わせ)がプリセットされています。ONE TOUCH SETTINGボタンを押せば、その設定をワンタッチで呼び出すことができるため、ボイスやデジタルエフェクトなどをひとつひとつ設定しなくても、アカンパニメントにぴったりのサウンドですぐに演奏を始めることができ、たいへん便利です。



PSR-420

## ワンタッチセッティングの呼び出し

- 1 スタイルを選択します。
- 2 ONE TOUCH SETTINGボタンを押します。ディスプレイのアイコン(OTS)が点灯し、ワンタッチセッティングがオンになります。現在選ばれているアカンパニメントスタイルに適したパネル設定がすぐに呼び出され、シンクロスタート待機状態になります。



- 3 演奏しましょう。

もう一度ONE TOUCH SETTINGボタンを押すと、アイコン(OTS)が消灯し、ワンタッチセッティングがオフになります。

## メモ

ワンタッチセッティングがオンの時に、スタイルを変更すると新しく選ばれたスタイルに適したパネル設定がすぐに呼び出されます。

ワンタッチセッティングがオンの時に、REGISTRATION MEMORY 1~4のいずれかを押し、ワンタッチセッティングはオフになります。

ワンタッチセッティングで呼び出したパネルの設定を変更して、オリジナルのセッティングを作ってみましょう。オリジナルのセッティングは、レジストレーションメモリー(P.36参照)に記憶すれば、いつでも呼び出すことができます。

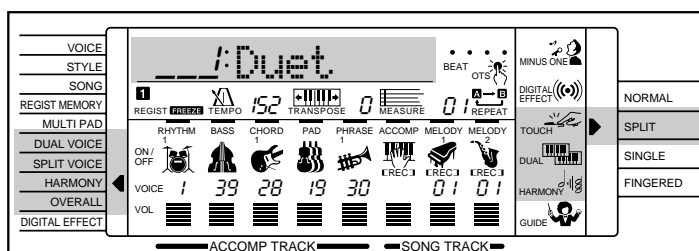
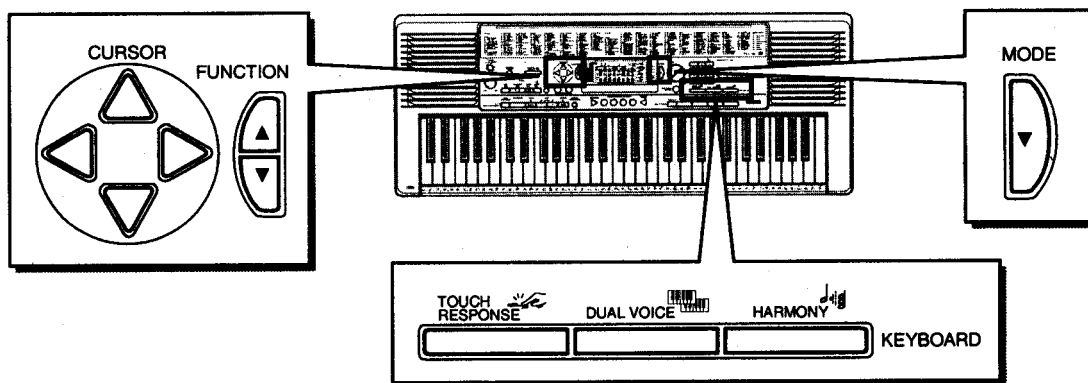
演奏モードが「NORMAL」または「SPLIT」の時に、ワンタッチセッティングがオンになると、演奏モードは自動的に「FINGERED」に変更されます。

## ワンタッチセッティング設定内容

- ・ ノーマルボイス(ボイスナンバー)
- ・ オクターブ
- ・ パン
- ・ 鍵盤ボリューム
- ・ アカンプボリューム = 100
- ・ デュアルボイスオン/オフ
- ・ デュアルボイス(ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ、パン)
- ・ スプリットボイス(ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ、パン)
- ・ スプリットポイント(スプリットモード) = 59
- ・ ハーモニーオン/オフ、およびタイプ
- ・ スプリットポイント(アカンプモード) = 54
- ・ デジタルエフェクトオン/オフ、およびタイプ
- ・ マルチパッドキットナンバー
- ・ アカンプトラックデータ(各スタイルの初期設定、トラックオン/オフ)
- ・ アカンプラージ/スモール = ラージ
- ・ シンクロスタート/ストップ = オン
- ・ 選択されているスタイルの初期設定テンポ



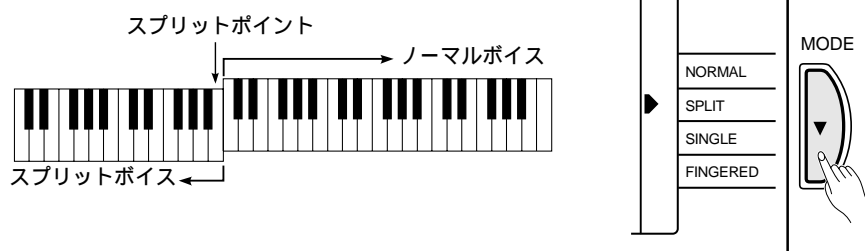
# 鍵盤の設定を変更しましょう



PSR-420

## スプリットボイス(SPLITモード)

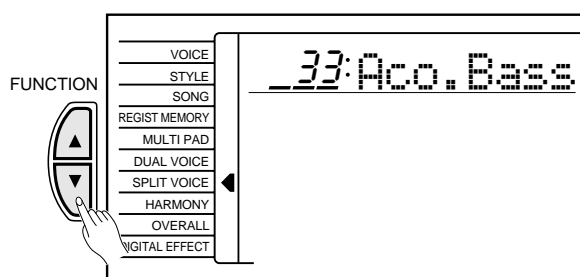
MODE ボタンを押してSPLITモードを選択すると、スプリットポイントを境に、キーボードの右側と左側で異なる2つのボイス(右側：ノーマルボイス、左側：スプリットボイス)を同時に演奏できます。



スプリットボイスの設定(SPLIT VOICEファンクション).....

スプリットボイスの選択

FUNCTION ボタンを押してSPLIT VOICEファンクションを選択すると、現在選ばれているスプリットボイスがディスプレイの最上段に表示されます。ノーマルボイス同様スプリットボイスを選択します。



### メモ

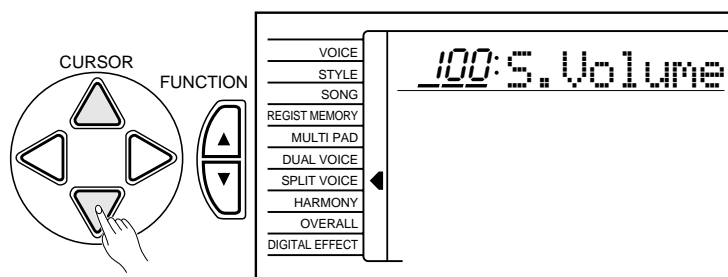
スプリットポイントの設定については次頁を参照してください。

### メモ

SPLIT VOICEファンクションに入ると、ディスプレイのトラック関連表示が消え、カーソルが移動できなくなります。

スプリットボイスのボリューム( S.Volume )/ オクターブ( S.Octave )/ パン( S.Pan )の設定

SPLIT VOICEファンクションで、CURSOR キーを押してディスプレイ表示を切り替えると、現在選ばれているスプリットボイスのボリューム/オクターブ/パンの設定がディスプレイの最上段に順次表示されます。[ 0 ]-[ 9 ] + /YES ] - /NO ] を押してそれぞれの設定を変更します。

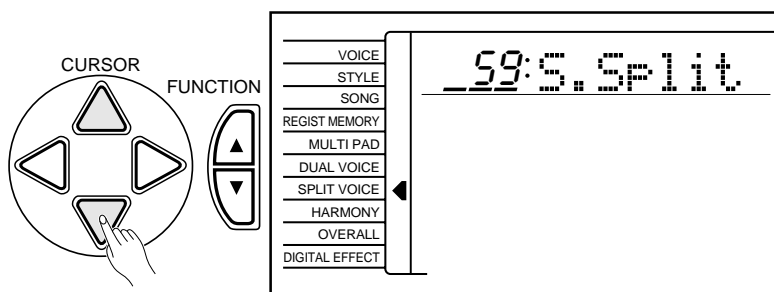


	設定範囲
スプリットボイスのボリューム	00 ~ 127
スプリットボイスのオクターブ	-2 ~ +2
スプリットボイスのパン	-7 ~ +7

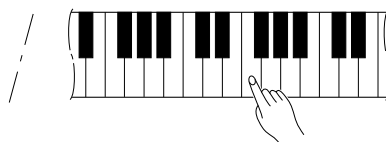
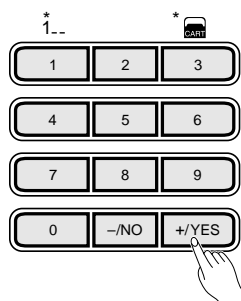
## SPLITモードのスプリットポイントの設定

SPLIT VOICEファンクションで、SPLITモードのスプリットポイント( 右手鍵域と左手鍵域の境界点 )の設定を変更することができます。

SPLIT VOICEファンクションで、CURSOR キーを押して「 S.Split 」を選択すると、現在設定されているスプリットポイントが、ディスプレイ最上段の左側にMIDIノートナンバー( 鍵盤下部参照 )で表示されます。



[ 0 ]-[ 9 ] + /YES ] - /NO ] を押す、または鍵盤を押さえると、スプリットポイントを00~127の範囲で変更することができます。この時選択した鍵盤が左手鍵域の最高音になります。



### メモ

それぞれの設定時に [ + /YES ] - /NO ] を同時に押すと、それぞれの初期値に戻ります。

Voice Set( P.33参照 )がオンの場合、ノーマルボイスを変更すると、スプリットボイスの設定も自動的に変更されず。

オクターブとパンを設定する場合、[ - /NO ] を押しながらテンキーを押すと、マイナスの値を設定することができます。

### メモ

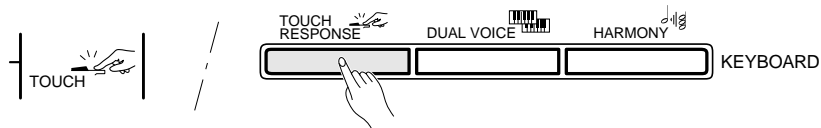
[ + /YES ] - /NO ] を同時に押すと、スプリットモードの初期設定スプリットポイント：59に戻ります。

アンプモードのスプリットポイント設定は、P.19を参照してください。

## タッチレスポンス(TOUCH RESPONSE)

タッチレスポンスのオン/オフを切り替えます。

TOUCH RESPONSEボタンを押してディスプレイのアイコンを点灯させると、タッチレスポンスがオンになり、微妙なタッチニュアンスを表現することができます。タッチレスポンスをオフにする(アイコン消灯)と、鍵盤を押さえる強弱に関わらず一定音量で演奏できます。



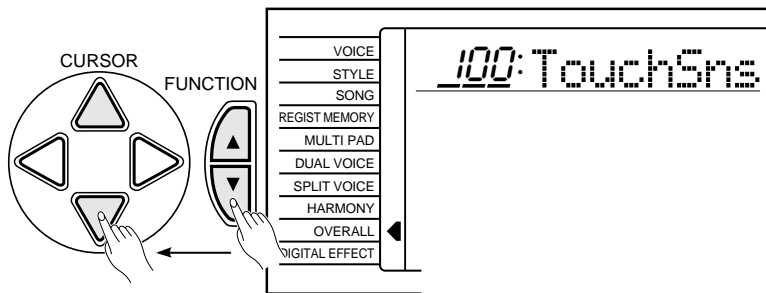
### タッチセンス(TouchSns)

鍵盤を押さえる強さによって音量が変化するタッチレスポンスの感度を変更することができます。

**FUNCTION** ボタンを押してOVERALLファンクションを選択します。

**CURSOR** キーを押してディスプレイ表示を「TouchSns」に切り替えると、現在設定されているタッチセンスがディスプレイの最上段の左側に表示されます。

[ 0 ]-[ 9 ] + /YES ] - /NO を押して、感度を00~127の範囲で変更します。数値が大きくなるほど、タッチレスポンスの感度が高まります。



#### メモ

電源を入れると、タッチレスポンスは「オン」に設定されます。

#### メモ

[ + /YES ] - /NO を同時に押すと、初期設定 = 100に戻ります。

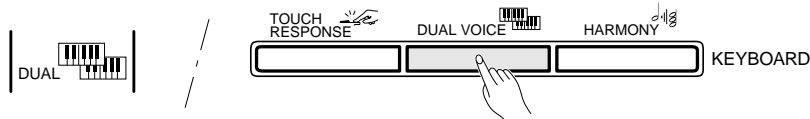
OVERALLファンクションに入ると、ディスプレイのトラック関連表示が消え、カーソルが移動できなくなります。

TOUCH RESPONSEボタンを押し続けると、ダイレクトにOVERALLファンクションの「TouchSns」設定画面に入ることができます。

## デュアルボイス(DUAL VOICE)

デュアルボイスのオン/オフを切り替えます。

DUAL VOICEボタンを押してディスプレイのアイコンを点灯させると、デュアルボイスがオンになり、キーボード全体を使って、選択した2つのボイス(VOICEファンクションで選択したボイス+ DUAL VOICEファンクションで選択したボイス)を同時に演奏できます。

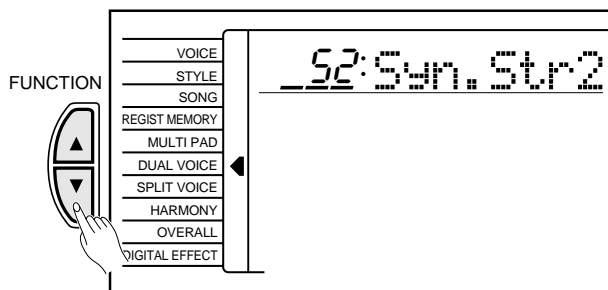


演奏モード(MODE)がSPLITモード、SINGLEモード、FINGEREDモードの場合は、右手鍵域だけがデュアルボイスになります。

### デュアルボイスの設定(DUAL VOICEファンクション)

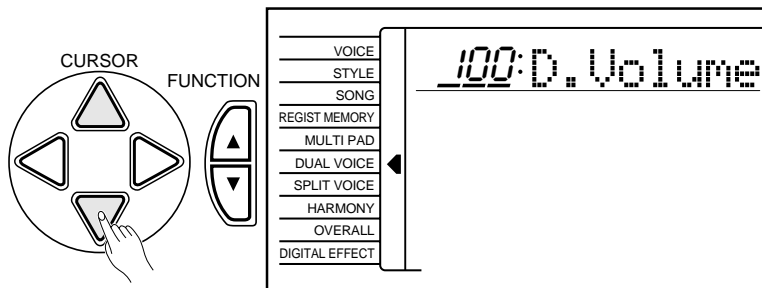
デュアルボイスの選択

FUNCTION ボタンを押して、DUAL VOICEファンクションを選択すると、現在選ばれているデュアルボイスがディスプレイの最上段に表示されます。ノーマルボイス同様デュアルボイスを選択します。



デュアルボイスのボリューム(D.Volume)/オクターブ(D.Octave)/パン(D.Pan)の設定

DUAL VOICEファンクションで、CURSOR キーを押してディスプレイ表示を切り替えると、現在選ばれているデュアルボイスのボリューム/オクターブ/パンの設定がディスプレイの最上段に順次表示されます。[0]-[9][+]/YES[-]/NO]を押してそれぞれの設定を変更します。



	設定範囲
デュアルボイスのボリューム	00 ~ 127
デュアルボイスのオクターブ	-2 ~ +2
デュアルボイスのパン	-7 ~ +7

#### メモ

デュアルボイスをオンにすると、次の押鍵からデュアルボイスで演奏できます。

PSR-420/320の最大同時発音数は28音です。デュアルボイスモードでは演奏に対して2つのボイスが同時に発音されるため、最大同時発音数が減少します。詳細はP.62「ボイスリスト」の項を参照してください。

#### メモ

DUAL VOICEファンクションに入ると、ディスプレイのトラック関連表示が消え、カーソルが移動できなくなります。

デュアルボイスにキーボードパーカッション(ボイスナンバー129~136)は選択できません。

DUAL VOICEボタンを押し続けると、ダイレクトにDUAL VOICEファンクションに入ることができます。

#### メモ

それぞれの設定時に[+]/YES[-]/NO]を同時に押すと、それぞれの初期値に戻ります。

Voice Set(P.33参照)がオンの場合、ノーマルボイスを変更すると、デュアルボイスの設定も自動的に変更されます。

ノーマルボイスとデュアルボイスの基本のオクターブはOVERALLファンクションのオクターブ設定(P.31参照)で行います。デュアルボイスのオクターブ設定は、OVERALLファンクションのオクターブ設定からの差を表します。

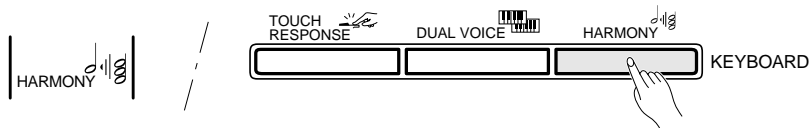
オクターブとパンを設定する場合、[-]/NO]を押しながらテンキーを押すと、マイナスの値を設定することができます。

## ハーモニー(HARMONY)

ハーモニーのオン/オフを切り替えます。

ハーモニーは、オートアカンパニメント(P.15参照)を使用している時に、右手鍵域(スプリットポイントより右側)での押鍵に対していろいろなハーモニー(下記ハーモニータイプで選択)が自動的にかけられる機能です。ハーモニーは、左手鍵域で検出されたコードに従ってかけられます。

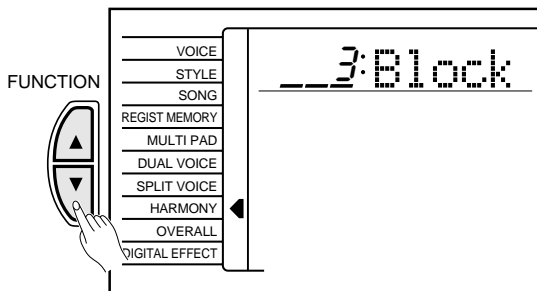
HARMONYボタンを押してディスプレイのアイコンを点灯させるとハーモニーがオンになり、ハーモニーがかけられます。



### ハーモニータイプの選択(HARMONYファンクション)

ハーモニーがオンの時、ボイスにかかるハーモニータイプを5種類の中から選択します。

FUNCTION ボタンを押して、HARMONYファンクションを選択すると、現在選ばれているハーモニータイプとそのナンバーがディスプレイ最上段の左側に表示されます。下記のリストを参考に、[ 1 ]-[ 5 ] + /YES ] - /NO ] を押して、1~5の中からハーモニータイプを選択します。



ナンバーごとのハーモニータイプは以下のとおりです。

#### [ハーモニータイプリスト]

1 Due(デュエット)	押鍵音よりも低い音が1音付加され、2音のハーモニーになります。
2 Tri(トリオ)	押鍵音よりも低い音が2音付加され、3音のハーモニーになります。
3 Block(ブロック)	ブロックコードで演奏したときのようなジャズ調のハーモニーになります。
4 Country(カントリー)	押鍵音よりも高い音が1音付加され、カントリー調のハーモニーになります。
5 Octave(オクターブ)	押鍵音の1オクターブ下の音が付加されたハーモニーになります。

#### メモ

ノーマルボイスにキーボードパーカッションが選択されている場合は、ハーモニーをオンにできません。

ハーモニーをオンにすると、次の押鍵からハーモニーがかかります。

アカンパニメント演奏にハーモニーはかかりません。

演奏モードがノーマルモードの時、またはオートアカンパニメントのコードキャンセル押鍵時(P.18参照)は、ハーモニーはかかりません。

デュアルボイス(P.29参照)がオンの時、ハーモニーは常にVOICEファンクションで選択されているノーマルボイスにかかります。

ハーモニーがかかっている状態で、右手鍵域で鍵盤を押さえたまま、左手鍵域でコードを変えると、新しいコードと右手の押鍵に適したハーモニー音にピッチ変更されます。

ソング(P.53参照)の再生中は、再生のコード進行に合わせてハーモニーが発音されます。

ハーモニーのオン/オフにかかわらず、ハーモニータイプを変更することができます。

HARMONYボタンを押し続けると、ダイレクトにHARMONYファンクションに入ることができます。

Voice Set(P.33参照)がオンの場合、ノーマルボイスを変更すると、ハーモニータイプの設定も自動的に変更されます。

[ +/YES ] - /NO ] を同時に押すと、初期設定 = 3 : Block を選択できます。

フィンガードフルモード使用中(P.18参照)は、ハーモニーをオンにできません。

演奏モードにフィンガードモードを選択した時、フィンガリングモードにフルモードが設定されていると、ハーモニーは自動的にオフになります。



## 鍵盤の設定(OVERALL)

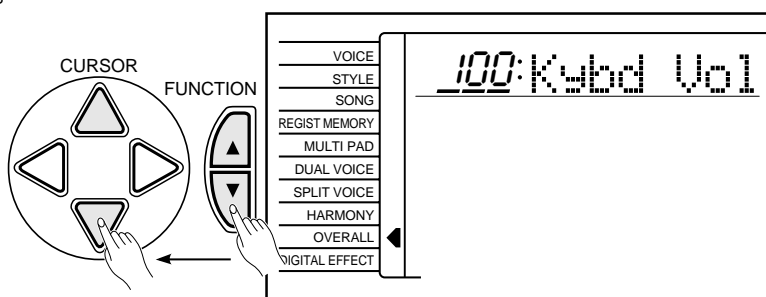
### 鍵盤ボリューム(Kybd Vol)

鍵盤演奏(ノーマルボイス/デュアルボイス/スプリットボイス)の全体のボリュームを変更して、アカンパニメント演奏やソング演奏のボリュームとのバランスをとることができます。

**FUNCTION** ボタンを押してOVERALLファンクションを選択します。

**CURSOR** キーを押してディスプレイ表示を「Kybd Vol」に切り替えると、現在設定されている鍵盤ボリュームがディスプレイ最上段の左側に表示されます。

[ 0 ] ~ [ 9 ] + /YES [ ] - /NO を押して鍵盤ボリュームを00 ~ 127の範囲で変更します。



### オクターブ(Octave)

鍵盤演奏(ノーマルボイス/デュアルボイス)の音程を変更することができます。

**FUNCTION** ボタンを押してOVERALLファンクションを選択します。

**CURSOR** キーを押してディスプレイ表示を「Octave」に切り替えると、現在設定されているオクターブがディスプレイ最上段の左側に表示されます。

[ 0 ] ~ [ 2 ] + /YES [ ] - /NO を押して、音程を - 2 ~ + 2 (± 2オクターブ)の範囲で変更します。



### パン(Pan)

鍵盤演奏(ノーマルボイス)のパン(音の定位)を変更することができます。左右に振って演奏することにより、臨場感あふれるステレオ演奏が可能になります。

**FUNCTION** ボタンを押してOVERALLファンクションを選択します。

**CURSOR** キーを押してディスプレイ表示を「Pan」に切り替えると、現在設定されているパンがディスプレイの最上段の左側に表示されます。

[ 0 ] ~ [ 7 ] + /YES [ ] - /NO を押して、パンを - 7 ~ + 7 ( - 7で最も左、 + 7で最も右)の範囲で変更します。



#### メモ

[ +/YES [ ] - /NO ] を同時に押すと、初期設定 = 100に戻ります。

OVERALLファンクションに入ると、ディスプレイのトラック関連表示が消え、カーソルが移動できなくなります。

VOICEボタンを押し続けると、ダイレクトに「Kybd Vol」設定画面に入ることができます。

#### メモ

[ +/YES [ ] - /NO ] を同時に押すと、初期設定 = 0に戻ります。

OVERALLファンクションに入ると、ディスプレイのトラック関連表示が消え、カーソルが移動できなくなります。

[ - /NO ] を押しながらテンキーを押すと、マイナスの値を設定することができます。

#### メモ

[ +/YES [ ] - /NO ] を同時に押すと、各ボイスの初期設定値に戻ります。

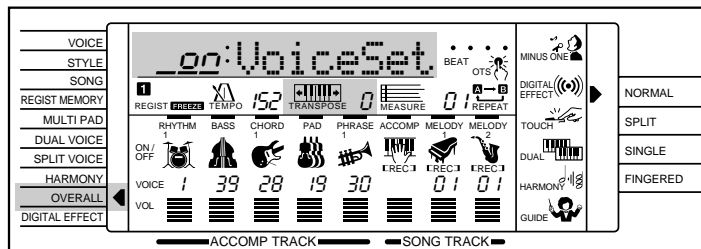
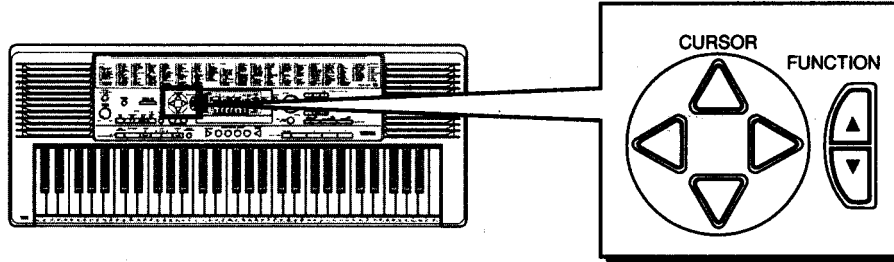
OVERALLファンクションに入ると、ディスプレイのトラック関連表示が消え、カーソルが移動できなくなります。

[ - /NO ] を押しながらテンキーを押すと、マイナスの値を設定することができます。

Voice Set( P.33参照 ) がオンの場合、ノーマルボイスを変更するとパンの値は「0」に自動的に変更されます。



# 全体のコントロールをしましょう



PSR-420

## トランスポーズ(TRANSPOSE)

鍵盤演奏、オートアカンパニメント、ソングの音程を調節します。

ディスプレイのカーソルをTRANSPOSEまで移動します。[ 0 ]-[ 9 ] + /YES ] - /NO を押して - 12 ~ + 12 ( ± 1 オクターブ ) の範囲で変更することができます。



### メモ

[ + /YES ] - /NO を同時に押すと、初期設定 = 0 に戻ります。

トランスポーズ変更後、次の押鍵から新しく設定したトランスポーズで発音します。

[ - /NO ] を押しながらデンキーを押す(2桁入力)と、マイナスの値を設定することができます。

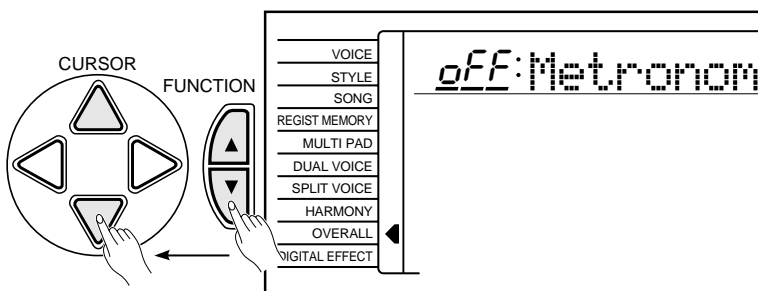
## メトロノーム(Metronome)

アカンパニメント演奏時、ソングの録音時に、設定されたテンポにしたがってメトロノームを鳴らすことができます。

FUNCTION ボタンを押してOVERALLファンクションを選択します。

CURSOR キーを押してディスプレイ表示を「Metronom」に切り替えると、現在のON/OFF設定がディスプレイ最上段の左側に表示されます。

[ + /YES ] - /NO を押して、on/offを変更します。



### メモ

OVERALLファンクションに入ると、ディスプレイのトラック関連表示が消え、カーソルが移動できなくなります。

電源を入れると、メトロノームは「off」に設定されます。

## ボイスセット (Voice Set)

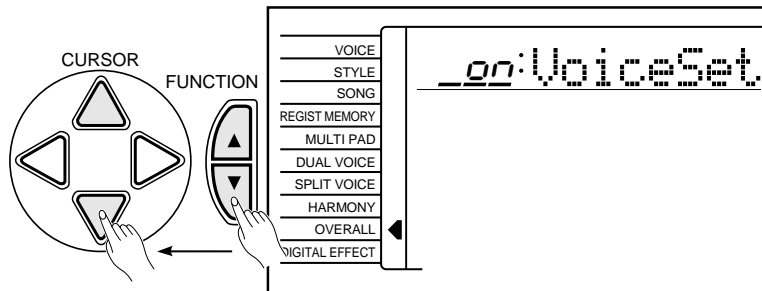
PSR-420/320には、ボイスそれぞれに最適なデュアルボイスやスプリットボイスなどの設定がプリセットされています。

ボイスセット機能をオンにすれば、ボイス選択時に、各ボイスに最適な設定を自動的にセットすることができ、大変便利です。

**FUNCTION** ボタンを押してOVERALLファンクションを選択します。

**CURSOR** キーを押してディスプレイ表示を「Voice Set」に切り替えると、現在のON/OFF設定がディスプレイ最上段の左側に表示されます。

[ + /YES ] - /NO ] を押して、on/offを変更します。



### メモ

OVERALLファンクションに入ると、ディスプレイのトラック関連表示が消え、カーソルが移動できなくなります。

電源を入れると、ボイスセットは「on」に設定されます。

ボイスナンバー129~136(パーカッションキット)にボイスセット機能はありません。

### ボイスセット「オン」でセットされるデータ

- ・デュアルボイス(ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ、パン=0)
- ・スプリットボイス(ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ、パン)
- ・ハーモニータイプ
- ・パン=0

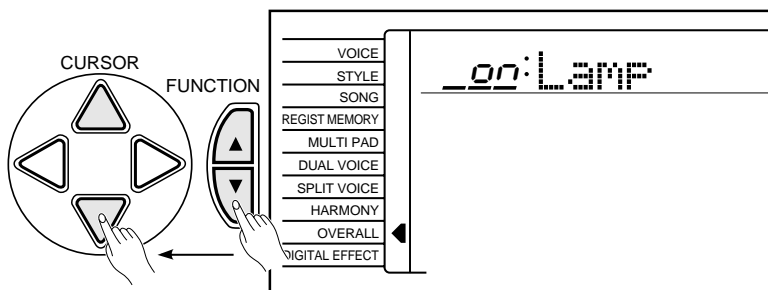
## ランプ (Lamp: PSR-420)

鍵盤演奏時やソング再生時、鍵盤の上のランプの点灯をオン/オフすることができます。

**FUNCTION** ボタンを押してOVERALLファンクションを選択します。

**CURSOR** キーを押してディスプレイ表示を「Lamp」に切り替えると、現在のON/OFF設定がディスプレイ最上段の左側に表示されます。

[ + /YES ] - /NO ] を押して、on/offを変更します。



### メモ

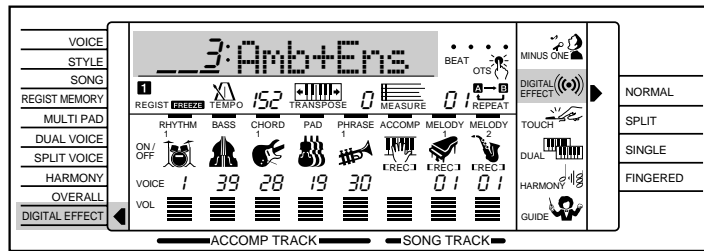
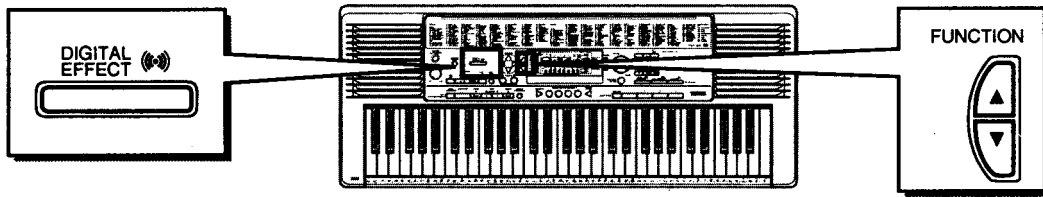
OVERALLファンクションに入ると、ディスプレイのトラック関連表示が消え、カーソルが移動できなくなります。

電源を入れると、ランプは「on」に設定されます。



# デジタルエフェクトを活用しましょう

デジタルエフェクトがオンになると、DIGITAL EFFECTファンクションで  
選択されたタイプのエフェクトが演奏にかかります。



PSR-420

DIGITAL EFFECTボタンを押してディスプレイのアイコンを点灯させると、デジタルエフェクトがオンになります。

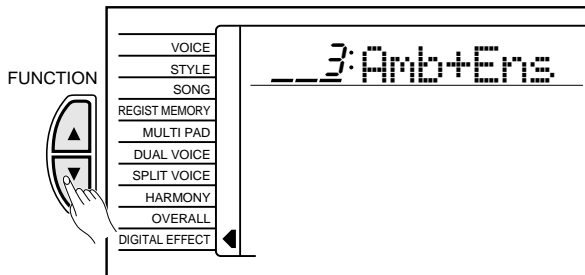


## デジタルエフェクトタイプの選択 (DIGITAL EFFECTファンクション)

デジタルエフェクトがオンの時、演奏にかかるデジタルエフェクトのタイプを4種類の  
中から選択します。

FUNCTION ボタンを押してDIGITAL EFFECTファンクションを選択すると、現  
在選択されているデジタルエフェクトタイプとそのナンバーがディスプレイの最上段に  
表示されます。

[ 1 ]-[ 4 ] +/-YES [ ] - /NO [ ] を押して、1~4の中からデジタルエフェクトタイプを選  
択します。



### [ デジタルエフェクトタイプリスト ]

1 Ambience( アンビエンス )	演奏に音場感・臨場感を付加するエフェクトがかかり ます。
2 Ensemble( アンサンブル )	演奏にアンサンブル効果を付加するエフェクトがか かります。
3 Amb + Ens ( アンビエンス + アンサンブル )	アンビエンスとアンサンブルが同時にかかります。
4 Sustain( サステイン )	演奏に余韻を付加するエフェクトがかかり ます。

### メモ

ボイスによっては、サステインが  
からないものがあります。

DIGITAL EFFECTボタンを押し続  
けると、ダイレクトにDIGITAL  
EFFECTファンクションに入ること  
ができます。

タイプ2, 3のアンサンブルが選択  
されていて、デジタルエフェクトが  
オンの時、デュアルボイスをオンに  
すると、デジタルエフェクトがオフ  
になります。また、デュアルボイスが  
オンで、タイプ2, 3のアンサンブル  
が選択されている時、デジタルエ  
フェクトがオンになると、デュアル  
ボイスがオフになります。(デュアル  
ボイスとアンサンブルは同時に使  
用できません。)

電源を入れると、デジタルエフェ  
クトタイプは「3 : Amb + Ens」に設  
定されます。

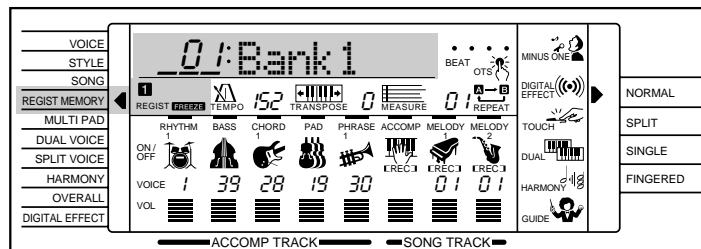
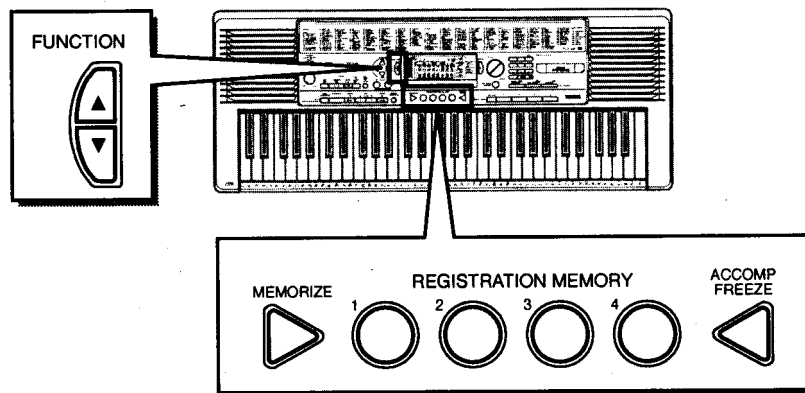
ノーマルボイスにキーボードパー  
カッションが選択されている場合  
は、デジタルエフェクトをオンに  
できません。

# レジストレーションを記憶させましょう

レジストレーションメモリーは、レジストレーション(ボイス、アカンパニメントなどのパネル設定)を32種類(8バンク×1~4)まで記憶(メモリー)させ、演奏中でもワンタッチで呼び出すことができる機能です。



レジストレーションメモリー[1]~[4]には、初期設定で同じデータが記録されています。



PSR-420

## レジストレーションメモリーでメモリーされるデータ

### ボイスデータ

- ・ ノーマルボイス(ボイスナンバー)
- ・ 鍵盤ボリューム
- ・ オクターブ
- ・ パン
- ・ デュアルボイスオン/オフ
- ・ デュアルボイス(ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ、パン)
- ・ スプリットボイス(ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ、パン)
- ・ スプリットポイント(スプリットモード)
- ・ タッチレスポンスオン/オフ、およびタッチセンス
- ・ ハーモニーオン/オフ、およびタイプ
- ・ デジタルエフェクトオン/オフ、およびタイプ

### アカンパニメントデータ

- ・ 演奏モード(ノーマル/スプリット/シングル/フィンガード)
- ・ フィンガリングモード(ノーマル/フル)
- ・ スタイルナンバー(カートリッジスタイルナンバー含む)
- ・ テンポ
- ・ スプリットポイント(ア कंपモード)
- ・ ア कंपボリューム
- ・ トラック変更データ(トラックオン/オフ、ボイス、ボリューム)
- ・ ア कंपパニメントセクション(メインA, B)
- ・ マルチパッドキットナンバー
- ・ トランスポーズ

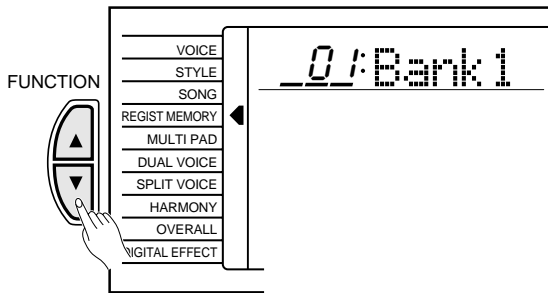
## レジストレーションの記憶

### 1 レジストレーションをセットします。

レジストレーション(ボイス、オートアカンパニメントなど)を記憶させたい状態にセットします。

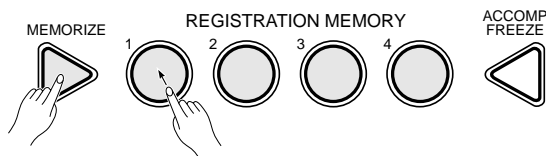
### 2 レジストレーションを記憶するバンクを選択します。

FUNCTION ボタンを押して、REGIST MEMORYファンクションを選択します。  
[ 0 ]~[ 8 ] + /YES ] - /NO ] を押してバンク01~08のいずれかを選択します。



### 3 レジストレーションを記憶します。

MEMORIZEボタンを押しながら、REGISTRATION MEMORY 1~4ボタンのいずれかを押すと、指定したナンバーに、現在のパネルのレジストレーションが記憶されます。



#### メモ

[ +/YES ] - /NO ] を同時に押すと、初期設定 = 01 を選択できます。

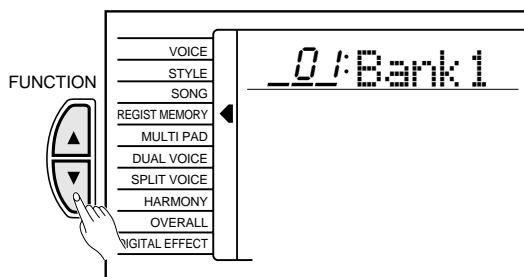
#### メモ

レジストレーションを記憶すると、そのREGISTRATION MEMORYナンバーに記憶されていたデータは消去され、新しいデータに書き換えられます。

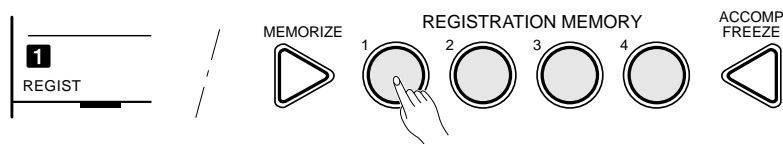
電源アダプターがコンセントに差し込まれているか、乾電池がセットされている場合は、電源を切ってもレジストレーションメモリーの内容は記憶されています。

## レジストレーションの呼び出し

FUNCTION ボタンを押して、REGIST MEMORYファンクションを選択します。  
 [ 0 ]~[ 8 ] + /YES ] - /NO を押してバンク01~08のいずれかを選択します。



REGISTRATION MEMORY 1~4ボタンを押すと、そのナンバーに記憶されていたレジストレーションデータがすぐに呼び出されます。ディスプレイには、パネルにセットされたレジストレーションナンバー[ 1 ]~[ 4 ]のいずれかが表示されます。



呼び出されたレジストレーションデータがパネル上で変更されると、ディスプレイのレジストレーションナンバー[ 1 ]~[ 4 ]が点滅します。

### メモ

初期化の操作(P.70参照)で、レジストレーションメモリーを初期設定の状態に戻すことができます。

レジストレーションを呼び出した時、ア कंप フリーズ がオンならば、ディスプレイのレジストレーションナンバー[ 1 ]~[ 4 ]は点滅します。

ミュージックカートリッジのカートリッジレジストレーションも呼び出してみましょう。(P.42参照)

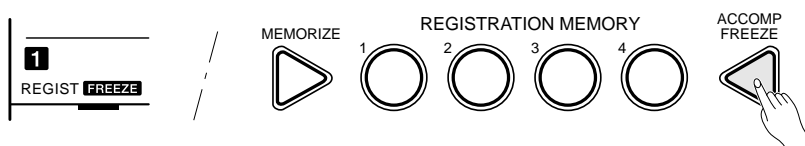
電源を入れた時、バンクを変更した時、ディスプレイのレジストレーションナンバー[ 1 ]~[ 4 ]はすべて消灯しています。

## ア कंप フリーズ機能( ACCOMP FREEZE )

ア कंप フリーズ機能は、レジストレーションメモリーを呼び出すときに、現在のパネル上のア कंप パニメントデータを固定(フリーズ)して、ボイスデータだけを呼び出す機能です。

ACCOMP FREEZEボタンを押して、ア कंप フリーズ機能のオン/オフを切り替えます。ACCOMP FREEZEボタンを押すと、ア कंप フリーズがオンになり、ディスプレイの[FREEZE]が点灯します。(もう一度押すと消灯します。)

点灯中にレジストレーションメモリーを呼び出すと、ア कंप パニメントデータはそのまま変更されず(フリーズされ)、ボイスデータが記憶されていた内容に変更されます。



### メモ

ア कंप パニメントデータに関してはP.35の「レジストレーションメモリーで記憶できるデータ」を参照してください。

レジストレーションのバンクを変更しても、ア कंप フリーズのオン/オフ設定は変わりません。

ソングの録音/再生中に、レジストレーションメモリーを呼び出した場合、ア कंप フリーズのオン/オフに関わらず、ボイスデータだけを呼び出します。



# マルチパッドを鳴らしましょう

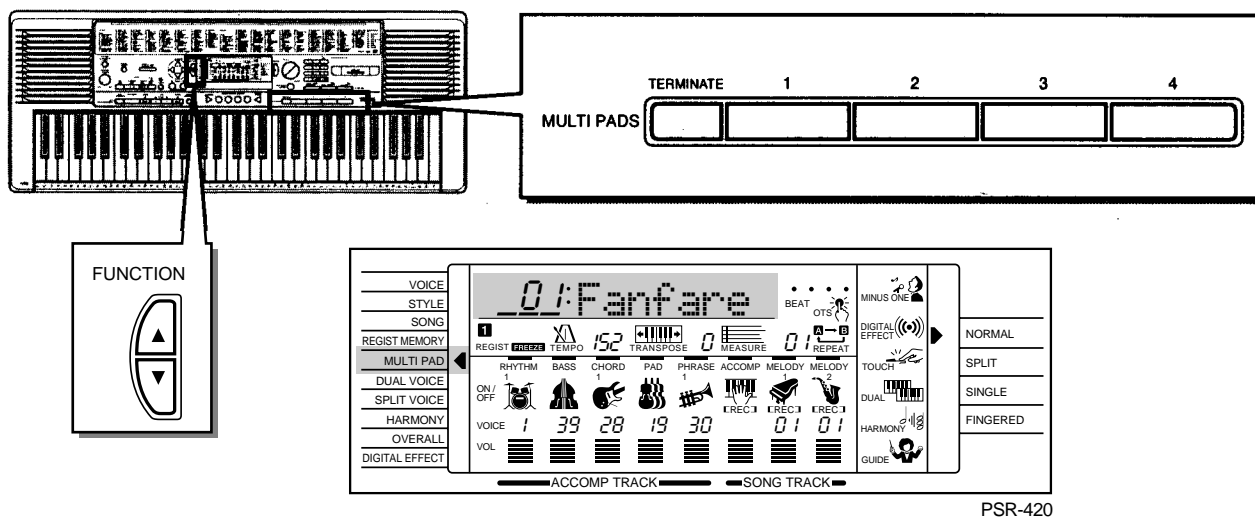
マルチパッドは、フレーズやドラムサウンドなどがプリセットされています。演奏中でもワンタッチで再生することができます。

PSR-420 ..... 56種類(マルチパッドキット01~14×マルチパッド1~4)

PSR-320 ..... 44種類(マルチパッドキット01~11×マルチパッド1~4)

マルチパッドは、プリセットされた演奏内容(ファンファーレやドラムなど)をそのまま再生するものとコードマッチタイプの2種類があります。

コードマッチタイプは、オートアカンパニメントのコードタイプとルート音に応じて、プリセットされた演奏内容の音程をトランスポートして再生します。オートアカンパニメントと一緒に使用すれば、演奏したコードに合ったフレーズを再生することができます。



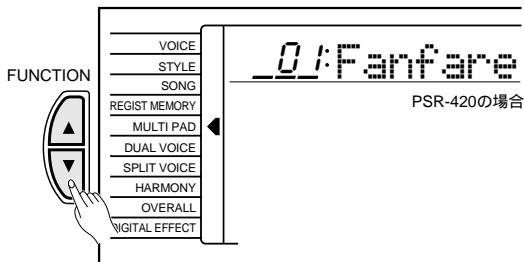
PSR-420

## マルチパッドの再生

### 1 マルチパッドキットを選択します。

**FUNCTION** ボタンを押して、MULTI PADファンクションを選択すると、現在選択されているマルチパッドキットがディスプレイ最上段に表示されます。

[0]~[9] + /YES / - /NO を押して、好みのキットを選択します。



PSR-420の場合

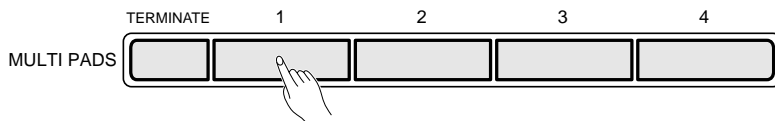
#### メモ

マルチパッドキットのキット名、コードマッチタイプに関してはP.66の「マルチパッドキットリスト」を参照してください。

### 2 マルチパッドを鳴らします。

MULTI PAD 1~4を押すと、再生がスタートします。

再生を途中でストップしたい場合は、TERMINATEボタンを押します。



#### メモ

マルチパッドは、複数のパッドを同時に鳴らすことができます。

マルチパッドは、その時設定されているテンポで再生されます。

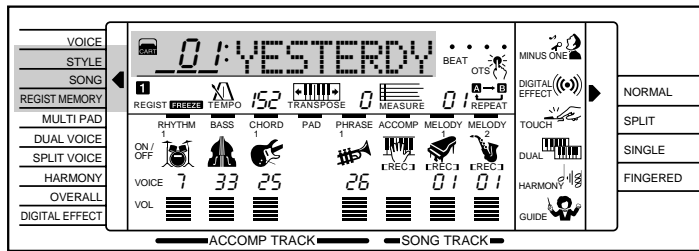
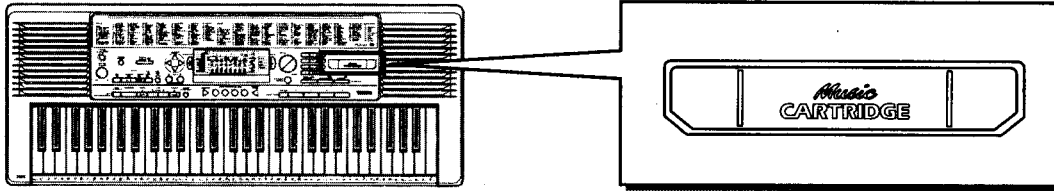




# ミュージックカートリッジを鳴らしましょう

PSR-420/320はミュージックカートリッジを鳴らすことができます。付属のミュージックカートリッジを使って、ミュージックカートリッジの使い方を覚えましょう。

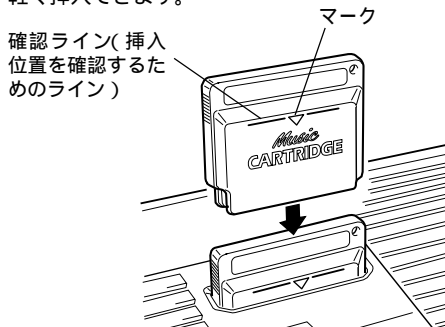
付属のミュージックカートリッジには、カートリッジソング、カートリッジスタイル、カートリッジレジストレーションが記録されていて、内蔵のデモ曲やスタイル、レジストレーションメモリーと同様に扱うことができます。



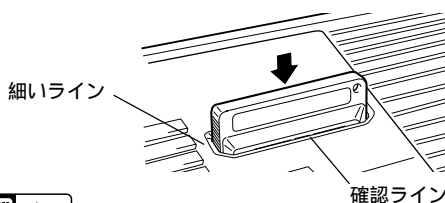
PSR-420

## ミュージックカートリッジの挿入方法

**1** PSR-420/320の電源を切り、ミュージックカートリッジの方向を間違えないように、挿入します。カートリッジのマークの下までは、軽く挿入できます。



**2** ゆっくりと力を入れて、下図のようにマーク全体が隠れるまで確実に挿入します。確認ラインまで挿入すると、挿入完了です。



### メモ

ミュージックカートリッジには、マークや確認ラインがないものがあります。この場合、カートリッジ側面の細いラインを目安に挿入してください。

ミュージックカートリッジ、およびカートリッジスロット取扱上の注意  
極端な温度変化のあるところに、ミュージックカートリッジを置かないでください。ミュージックカートリッジを落としたりして、ショックを与えないようご注意ください。ミュージックカートリッジを分解しないでください。

ミュージックカートリッジの端子に直接触れないでください。端子が汚れて接触不良の原因になったり、静電気によりデータが破損し正常な動作をしなくなる場合があります。本体のカートリッジスロットに、ヤマハミュージックカートリッジ以外の物を入れないでください。カートリッジスロット、およびミュージックカートリッジ破損の原因になります。

ミュージックカートリッジを、カートリッジスロット以外のものに挿入しないでください。ミュージックカートリッジ破損の原因になります。

ミュージックカートリッジの挿入や取り出しは、電源を切った状態で行ってください。電源を入れた状態で、ミュージックカートリッジを挿入したり、取り出したりすると、PSR-420/320のメモリーデータ(ソングデータ、レジストレーションデータ)が失われたり、PSR-420/320が操作不能になる場合があります。

ミュージックカートリッジ基板の端子部分にゴミ、汚れなどが付着すると、ミュージックカートリッジを挿入してもカートリッジの内容が呼び出せなかったり、正しく再生されない場合があります。このような時は、ミュージックカートリッジを挿入したり、取り出したり、2~3回繰り返してください。それでもカートリッジの内容が呼び出せなかったり、正しく再生されない場合は、ミュージックカートリッジ基板の端子部分を乾いた布で拭いてください。

### メモ

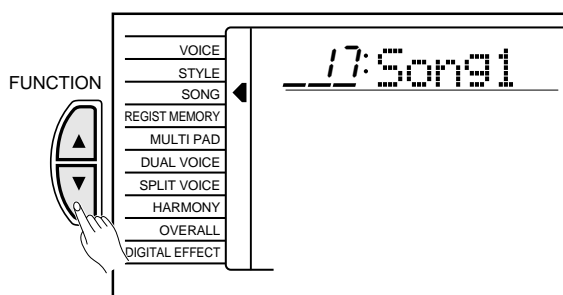
カートリッジデータを使ったレジストレーションを呼び出して演奏したり、カートリッジデータを使ったソングを再生する場合は、必ずそのデータの入ったミュージックカートリッジを挿入してください。そのミュージックカートリッジが挿入されていないとディスプレイに「No Cart」が表示され、演奏できなかったり、ソングが正しく再生されなかったりします。

## カートリッジソング


ミュージックカートリッジを挿入すると、SONGファンクションでカートリッジソングを選択することができます。

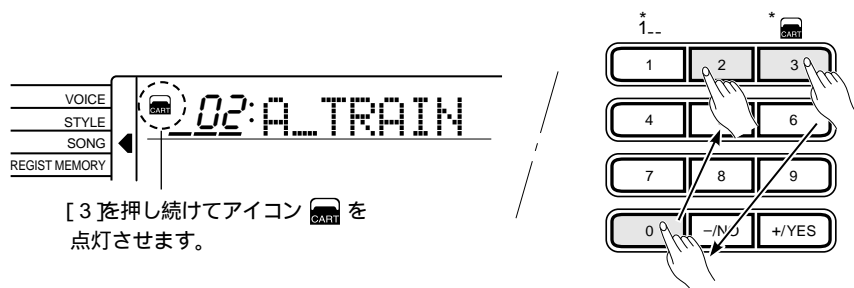
### 1 SONGファンクションに切り替えます。


FUNCTION ボタンを押してSONGファンクションを選択すると、現在選択されているソングがディスプレイの最上段に表示されます。




### 2 テンキーでソングナンバーを入力します。

[ 3 ] を押し続けて、ディスプレイにカートリッジのアイコン  を点灯させてから、[ 0 ]~[ 9 ] を押してソングナンバー2桁( 10の位、1の位 ) を入力します。



[ 3 ] を押し続けてアイコン  を点灯させます。

例) 付属ミュージックカートリッジのソングナンバー02を選択する場合

[ 3 ] を押し続けてアイコン  を点灯させてから、[ 0 ] [ 2 ] の順番に押します。

[ + / YES ] [ - / NO ] を押して、ソングナンバーを変更することもできます。このとき、カートリッジソングナンバー「 01 」~は、ソングナンバー「 01 ~ 19 」の次に表示されません。

### 3 再生します。

PLAY/STOPボタンを押して再生します。

カートリッジソングはデモ曲や録音したソング同様、マイナスワン機能 ( P.43参照 ) やリピート機能 ( P.46参照 )、ガイド機能 ( PSR-420 : P.47参照 ) も使用できます。


#### メモ

カートリッジソングは、トラックごとのボイスの変更やボリュームの変更はできません。

カートリッジソングの中には鍵盤演奏時、ハーモニー ( P.30参照 ) がつかからないものがあります。

## カートリッジスタイル

ミュージックカートリッジを挿入すると、内蔵スタイル同様、STYLEファンクションでカートリッジスタイルを選択することができます。

カートリッジスタイルのナンバーを選択するには、[ 3 ] を押し続けて、ディスプレイにカートリッジのアイコン  を点灯させてから、[ 0 ]~[ 9 ] を押してスタイルナンバー 2桁 10の位、1の位 を入力します。



[ +/YES ] - /NO ] を押して、スタイルナンバーを変更することもできます。このとき、カートリッジスタイルナンバー「01」~ は内蔵スタイルナンバー( 01 ~ 00 )の次に表示されます。

付属のカートリッジスタイルは内蔵スタイル同様、ワンタッチセッティングも使用できます。

### メモ

カートリッジスタイルにはワンタッチセッティングのデータを持たないものがあります。このようなスタイルを選択してONE TOUCH SETTINGボタンを押すと、ディスプレイに「No OTS」が表示されます。

カートリッジスタイルは、Style File Format(スタイルファイルフォーマット)で作成されているため、セクション数/アカンパニメントトラック数がPSR-420/320の内蔵スタイルと異なる場合があります。

### [ セクション数が異なる場合 ]

イントロA/Bセクションや、エンディングA/Bセクションがあるカートリッジスタイルを鳴らすときは・・・

INTROボタン、MAIN Aボタンを押してからアカンパニメントをスタートするとイントロAセクションから、INTROボタン、MAIN Bボタンを押してからアカンパニメントをスタートするとイントロBセクションから、演奏を始めることができます。

メインA演奏中にENDINGボタンを押せば、エンディングAセクションが、また、メインB演奏中にENDINGボタンを押せば、エンディングBセクションが演奏されて、アカンパニメントがストップします。

### [ アカンパニメントトラック数が異なる場合 ]

RHYTHM, CHORD, PHRASEトラックがそれぞれ2トラックあるカートリッジスタイルのトラックデータを変更するときは・・・

各トラックのアイコンにカーソルを移動すると、CURSOR◀▶キーで、1/2トラックを順次選択することができます。アイコンの下のボイスナンバーとボリュームは、選択されているトラック( 1、または2 )の値が表示され、変更することができます。

### メモ

Style File Format(スタイルファイルフォーマット)は、ヤマハが長年にわたって蓄積したノウハウを集大成し、スタンダードMIDIファイル、およびGMシステムレベル1をベースにして作成した、クオリティの高いオートアカンパニメント(自動伴奏)の統一フォーマットです。ポータブルキーボードに限らず、さまざまな商品ジャンルのスタイルがStyle File Format(スタイルファイルフォーマット)で作られています。

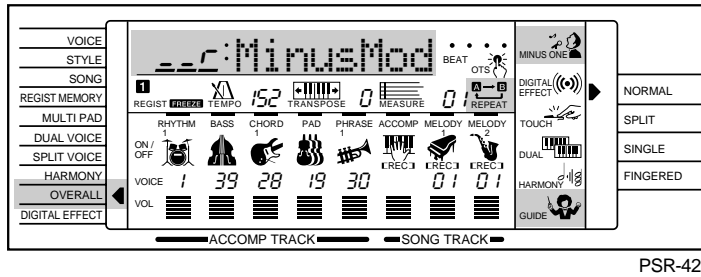
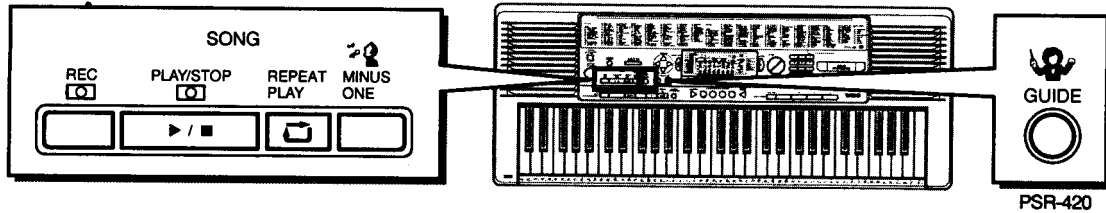




# 練習機能を活用しましょう

PSR-420/320はマイナスワン機能、リピート機能、さらにPSR-420はガイド機能という練習機能を持っています。

デモ曲やミュージックカートリッジのソングをカラオケのように練習したり、曲の一部分を集中的に練習したり、演奏ガイドランプに従って練習してみましょう。



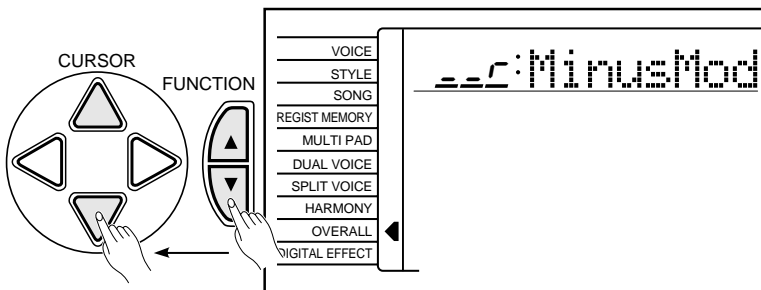
## マイナスワン演奏

マイナスワン(MINUS ONE)演奏では、デモ曲やミュージックカートリッジのソングのパート演奏をミュート(消音)して、カラオケのようにそのパートを自分で演奏できます。

### 1 マイナスワンモードを選択します。

**FUNCTION** ボタンを押してOVERALLファンクションを選択します。

**CURSOR** キーを押して「MinusMod」を選択します。現在設定されているマイナスワンモード(上/L.../L.r: 下記参照)が、ディスプレイの最上段に表示されます。



#### メモ

OVERALLファンクションに入ると、ディスプレイのトラック関連表示が消え、カーソルが移動できなくなります。

MINUS ONEボタンを押し続けると、ダイレクトにOVERALLファンクションの「MinusMod」設定画面に入ることができます。

# 練習機能を活用しましょう

[ + / YES ] - / NO を押して3種類の中からモードを選択します。

「L-r」..... 伴奏と左手パートが演奏され、右手パートがミュートされます。右手のパート練習に適しています。

「L...」..... 伴奏と右手パートが演奏され、左手パートがミュートされます。左手のパート練習に適しています。

「L-r」..... 伴奏のみが演奏され、右手・左手両方のパートがミュートされます。両手のパート練習に適しています。

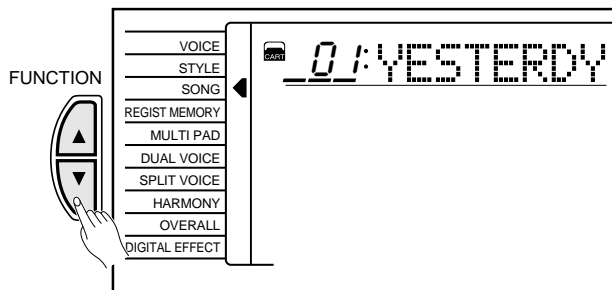
## メモ

電源を入れると、マイナスイオンモードは常に「-r」に設定されます。


自分で録音したソングのマイナスイオンは、MELODY 1トラックが右手パート、MELODY 2トラックが左手パートになります。

## 2 マイナスイオン演奏するソングを選択します。

FUNCTION ボタンを押してSONGファンクションを選択した後、[ 0 ]~[ 9 ] + / YES ] - / NO を押してマイナスイオン演奏するソングナンバーを選びます。

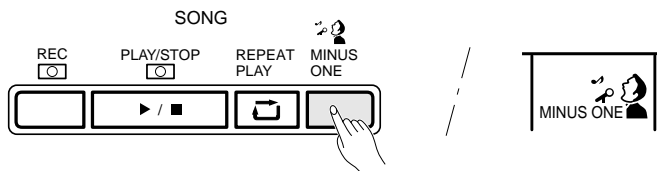


## メモ

カートリッジソングをダイレクトに選択する場合は、[ 3 ]を押し続けて、ディスプレイにカートリッジのアイコンを点灯させてから、ソングナンバーを入力してください。(P.40参照)

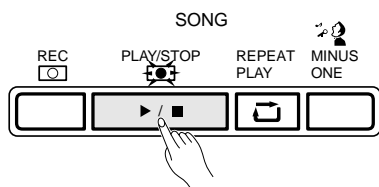
## 3 MINUS ONEボタンを押します。

MINUS ONEボタンを押してアイコンが点灯すると、マイナスイオン機能がオンになります。



## 4 マイナスイオン演奏をスタートします。

SONG部のPLAY/STOPボタンを押すと、マイナスイオン演奏がスタートします。

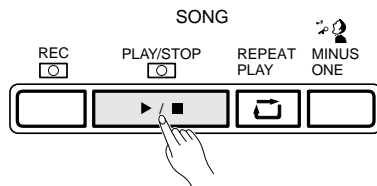


演奏中にMINUS ONEボタンを押してアイコンを消灯すると、ミュートされていたパート演奏が鳴り始めます。

## 5 マイナスワン演奏をストップします。

マイナスワン演奏は、曲が終わると自動的にストップします。

マイナスワン演奏を途中でストップする場合は、PLAY/STOPボタンを押します。



### マイナスワンチャンネルの設定について

マイナスワンするパートのチャンネルを指定して、ソングをマイナスワン演奏することができます。

再生するソングを選んでから、マイナスワンチャンネルを設定してください。

**FUNCTION** ボタンを押してOVERALLファンクションを選択します。

**CURSOR** キーを押して「MinusChR」を選択すると、現在設定されている右手パートのマイナスワンチャンネルが、ディスプレイ最上段の左側に表示されます。

[ 0 ]-[ 9 ] + /YES ] - /NO を押して、右手パートとしてマイナスワンするチャンネルを01～16の中から選択します。

01:MinusChR

**CURSOR** キーを押して「MinusChL」を選択すると、現在設定されている左手パートのマイナスワンチャンネルが、ディスプレイ最上段の左側に表示されます。

[ 0 ]-[ 9 ] + /YES ] - /NO を押して、左手パートとしてマイナスワンするチャンネルを01～16の中から選択します。

02:MinusChL

#### メモ

ソングを選択すると、そのソングにマイナスワンチャンネルの設定がある場合は、そのチャンネルが自動的に設定されます。その場合はディスプレイに「---」が表示され、そのチャンネルを変更することはできません。

[ + /YES ] - /NO を同時に押すと、右手 / 左手パートの初期設定「MinusChR = 01」「MinusChL = 02」に戻ります。

OVERALLファンクションに入ると、ディスプレイのトラック関連表示が消え、カーソルが移動できなくなります。

自分で録音したソングをマイナスワン演奏すると、マイナスワンチャンネルの設定に関わらず、メロディ1トラックが右手パート(r)、メロディ2トラックが左手パート(L)になります。自分で録音したソング演奏中は、ディスプレイに「---」が表示され、マイナスワンチャンネルを変更することはできません。

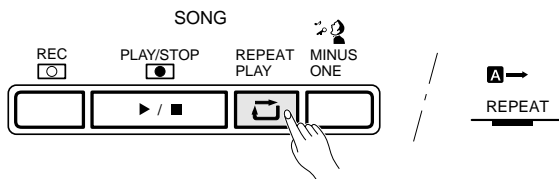
## リピート(繰り返し)再生

ソングの自分が練習したいポイントに「A(リピートの始まり)」と「B(リピートの終り)」のマークを付けて、その間の演奏を繰り返し再生します。

ソング演奏中にリピート再生するには・・・

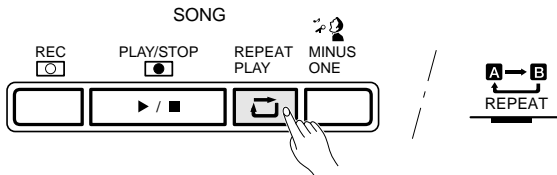
### 1 リピート再生の開始位置(A)をマークします。

ソングの再生中にREPEAT PLAYボタンを押すと、リピート再生の開始位置(A)がマークされます。Aがマークされると、ディスプレイのREPEAT表示に[A]が点灯します。



### 2 リピート再生の終了位置(B)をマークします。

もう一度REPEAT PLAYボタンを押すと、リピート再生の終了位置(B)がマークされます。Bがマークされると、ディスプレイのREPEAT表示に[B]が点灯します。Bがマークされると、すぐにAに戻ってA-B間のリピート再生を開始します。リピート中は、[A B]が点灯します。



### 3 リピート再生をストップします。

PLAY/STOPボタンを押すと、ソングがストップします。  
もう一度PLAY/STOPボタンを押すと、再びリピート再生を行います。

#### リピート再生のキャンセル

- リピート再生中 ..... REPEAT PLAYボタンを押すと、[A B]が消灯し、リピート再生はキャンセルされ、そのまま通常の再生を続けます。
- 停止中 ..... REPEAT PLAYボタンを押すと、[A B]が消灯し、リピート再生はキャンセルされます。

ソング停止中に(A)と(B)をマークするには・・・

ディスプレイのカーソルを小節表示(MEASURE)まで移動します。[0]~[9] + / YES ] - / NO ]を使ってリピート再生を開始したい小節を指定してからREPEAT PLAYボタンを押すと(A)がマークされます。[0]~[9] + / YES ] - / NO ]を使ってリピート再生を終了したい小節を指定してからREPEAT PLAYボタンを押すと(B)がマークされます。PLAY/STOPボタンを押すとA-B間のリピート再生が始まります。

#### メモ

A-B間のリピート再生は、小節単位で行われます。

#### メモ

Aだけをマークした場合は、Aからソングの最後までを繰り返し演奏します。

#### メモ

再生小節を指定する時、[1]または[2]を押し続けると、それぞれ100の位「1\_\_」,「2\_\_」を入力することができます。

たとえば、10小節目を(A)、3小節目を(B)としてマークすると、3小節目から10小節目までのリピート再生になります。



## ガイド演奏( GUIDE:PSR-420 )

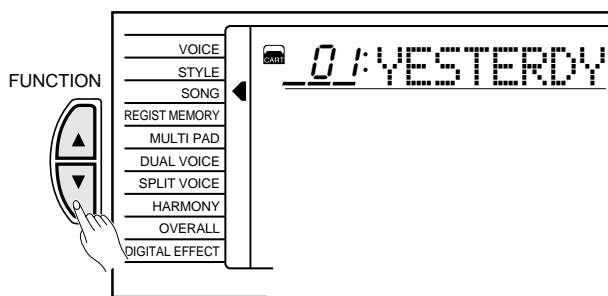
デモ曲やミュージックカートリッジのソングをガイド演奏することができます。

ガイド演奏では、マイナスイオンモード( P.44参照 )で設定したパート( 右手 / 左手 / 右手 + 左手 )が演奏する鍵盤を、ガイドランプ( 白鍵 : 赤、黒鍵 : 緑 )が点灯してガイドします。


GUIDEボタンを押してアイコンが点灯すると、正しく押鍵するまで、ソングの再生をストップして待ってくれます。

### 1 ガイド演奏するソングを選択します。

FUNCTION ボタンを押してSONGファンクションを選択した後、[ 0 ]-[ 9 ] + / YES ] - / NO ]を押してガイド演奏するソングナンバーを選びます。



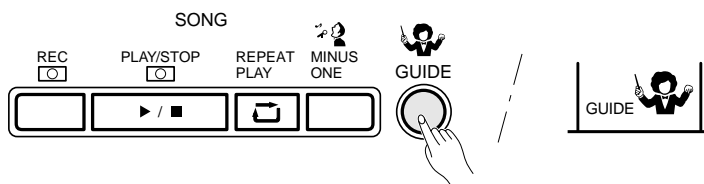
#### メモ

カートリッジソングをダイレクトに選択する場合は、[ 3 ]を押し続けて、ディスプレイにカートリッジのアイコン  を点灯させてから、ソングナンバーを入力してください。( P.40参照 )

ガイド演奏のお手本を鳴らしたくない場合は、MINUS ONEボタンを押して、マイナスイオン機能をオンにしてください。

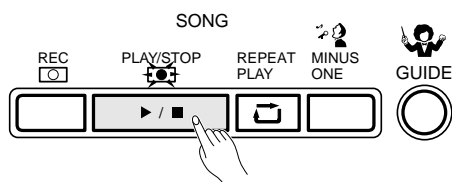
### 2 GUIDEボタンを押します。

GUIDEボタンを押してアイコンが点灯すると、ガイド機能がオンになります。

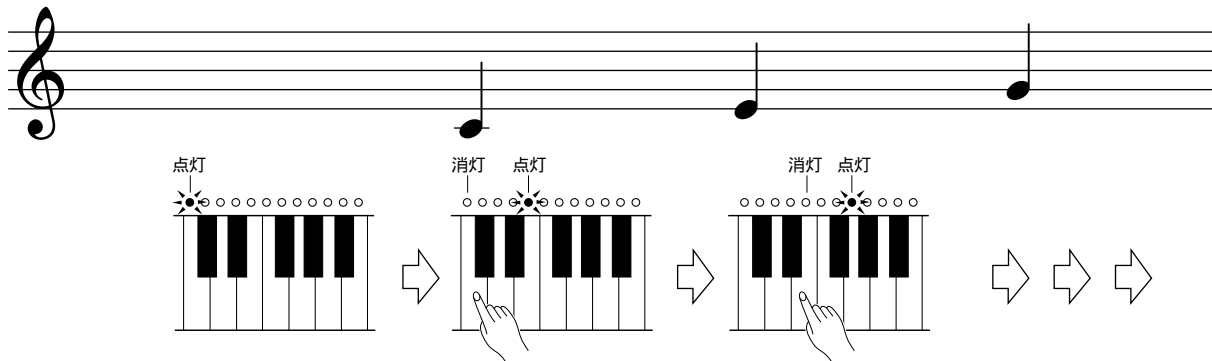


### 3 ガイド演奏をスタートします。

SONG部のPLAY/STOPボタンを押すと、ガイド演奏がスタートします。



## ガイドランプ点灯 / 消灯の例



次に押さえる鍵盤をガイドランプが点灯表示します。

鍵盤を押さえるタイミングが過ぎると演奏をストップします。

点灯している鍵盤を押さえると、ガイドランプが消灯し、演奏が再スタートします。

さらに次に押さえる鍵盤を点灯表示します。

同様に次々と点灯して押さえる鍵盤をガイドします。

### ガイドオフの場合 [ アイコン消灯 ]

押鍵のタイミングでガイドランプが点灯します。ただし、押鍵タイミングで鍵盤を押さなくても、演奏はストップしません。ガイドランプの点灯は音符の長さ分続きます。

### メモ

ソング再生時、ガイドランプはソングの再生をガイドします。

ランプ設定 P.33参照 が「オフ」で、ガイド機能が「オン」の場合は、ランプは点灯しませんが、押鍵するまで演奏を停止します。

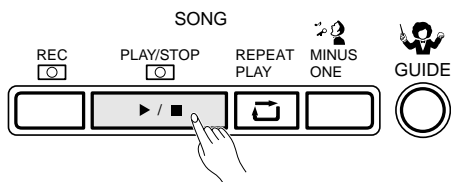
### ヒント

ガイド演奏する場合、最初はテンポを落として練習してみましょう。(テンポの調整：P.21参照)

## 4 ガイド演奏をストップします。

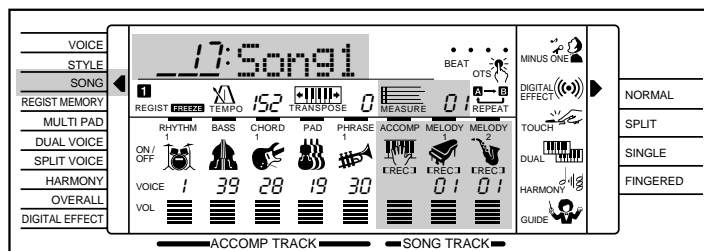
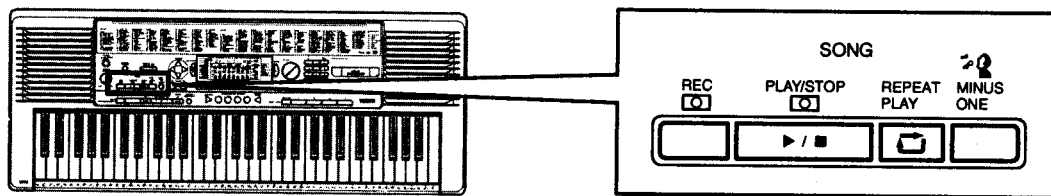
ガイド演奏は、曲が終わると自動的にストップします。

ガイド演奏を途中でストップする場合は、PLAY/STOPボタンを押します。



# ソングを録音しましょう

パネルのSONG部で、ソングの録音を行うことができます。  
ソングは、ACCOMPトラックにコード進行やセクションの変更データなどを、MELODY1~2トラックにメロディ演奏を録音できます。ソングは、ソングナンバー17~19に1曲ずつ、合計3曲録音できます。



PSR-420

録音できるデータは以下のとおりです。

## ACCOMPトラックに録音できるデータ

- ・アカンパニメントのスタート/ストップ
- ・セクションの変更
- ・スタイルナンバー(カートリッジスタイルナンバー含む)
- ・アカンパトラック変更データ(トラックオン/オフ、ボイスナンバー、ボリューム)
- ・アカンパボリューム\*
- ・コード変更、コード押鍵のタイミング
- ・テンポ/拍子(ACCOMPトラックとMELODYトラックの共有データ)

## MELODY 1, 2トラックに録音できるデータ

- ・ノートオン/オフ(押鍵/離鍵)
- ・ベロシティ(押鍵の強弱)
- ・ノーマルボイス(ボイスナンバー)
- ・デュアルボイスオン/オフ
- ・デュアルボイス(ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ、パン)
- ・鍵盤ボリューム\*
- ・オクターブ
- ・パン
- ・ハーモニーオン/オフおよび、タイプ
- ・デジタルエフェクトオン/オフ、およびタイプ(ペダルサステインオン/オフ)

ソングのメモリー容量(3ソングトータル)はACCOMPトラックのコード変更: 最大200コード、MELODYトラック1~2の音(キーオン/オフ): 最大1300音です。

\* は録音開始時のデータのみ記録します。録音途中の変更はできません。

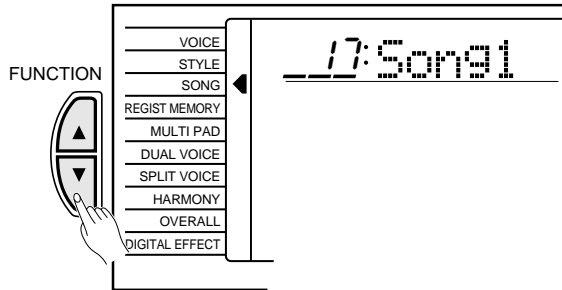
## メモ

録音中に電源を切った場合、録音中に電源アダプターがコンセントから外れた場合、電池が切れた場合、録音中のソングデータが失われますのでご注意ください。

## 録音

### 1 ソングナンバーを選択します。

FUNCTION ボタンを押してSONGファンクションを選択した後、[ 0 ]-[ 9 ] + / YES ] - /NO を押してソングナンバー( 17 ~ 19 )を選択します。



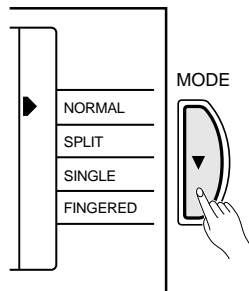
#### メモ

VOICEファンクションで選択したノーマルボイスとDUAL VOICEファンクションで選択したデュアルボイスがメロディトラックに録音できます。スプリットボイスは録音できません。

### 2 演奏モードを選択します。

メロディだけを録音する場合は、MODE ボタンを押してNORMALモードを選択します。

アカンプだけ、またはアカンプとメロディを同時に録音する場合は、MODE ボタンを押してSINGLEモード、FINGEREDモードを選択します。



#### メモ

NORMALモードを選択すると、アカンプトラックは録音できません。

SPLITモードを選択して録音待機状態に入ると、演奏モードは自動的にNORMALモードに変更されます。

### 3 ボイス、スタイル、フィンガリング、メトロノームなど、必要に応じて設定します。

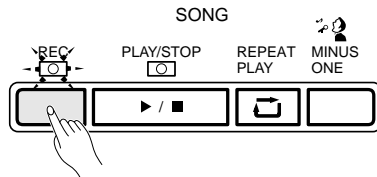
ボイス、スタイルなどを選択します。演奏モードにFINGEREDモードを選択した場合は、録音しやすいフィンガリングモードを選択します。( P.18参照 )

MELODY 1, 2トラックのボリューム、ACCOMPトラックのボリュームは、それぞれOVERALLファンクションの鍵盤ボリューム( P.31参照 )、アカンプボリューム( P.24参照 )で設定できます。

## 4 トラックを録音待機状態にします。

RECボタンを押すと、ディスプレイのビートインディケータ(4つすべて)がテンポに合わせて点滅して録音待機状態(シンクロスタート待機状態)になります。

もう一度RECボタンを押すと、録音待機状態は解除されます。

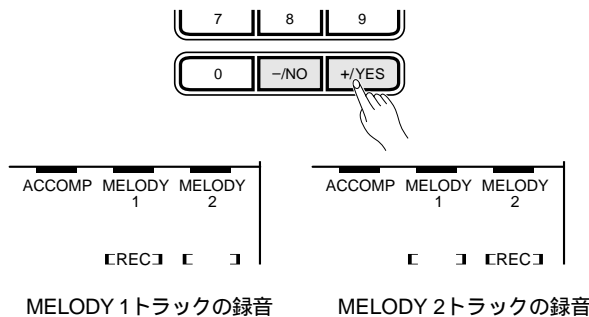


## 5 録音するトラックを選択します。

演奏モードがNORMALモードの場合

録音待機状態になると、ディスプレイのMELODYトラックにRECが表示されます。

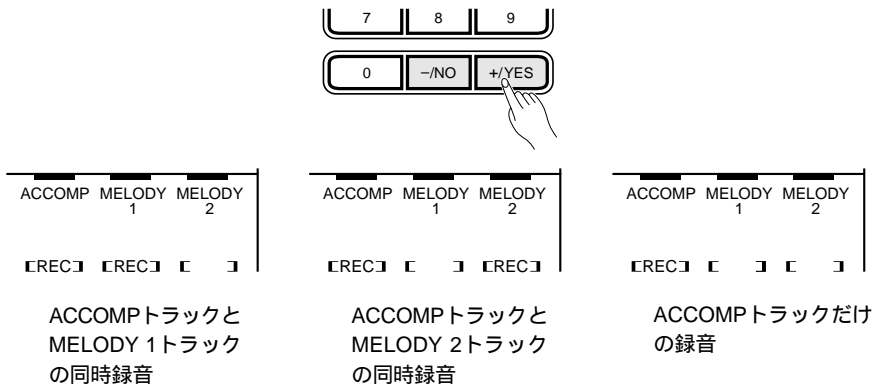
[+/YES] - /NO を押すとディスプレイのMELODY 1トラックとMELODY 2トラックのREC表示が下のように切り替わり、録音トラックを設定することができます。



演奏モードがア कंप ( SINGLE、または FINGERED )モードの場合

録音待機状態になると、ディスプレイのACCOMPトラックにRECが表示されます。

[+/YES] - /NO を押すとMELODY 1トラックとMELODY 2トラックのREC表示が下のように切り替わり、同時録音するメロディトラックを設定することができます。



### メモ

ソングナンバーに17~19以外が選択されている状態で、RECボタンを押すと、ソングナンバーは自動的に「17」に変更されます。

録音待機状態になると、MEASUREは「01」にリセットされます。(特定の小節からの録音はできません。)

### メモ

録音待機状態になると、メトロノームの設定(P.32参照)がオンになっていれば、設定されているテンポでメトロノーム音が鳴ります。

MELODY 1, 2トラックは同時に録音できません。

### メモ

録音待機状態になると、メトロノームの設定(P.32参照)がオンになっていれば、設定されているテンポでメトロノーム音が鳴ります。

録音済みの他のトラックの演奏を再生しながら、録音することができます。

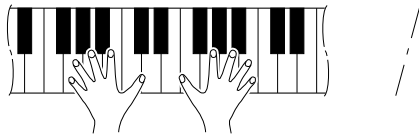
### ヒント

MELODY(1、または2)トラックの録音で鍵盤の全鍵域を使用する場合は、ACCOMPトラックとMELODYトラックを別々に録音しましょう。

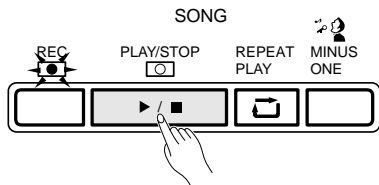
# ソングを録音しましょう

## 6 録音をスタートします。

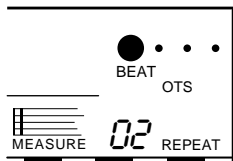
演奏を始めると、RECランプが点灯に変わり、録音がスタートします(シンクロスタート)。



演奏モードがACCOMPモードの場合、START/STOPボタンを押しても録音はスタートしますが、コードを押さえるまでACCOMPトラックにリズムだけが録音されます。

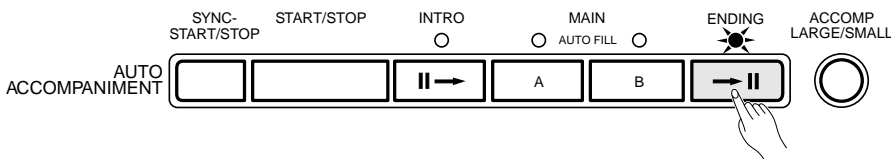
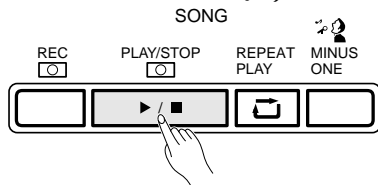


録音中、ディスプレイのMEASUREには小節ナンバーが表示され、ビートインディケータがテンポに合わせて点滅します。



## 7 録音をストップします。

PLAY/STOPボタンを押すと録音がストップします。(演奏モードがアカンブ(SINGLE、またはFINGERED)モードの場合、ENDINGボタンを押すと、エンディングセクションを演奏してからストップします。)



録音を終了すると、録音したトラックのボイスナンバー(MELODYトラックのみ)とボリュームがディスプレイ表示され、小節ナンバーは「01」に戻ります。

### メモ

PLAY/STOPボタンを押しても録音はスタートしますが、押鍵するまでACCOMPトラックにはノーコードデータが録音されません。メロディトラックには押鍵するまで何も録音されません。

PLAY/STOPボタンを押してメロディトラックの録音をスタートし、押鍵せずに録音をストップすると、そのメロディトラックのデータを消去することができます。(メロディトラックデータクリア)

録音をスタートすると、そのトラックに録音されていたデータは、新しいデータに書き変わります。

### メモ

録音は小節単位で行われます。

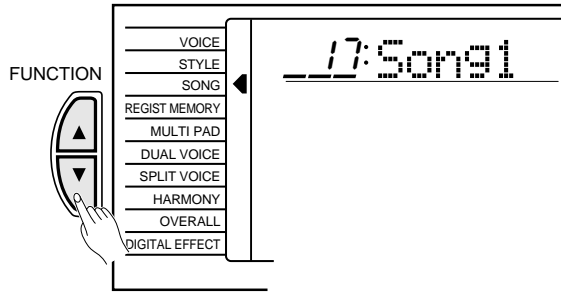
録音途中でMELODYトラックのメモリー容量がいっぱいになると「Mel Full」が、ACCOMPトラックのメモリー容量がいっぱいになると「Acc Full」が約2秒間ディスプレイに表示され、そのトラックの録音は自動的にストップします。ただし、上記メッセージが表示されるまでのデータは録音されています。

電源アダプターがコンセントに差し込まれているか、乾電池がセットされている場合、電源を切っても録音したソングの内容は記憶されています。

## 再生

### 1 ソングナンバーを選択します。

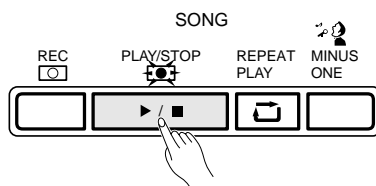
FUNCTION ボタンを押してSONGファンクションを選択した後、[ 0 ]-[ 9 ] + / YES ] - / NO ] を押して再生したいソングナンバー( 17 ~ 19 )を選択します。



この時、録音データが記録されているトラックは自動的にトラックのアイコンが点灯します。再生させたくないトラックは、カーソルを移動してから[ + / YES ] - / NO ] を押してアイコンを消灯させてください。

### 2 再生をスタート/ストップします。

PLAY/STOPボタンを押すと再生がスタートします。



再生中、ディスプレイのMEASUREには、小節ナンバーが表示されます。録音データを最後まで再生するとソングは自動的にストップします。  
再生途中でストップする場合は、PLAY/STOPボタンをもう一度押してください。

#### メモ

現在選択されているソングを再生する場合、1の操作は必要ありません。

#### メモ

ソングを再生させながら、演奏することもできます。

カーソルをMEASUREまで移動して、[ 0 ]-[ 9 ] + / YES ] - / NO ] を使って小節ナンバーを指定すれば、特定の小節から再生することができます。この時、[ 1 ] または [ 2 ] を押し続けると、それぞれ100の位「1\_\_」 「2\_\_」を入力することができます。

# ソングを録音しましょう

## 録音データのリライト(書き替え)

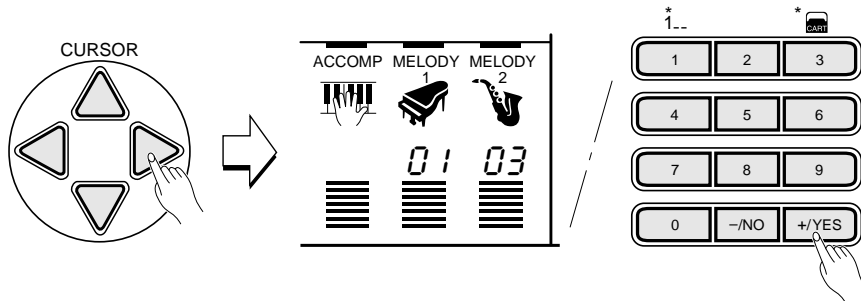
録音したソングのボイスナンバー/ボリューム値をトラックごとにリライトする(書き替える)ことができます。

### ボイスナンバーのリライト

ソングを選択し、ディスプレイのカーソルをリライトしたいトラックのボイスナンバーまで移動します。PLAY/STOPボタンを押してソングを再生しながら、[ 0 ]-[ 9 ] + /YES ] - /NO ] ボタンを押してボイスナンバーを変更します。もう一度PLAY/STOPボタンを押す、または、そのまま最後まで再生してストップすると、ボイスナンバーのリライトが実行されます。ボイスの変更後に、別のボイスデータがソングデータに記録されている場合は、その時点でボイスナンバーのリライトが実行されます。

### ボリューム値のリライト

ソングを選択し、ディスプレイのカーソルをリライトしたいトラックのボリューム(グラフィック表示)まで移動します。PLAY/STOPボタンを押してソングを再生しながら、[ + /YES ] - /NO ] を押してボリュームを変更します。もう一度PLAY/STOPボタンを押す、またはそのまま最後まで再生してストップすると、ボリュームのリライトが実行されます。

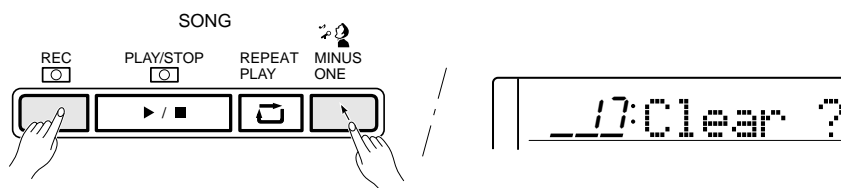


## ソングクリア(ソングデータの消去)

不要になった録音データをクリア(消去)します。

クリアしたいソングを選択した後、RECボタンを押しながらMINUS ONEボタンを押します。ディスプレイの最上段に「Clear ?」が表示されます。[ + /YES ] を押すとクリアが実行されます。

[ - /NO ] を押す、または他のファンクションを選択するとソングクリアはキャンセル(中止)されます。



### メモ

デモ曲、カートリッジソングのボイスナンバー/ボリューム値はリライトできません。

ボイスナンバー/ボリューム値を変更しても、データの書き替えが実行される前に[ + /YES ] [ - /NO ] を同時に押すことで、元の設定に戻すことができます。

ノーマルボイスとデュアルボイスが録音されたトラックのボイスナンバーをリライトする場合、ノーマルボイスの変更と同時にデュアルボイスも自動的に変更されます。

### メモ

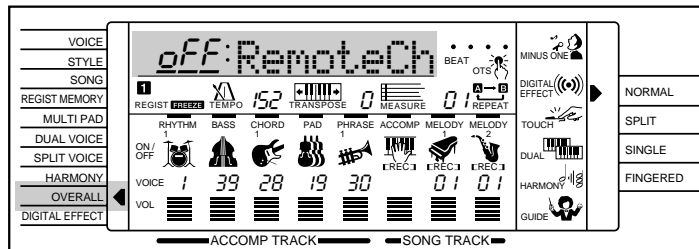
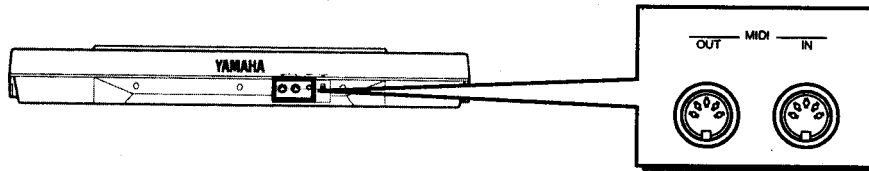
デモ曲、またはカートリッジソングが選ばれている時に、RECボタンを押すとソングナンバーは自動的に「17」に変更されません。デモ曲とカートリッジソングはクリアできません。





# MIDI機能を活用して演奏の幅を広げましょう

PSR-420/320はリアパネルにMIDI端子(MIDI IN、MIDI OUT)がついています。MIDI機能の活用により、音楽の可能性を広げることができます。ここではMIDIとは何か、MIDIでできること、PSR-420/320のMIDI関連の操作方法などについて説明します。



PSR-420

## MIDIとは？

MIDI(ミディ)とは、「Musical Instrument Digital Interface」の略で、「電子楽器間のデジタル通信」という意味です。MIDIは電子楽器どうし(またはコンピューターなど)で演奏情報のやりとりを行うために生まれた世界共通の規格です。複数のMIDI楽器(機器)をケーブルで接続すれば、機器間で様々な演奏情報が送受信でき、より高度な演奏が可能になります。なお、PSR-420/320の音色(ボイス)配列はGMシステムレベル1(P.69参照)に準拠しています。

## PSR-420/320のMIDI端子について

PSR-420/320のリアパネルには2種類のMIDI端子がついています。

MIDI IN .....他のMIDI機器からのMIDI信号を受信します。

MIDI OUT .....PSR-420/320の演奏情報をMIDI信号として他のMIDI機器へ送信します。

OUT MIDI IN



### メモ

MIDI機器の接続には専用のMIDIケーブル(別売)が必要です。楽器店などでお買い求めください。

あまり長いケーブルを使用すると、エラーが生じる場合があります。ケーブルは15m以内のものをご使用ください。



## 鍵盤演奏の送信 (KybdOut)

鍵盤の右手演奏 ..... 01チャンネル  
 鍵盤の右手演奏  
 (デュアルボイス)..... 11チャンネル  
 鍵盤の左手演奏 ..... 02チャンネル

## ソング演奏の送信 (SongOut)

MELODY 1トラック演奏 .... 13チャンネル  
 MELODY 1トラック演奏  
 (デュアルボイス)..... 14チャンネル  
 MELODY 2トラック演奏 .... 15チャンネル  
 MELODY 2トラック演奏  
 (デュアルボイス)..... 16チャンネル

## アカンパニメント演奏の送信 (AcompOut)

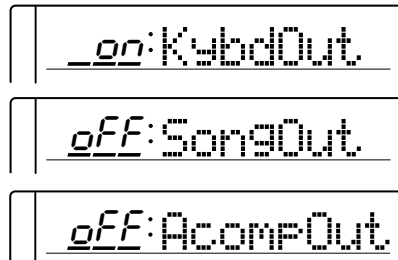
[ 内蔵スタイルの場合 ]

RHYTHMトラック演奏 ..... 10チャンネル  
 BASSトラック演奏 ..... 03チャンネル  
 CHORDトラック演奏 ..... 04チャンネル  
 PADトラック演奏 ..... 06チャンネル  
 PHRASE 1トラック演奏 ..... 07チャンネル  
 PHRASE 2トラック演奏 ..... 08チャンネル  
 PHRASE 2トラック演奏  
 (デュアルボイス)..... 05チャンネル

[ カートリッジスタイルの場合 ]

RHYTHM 1トラック演奏 .... 09チャンネル  
 RHYTHM 2トラック演奏 .... 10チャンネル  
 BASSトラック演奏 ..... 03チャンネル  
 CHORD 1トラック演奏 ..... 04チャンネル  
 CHORD 2トラック演奏 ..... 05チャンネル  
 PADトラック演奏 ..... 06チャンネル  
 PHRASE 1トラック演奏 ..... 07チャンネル  
 PHRASE 2トラック演奏 ..... 08チャンネル

FUNCTION ボタンを押してOVERALLファンクションを選択します。  
 CURSOR キーを押して「KybdOut」「SongOut」「AcompOut」を選択します。それぞれの送信オン/オフ設定が、ディスプレイの最上段の左側に表示されます。  
 [ +/YES ] - /NO を押して、それぞれのオン/オフ (on/off) を設定します。



### メモ

自分で録音したソングのみ送信できます。

SongOutは、自分で録音したソングのMELODYトラックのデータだけを送信します。ソング演奏をMIDI OUTする場合は、SongOutとAcompOutの両方を「on」にしてください。

### メモ

OVERALLファンクションに入ると、ディスプレイのトラック関連表示が消え、カーソルが移動できなくなります。

KybdOutの初期設定は「on」、SongOutとAcompOutの初期設定は「off」です。

電源アダプターがコンセントに差し込まれているか、乾電池がセットされている場合、電源を切っても送信設定は記憶されています。

MIDI送受信データに関する詳細は、P.68「MIDIインプリメンテーションチャート」を参照して、より高度な演奏にチャレンジしてください。

## その他のMIDI設定

### クロックの設定

PSR-420/320とMIDIケーブルで接続した外部機器のクロックに同期させる(オン)/させない(オフ)を設定します。

off PSR-420/320の内部クロックで作動します。

on 外部機器のクロックで作動します。

FUNCTION ボタンを押してOVERALLファンクションを選択します。  
 CURSOR キーを押して「ExtClock」を選択します。クロック設定が、ディスプレイ最上段の左側に表示されます。  
 [ +/YES ] - /NO を押して、クロックon/offを設定します。



### メモ

OVERALLファンクションに入ると、ディスプレイのトラック関連表示が消え、カーソルが移動できなくなります。

クロックの初期設定は「off」です。

「on」が選択されていても400msec以上外部クロックが入力されない場合、自動的に内部クロックで発音します。

電源アダプターがコンセントに差し込まれているか、乾電池がセットされている場合、電源を切ってもクロックの設定は記憶されています。

# MIDI機能を活用して演奏の幅を広げましょう

## ローカルオン / オフ設定

ローカルコントロールのオン / オフ設定を行います。ローカルコントロールとは、PSR-420/320の演奏を、PSR-420/320の内部音源で鳴らす(オン) / 鳴らさない(オフ)という設定です。

### on(ローカルオン)

本体の演奏は通常どおりPSR-420/320で発音します。またMIDI INから受信した情報もPSR-420/320で発音します。

### oFF(ローカルオフ)

本体の演奏はPSR-420/320で発音しません。ただし、MIDI INから受信した情報はPSR-420/320で発音します。(リモートチャンネルで設定されたチャンネルの情報を除く)

FUNCTION ボタンを押してOVERALLファンクションを選択します。

CURSOR キーを押して「Local」を選択します。ローカルオン / オフ設定が、ディスプレイの最上段の左側に表示されます。

[ + / YES ] - / NO を押して、ローカルオン / オフ( on / oFF )を設定します。

A rectangular LCD display with a black background and white text. The text reads 'on:Local' in a monospaced font. The 'on' is underlined.

## メモ

PSR-420/320の押鍵情報は、ローカルコントロールのオン / オフ設定にかかわらず、MIDI OUTから外部機器に送信されます。

OVERALLファンクションに入ると、ディスプレイのトラック関連表示が消え、カーソルが移動できなくなります。

ローカルオン / オフの初期設定は「on(ローカルオン)」です。

## イニシャルセンド(InitSnd?)について

PSR-420/320の演奏を外部シーケンサーに録音する場合、演奏の前にPSR-420/320のパネルのセッティングを外部シーケンサーに送信 / 録音してください。

OVERALLファンクションで「InitSnd?」を選択し、外部シーケンサーの録音を開始します。[ + / YES ] を押すと初期設定を送信します。送信が終了し、ディスプレイに「End」が表示され、再び「InitSnd?」表示に戻ってから、演奏を始めてください。

A rectangular LCD display with a black background and white text. The text reads 'YES:InitSnd?' in a monospaced font. The 'YES' is underlined.

## メモ

ソングデータの最初にパネルセッティングが録音されていないと、録音されたソングが正しく再生されません。

## MIDIバルクダンプ(MIDI BULK DUMP)について

### MIDIバルクダンプ送信

MIDIバルクダンプとは、PSR-420/320のパネルの設定(ソング、レジストレーションメモリー)をMIDI OUTから送信する機能です。MIDIバルクダンプ送信して、データをシーケンサーやデータファイラーに記録しておけば、それらのデータを受信すると自動的にパネルがセットアップされます。

FUNCTION ボタンを押してOVERALLファンクションを選択します。

CURSOR キーを押して「BulkSnd?」を選択します。

[ + /YES ] を押すと、ディスプレイに「 Sure? 」が表示され、バルクダンプ送信の実行を確認します。もう一度 + /YES を押すと、バルクダンプ送信が実行されます。

[ - /NO ] を押すと、バルクダンプは実行されません。

A screenshot of the instrument's LCD display showing the text "YES: BulkSnd?" in a monospaced font. The text is centered on the screen, with "YES:" on the first line and "BulkSnd?" on the second line.

バルクダンプの送信中、ディスプレイは「 BkSnd:Sg (ソングデータ送信中) 」 「 BkSnd:Rg (レジストレーションメモリーデータ送信中) 」を表示します。

送信が終了すると、ディスプレイに「 End 」が表示され、再び「 BulkSnd? 」表示に戻ります。

### MIDIバルクダンプ受信

もう1台のPSR-420/320やデータファイラーなどの外部機器からバルクダンプ(エクスクルーシブメッセージ)を受信することができます。受信するとディスプレイに「 BkRcv:Sg (ソングデータ受信中) 」 「 BkRcv:Rg (レジストレーションメモリーデータ受信中) 」を表示して、ソング、レジストレーションの順番で、受信データがPSR-420/320にメモリーされます。

受信が終了すると、ディスプレイに「 End 」が表示され、受信前の表示に戻ります。

A screenshot of the instrument's LCD display showing the text ":BkRcv:Sg" in a monospaced font. The text is centered on the screen, with a colon on the first line and "BkRcv:Sg" on the second line.

#### メモ

バルクダンプ送信を途中で中止する場合は、[ - /NO ] を押してください。

バルクダンプ送信中は、パネルの操作はできません。

#### メモ

バルクダンプ受信中、パネルの操作はできません。

受信中にエラーが起こると、ディスプレイに「 BkRcvErr 」 「 MemClrSg 」、または「 BkRcvErr 」 「 MemClrRg 」が表示されます。「 MemClrSg 」が表示された場合はソングデータが初期化され、「 MemClrRg 」が表示された場合はレジストレーションメモリーデータが初期化されます。

録音中、再生中、オートアカンパニメント演奏中は、バルクダンプ受信は受け付けません。

バルクダンプを受信すると、PSR-420/320のソングデータ、レジストレーションメモリーデータは、受信したデータに変更されます。

# PSR-420/320ファンクションツリー

PSR-420/320のファンクション(FUNCTION)には、様々な設定項目が用意されています。  
 下のツリーはファンクションの構成一覧です。設定したいファンクションの内容や階層を  
 確認するのにご活用ください。

ファンクション	ディスプレイ	内容	参照ページ
ファンクション	<b>VOICE</b>	GrandPno (ボイス名)	ノーマルボイスの選択 ..... P.12
	<b>STYLE</b>	RkBoogie (スタイル名)	アカンパニメントスタイルの選択 ..... P.16
	<b>SONG</b>	Song1 (ソング名)	ソングの選択 ..... P.50
	<b>REGIST MEMORY</b>	Bank1 (バンク名)	レジストレーションメモリーバンクの選択 ..... P.36
	<b>MULTI PAD</b>	Fanfare (マルチパッドキット名)	マルチパッドキットの選択 ..... P.38
	<b>DUAL VOICE</b>	Syn.Str2 (デュアルボイス名)	デュアルボイスの選択 ..... P.29
		D.Volume	デュアルボイスボリュームの設定 ..... P.29
		D.Octave	デュアルボイスオクターブの設定 ..... P.29
		D.Pan	デュアルボイスパンの設定 ..... P.29
	<b>SPLIT VOICE</b>	Aco.Bass (スプリットボイス名)	スプリットボイスの選択 ..... P.26
S.Volume		スプリットボイスボリュームの設定 ..... P.27	
S.Octave		スプリットボイスオクターブの設定 ..... P.27	
S.Pan		スプリットボイスパンの設定 ..... P.27	
S.Split		スプリットモード:スプリットポイントの設定 ..... P.27	
<b>HARMONY</b>	Block (ハーモニータイプ名)	ハーモニータイプの選択 ..... P.30	
<b>OVERALL</b>			
<b>DIGITAL EFFECT</b>			

— Kybd Vol	鍵盤演奏(ノーマル・デュアル・スプリットボイス)のボリューム設定 .. P.31
— Octave	鍵盤演奏(ノーマル・デュアルボイス)のオクターブ設定 ..... P.31
— Pan	鍵盤演奏(ノーマルボイス)のパン設定 ..... P.31
— VoiceSet	ボイスセットオン/オフの設定 ..... P.33
— FngrngMd	フィンガードモード:フィンガリングモードの設定 ..... P.18
— AcompVol	ア कंपボリュームの設定 ..... P.24
— AccSpPnt	ア कंपモード:スプリットポイントの設定 ..... P.19
— TouchSns	タッチセンスの設定 ..... P.28
— MinusMod	マイナスワンモードの設定 ..... P.43
— MinusChR	右手マイナスワンチャンネルの設定 ..... P.45
— MinusChL	左手マイナスワンチャンネルの設定 ..... P.45
— Lamp	ランプON/OFFの設定(PSR-420) ..... P.33
— Metronom	メトロノームON/OFFの設定 ..... P.32
— RemoteCh	リモートキーボード受信チャンネルの設定 ..... P.56
— KybdOut	鍵盤演奏のMIDI送信設定 ..... P.57
— SongOut	ソング演奏のMIDI送信設定 ..... P.57
— AcompOut	アカンバニメント演奏のMIDI送信設定 ..... P.57
— Local	ローカルコントロールオン/オフの設定 ..... P.58
— ExtClock	MIDIクロックの設定 ..... P.57
— InitSnd?	パネルの初期設定送信 ..... P.58
— BulkSnd?	バルクダンプ送信 ..... P.59

— Amb+Ens	デジタルエフェクトタイプの選択 ..... P.34 (デジタルエフェクトタイプ名)
-----------	---

# ボイスリスト

## 最大同時発音数について

PSR-420/320の最大同時発音数は28音ですが、デュアルボイスやスプリットボイス、オートアカンパニメント、ソングなどを含めたすべての発音数の合計が28音ということです。したがって、オートアカンパニメントやソングの再生などで発音している分だけ、鍵盤演奏の発音数は減少します。28音以上になると、後着優先で発音します。

なお、PSR-420/320のボイスの中には、2音使って作られているものがあります。これらは1音の発音が2音の発音に相当します。

各ボイスごとの使用発音数は、次のリストを参照してください。(リスト内の発音数は、そのボイスの使用する最大の使用発音数を示していますが、音程によってはこれ以下の使用発音数となっているものもあります。)

### メモ

リストにはMIDIプログラムナンバー(ボイスナンバー)を掲載します。MIDIを使ってPSR-420/320のボイスを鳴らす場合は、このプログラムナンバーを使用してください。

ボイスナンバー46「Pizzicato Strings 2」のC#2以下とF5以上の鍵域、およびボイスナンバー110「Bagpipe」のA#2以上の鍵域の使用発音数は1です。

ボイス No.	MIDIプログラムNo.	ボイスネーム	使用発音数
Piano (ピアノ)			
01	0	Acoustic Grand Piano (グランドピアノ)	1
02	1	Bright Acoustic Piano (ブライトピアノ)	1
03	2	Electric Grand Piano (エレクトリックグランドピアノ)	2
04	3	Honky-tonk Piano (ホンキートンクピアノ)	2
05	4	Electric Piano 1 (エレクトリックピアノ1)	2
06	5	Electric Piano 2 (エレクトリックピアノ2)	2
07	6	Harpichord (ハーブシコード)	1
08	7	Clavi (クラビ)	1
Chromatic Percussion (クロマチックパーカッション)			
09	8	Celesta (チェレスタ)	1
10	9	Glockenspiel (グロッケンシュピール)	1
11	10	Music Box (ミュージックボックス)	2
12	11	Vibraphone (ビブラフォン)	1
13	12	Marimba (マリンバ)	1
14	13	Xylophone (シロフォン)	1
15	14	Tubular Bells (チューブラーベル)	1
16	15	Dulcimer (ダルシマー)	2
Organ (オルガン)			
17	16	Drawbar Organ (ドローパーオルガン)	2
18	17	Percussive Organ (パーカッシブオルガン)	2
19	18	Rock Organ (ロックオルガン)	2
20	19	Church Organ (チャーチオルガン)	2
21	20	Reed Organ (リードオルガン)	1
22	21	Accordion (アコーディオン)	2
23	22	Harmonica (ハーモニカ)	1
24	23	Bandoneon (バンドネオン)	2
Guitar (ギター)			
25	24	Acoustic Guitar (nylon) (ガットギター)	1
26	25	Acoustic Guitar (steel) (フォークギター)	1
27	26	Electric Guitar (jazz) (ジャズギター)	1

ボイス No.	MIDIプログラムNo.	ボイスネーム	使用発音数
28	27	Electric Guitar (clean) (エレクトリックギター)	2
29	28	Electric Guitar (muted) (ミュートギター)	1
30	29	Overdriven Guitar (オーバードライブギター)	1
31	30	Distortion Guitar (ディストーションギター)	1
32	31	Guitar Harmonics (ギターハーモニクス)	1
Bass (ベース)			
33	32	Acoustic Bass (アコースティックベース)	1
34	33	Electric Bass (finger) (エレクトリックベース)	1
35	34	Electric Bass (pick) (ピックベース)	1
36	35	Fretless Bass (フレットレスベース)	1
37	36	Slap Bass 1 (スラップベース1)	1
38	37	Slap Bass 2 (スラップベース2)	1
39	38	Synth Bass 1 (シンセベース1)	1
40	39	Synth Bass 2 (シンセベース2)	1
Strings (ストリングス)			
41	40	Violin (バイオリン)	1
42	41	Viola (ビオラ)	1
43	42	Cello (チェロ)	1
44	43	Contrabass (コントラバス)	1
45	44	Tremolo Strings (トレモロストリングス)	2
46	45	Pizzicato Strings (ピチカートストリングス)	2
47	46	Orchestral Harp (ハーブ)	1
48	47	Timpani (ティンパニ)	1
Ensemble (アンサンブル)			
49	48	Strings Ensemble 1 (ストリングスアンサンブル1)	1
50	49	Strings Ensemble 2 (ストリングスアンサンブル2)	1
51	50	Synth Strings 1 (シンセストリングス1)	2
52	51	Synth Strings 2 (シンセストリングス2)	2
53	52	Choir Aahs (クワイア アー)	2
54	53	Voice Oohs (ボイス ウー)	1
55	54	Synth Voice (シンセボイス)	1
56	55	Orchestra Hit (オーケストラヒット)	1



ボイス No.	MIDIプログラムNo.	ボイスネーム	使用発音数
Brass (ブラス)			
57	56	Trumpet (トランペット)	1
58	57	Trombone (トロンボーン)	1
59	58	Tuba (チューバ)	1
60	59	Muted Trumpet (ミュートトランペット)	1
61	60	French Horn (フレンチホルン)	1
62	61	Brass Section (ブラスセクション)	1
63	62	Synth Brass 1 (シンセブラス1)	2
64	63	Synth Brass 2 (シンセブラス2)	2
Reed (リード)			
65	64	Soprano Sax (ソプラノサククス)	1
66	65	Alto Sax (アルトサククス)	1
67	66	Tenor Sax (テナーサククス)	1
68	67	Baritone Sax (バリトンサククス)	1
69	68	Oboe (オーボエ)	1
70	69	English Horn (イングリッシュホルン)	1
71	70	Bassoon (バスーン)	1
72	71	Clarinet (クラリネット)	1
Pipe (パイプ)			
73	72	Piccolo (ピッコロ)	1
74	73	Flute (フルート)	1
75	74	Recorder (リコーダー)	1
76	75	Pan Flute (パンフルート)	1
77	76	Blown Bottle (ボトル)	2
78	77	Shakuhachi (尺八)	1
79	78	Whistle (ホイッスル)	1
80	79	Ocarina (オカリナ)	1
Synth Lead (シンセリード)			
81	80	Lead 1 (square) (矩形波リード)	2
82	81	Lead 2 (sawtooth) (ノコギリ波リード)	2
83	82	Lead 3 (calliope) (カリオペリード)	2
84	83	Lead 4 (chiff) (チフリード)	2
85	84	Lead 5 (charang) (チャランリード)	2
86	85	Lead 6 (voice) (ボイスリード)	2
87	86	Lead 7 (fifth) (5度リード)	2
88	87	Lead 8 (bass+Lead) (ベース&リード)	2
Synth Pad (シンセパッド)			
89	88	Pad 1 (new age) (ニューエイジパッド)	2
90	89	Pad 2 (warm) (ウォームパッド)	2
91	90	Pad 3 (polysynth) (ポリシンセパッド)	2
92	91	Pad 4 (choir) (クワイアパッド)	2

ボイス No.	MIDIプログラムNo.	ボイスネーム	使用発音数
93	92	Pad 5 (bowed) (ボウドパッド)	2
94	93	Pad 6 (metallic) (メタリックパッド)	2
95	94	Pad 7 (halo) (ヘイロパッド)	2
96	95	Pad 8 (sweep) (スイープパッド)	2
Synth Effects (シンセエフェクト)			
97	96	FX 1 (rain) (雨)	2
98	97	FX 2 (soundtrack) (サウンドトラック)	2
99	98	FX 3 (crystal) (クリスタル)	2
100	99	FX 4 (atmosphere) (アトモスフィア)	2
101	100	FX 5 (brightness) (ブライトネス)	2
102	101	FX 6 (goblins) (ゴブリン)	2
103	102	FX 7 (echoes) (エコー)	2
104	103	FX 8 (sci-fi) (SF)	2
Ethnic (エスニック)			
105	104	Sitar (シタール)	1
106	105	Banjo (バンジョー)	1
107	106	Shamisen (三味線)	1
108	107	Koto (琴)	1
109	108	Kalimba (カリンバ)	1
110	109	Bagpipe (バグパイプ)	2
111	110	Fiddle (フィドル)	1
112	111	Shanai (シャナイ)	1
Percussive (パーカッシブ)			
113	112	Tinkle Bell (ティンクルベル)	2
114	113	Agogo (アゴゴ)	1
115	114	Steel Drums (スチールドラム)	2
116	115	Woodblock (ウッドブロック)	1
117	116	Taiko Drum (和太鼓)	1
118	117	Melodic Tom (メロディックタム)	1
119	118	Synth Drum (シンセドラム)	1
120	119	Reverse Cymbal (リバースシンバル)	1
Sound Effects (サウンドエフェクト)			
121	120	Guitar Fret Noise (フレットノイズ)	1
122	121	Breath Noise (ブレスノイズ)	1
123	122	Seashore (海辺)	2
124	123	Bird Tweet (鳥のさえずり)	2
125	124	Telephone Ring (電話のベル)	1
126	125	Helicopter (ヘリコプター)	2
127	126	Applause (拍手)	2
128	127	Gunshot (銃声)	1

# パーカッションキットリスト

←は「129:スタンダードキット」と同じ内容であることを表します。  
 パーカッションキット( )はMIDIプログラムナンバーです。  
 各パーカッション音の使用発音数は1です。

MIDIのNote#とNoteは、この表記よりも1オクターブ下になります。たと  
 えば、ボイスナンバー 129: Standard Kitの「クリック(スクエアウェーブ)」  
 (Note# 36/Note C1)は、(MIDI Note# 24/Note C0)に対応します。

Note#	Note	129: Standard Kit (0)	130: Room Kit (8)	131: Rock Kit (16)	132: Electronic Kit (24)
36	C1	クリック(スクエアウェーブ)	←	←	←
37	C#1	ブラッシュ タップ	←	←	←
38	D1	ブラッシュ スワール	←	←	←
39	D#1	ブラッシュ スラップ	←	←	←
40	E1	ブラッシュスワール ウィズアタック	←	←	リバース シンバル
41	F1	スネア ロール	←	←	←
42	F#1	カスタネット	←	←	ハイキュー
43	G1	スネア ハイ ソフト	スネア ルーム ロー	スネア ロック ロー	スネア ゲート ロー
44	G#1	スティックス	←	←	←
45	A1	バスドラム ハイ ソフト	バスドラム ルーム ロー	バスドラム ロック ロー	バスドラム ゲート ロー
46	A#1	オープン リムショット	←	←	←
47	B1	バスドラム ロー	バスドラム ルーム ミッド	バスドラム ロック ミッド	バスドラム ゲート ミッド
48	C2	バスドラム ハイ ハード	バスドラム ルーム ハイ	バスドラム ロック ハイ	バスドラム ゲート ハイ
49	C#2	クローズ リムショット	←	←	←
50	D2	スネア ロー	スネア ルーム ミッド	スネア ロック ミッド	スネア ゲート ミッド
51	D#2	ハンドクラップ	←	←	←
52	E2	スネア ハイ ハード	スネア ルーム ハイ	スネア ロック ハイ	スネア ゲート ハイ
53	F2	フロアタム ロー	ルーム タム1	ロック タム1	エレクトロニック タム1
54	F#2	ハイハット クローズ *1	←	←	←
55	G2	フロアタム ハイ	ルーム タム2	ロック タム2	エレクトロニック タム2
56	G#2	ハイハットペダル *1	←	←	←
57	A2	ロータム	ルーム タム3	ロック タム3	エレクトロニック タム3
58	A#2	ハイハット オープン *1	←	←	←
59	B2	ミッド タム ロー	ルーム タム4	ロック タム4	エレクトロニック タム4
60	C3	ミッド タム ハイ	ルーム タム5	ロック タム5	エレクトロニック タム5
61	C#3	クラッシュシンバル1	←	←	←
62	D3	ハイタム	ルーム タム6	ロック タム6	エレクトロニック タム6
63	D#3	ライドシンバル1	←	←	←
64	E3	チャイニーズシンバル	←	←	←
65	F3	ライドシンバル カップ	←	←	←
66	F#3	タンバリン	←	←	←
67	G3	スブラッシュ シンバル	←	←	←
68	G#3	カウベル	←	←	←
69	A3	クラッシュ シンバル2	←	←	←
70	A#3	ビブラスラップ	←	←	←
71	B3	ライドシンバル2	←	←	←
72	C4	ボンゴ ハイ	←	←	←
73	C#4	ボンゴ ロー	←	←	←
74	D4	コンガ ハイ ミュート	←	←	←
75	D#4	コンガ ハイ オープン	←	←	←
76	E4	コンガ ロー	←	←	←
77	F4	ティンパレス ハイ	←	←	←
78	F#4	ティンパレス ロー	←	←	←
79	G4	アゴゴ ハイ	←	←	←
80	G#4	アゴゴ ロー	←	←	←
81	A4	カバサ	←	←	←
82	A#4	マラカス	←	←	←
83	B4	サンバホイッスル ハイ	←	←	←
84	C5	サンバホイッスル ロー	←	←	←
85	C#5	ギロ ショート	←	←	←
86	D5	ギロ ロング	←	←	←
87	D#5	クラベス	←	←	←
88	E5	ウッドブロック ハイ	←	←	←
89	F5	ウッドブロック ロー	←	←	←
90	F#5	クイーカ ミュート	←	←	スクラッチ ハイ
91	G5	クイーカ オープン	←	←	スクラッチ ロー
92	G#5	トライアングル ミュート *2	←	←	←
93	A5	トライアングル オープン *2	←	←	←
94	A#5	シェイカー	←	←	←
95	B5	ジングルベル	←	←	←
96	C6	ベルツリー	←	←	←
97	C#6	声「ワン」	←	←	←
98	D6	声「ツー」	←	←	←
99	D#6	声「スリー」	←	←	←
100	E6	声「フォー」	←	←	←
101	F6	声「アーユーシュア？」	←	←	←

# パーカッションキットリスト

オルタネートナンバー \*1~4が同じものは、同時に鳴らすことはできません。

Note#	Note	133: Analog Kit (25)	134: Jazz Kit (32)	135: Brush Kit (40)	136: Classic Kit (48)
36	C1	<---	<---	<---	<---
37	C#1	<---	<---	<---	<---
38	D1	<---	<---	<---	<---
39	D#1	<---	<---	<---	<---
40	E1	リバース シンバル	<---	<---	<---
41	F1	<---	<---	<---	<---
42	F#1	ハイキュー	<---	<---	<---
43	G1	スネア アナログ ロー	<---	ブラッシュ スラップ ロー	スネア クラシック ロー
44	G#1	<---	<---	<---	<---
45	A1	バスドラム アナログ ロー	<---	<---	グランカーサ ロー
46	A#1	<---	<---	<---	<---
47	B1	バスドラム アナログ ミッド	<---	<---	グランカーサ ミッド
48	C2	バスドラム アナログ ハイ	<---	<---	グランカーサ ハイ
49	C#2	クローズリムショットアナログ	<---	<---	<---
50	D2	スネア アナログ ミッド	<---	ブラッシュ スラップ ハイ	スネア クラシック ミッド
51	D#2	<---	<---	<---	<---
52	E2	スネア アナログ ハイ	<---	ブラッシュ タップ	スネア クラシック ハイ
53	F2	アナログ タム1	ナチュラル タム1	ブラッシュ タム1	ナチュラル タム1
54	F#2	アナログハイハットクローズ1 *3	ダーク ハイハットクローズ *4	ダーク ハイハットクローズ *4	ダーク ハイハットクローズ *4
55	G2	アナログ タム2	ナチュラル タム2	ブラッシュ タム2	ナチュラル タム2
56	G#2	アナログハイハットクローズ2 *3	ダーク ハイハットペダル *4	ダーク ハイハットペダル *4	ダーク ハイハットペダル *4
57	A2	アナログ タム3	ナチュラル タム3	ブラッシュ タム3	ナチュラル タム3
58	A#2	アナログハイハットオープン *3	ダーク ハイハットオープン *4	ダーク ハイハットオープン *4	ダーク ハイハットオープン *4
59	B2	アナログ タム4	ナチュラル タム4	ブラッシュ タム4	ナチュラル タム4
60	C3	アナログ タム5	ナチュラル タム5	ブラッシュ タム5	ナチュラル タム5
61	C#3	<---	<---	<---	ハンドシンバル ロング ロー
62	D3	アナログ タム6	ナチュラル タム6	ブラッシュ タム6	ナチュラル タム6
63	D#3	<---	<---	<---	ハンドシンバル ショート ロー
64	E3	<---	<---	<---	<---
65	F3	<---	<---	<---	<---
66	F#3	<---	<---	<---	<---
67	G3	<---	<---	<---	<---
68	G#3	<---	<---	<---	<---
69	A3	<---	<---	<---	ハンドシンバル ロング ハイ
70	A#3	<---	<---	<---	<---
71	B3	<---	<---	<---	ハンドシンバル ショート ハイ
72	C4	<---	<---	<---	<---
73	C#4	<---	<---	<---	<---
74	D4	<---	<---	<---	<---
75	D#4	<---	<---	<---	<---
76	E4	<---	<---	<---	<---
77	F4	<---	<---	<---	<---
78	F#4	<---	<---	<---	<---
79	G4	<---	<---	<---	<---
80	G#4	<---	<---	<---	<---
81	A4	<---	<---	<---	<---
82	A#4	<---	<---	<---	<---
83	B4	<---	<---	<---	<---
84	C5	<---	<---	<---	<---
85	C#5	<---	<---	<---	<---
86	D5	<---	<---	<---	<---
87	D#5	<---	<---	<---	<---
88	E5	<---	<---	<---	<---
89	F5	<---	<---	<---	<---
90	F#5	スクラッチ ハイ	<---	<---	<---
91	G5	スクラッチ ロー	<---	<---	<---
92	G#5	<---	<---	<---	<---
93	A5	<---	<---	<---	<---
94	A#5	<---	<---	<---	<---
95	B5	<---	<---	<---	<---
96	C6	<---	<---	<---	<---
97	C#6	<---	<---	<---	<---
98	D6	<---	<---	<---	<---
99	D#6	<---	<---	<---	<---
100	E6	<---	<---	<---	<---
101	F6	<---	<---	<---	<---

# マルチパッドキットリスト

## PSR-320

キットNo.:ネーム	コードマッチ			
	パッド1	パッド2	パッド3	パッド4
01: WildWes( ウェスタン )	-	-	-	-
02: StarShip( スターシップ )	-	-	-	-
03: Wedding( ウェディング )	-	-		
04: HarpGls( ハープグリッサンド )				
05: BrassCh( ブラス )				
06: Fanfare( ファンファーレ )	-	-	-	-
07: TechnoFX( テクノ )	-	-		
08: Drum-Ki( ドラムキット )	-	-	-	-
09: DrumFlam( ドラムフラム )	-	-	-	-
10: AnalogDr( アナログドラム )	-	-	-	-
11: Timbales( ティンパレス )	-	-	-	-

## PSR-420

キットNo.:ネーム	コードマッチ			
	パッド1	パッド2	パッド3	パッド4
01: Fanfare( ファンファーレ )	-	-	-	-
02: HiTechno( テクノ )	-	-		
03: Arpeggio( アルペジオ )	-	-		
04: GuitRif( ギターリフレイン )			-	-
05: DrumFil( ドラムフィルイン )	-	-	-	-
06: DrumFlam( ドラムフラム )	-	-	-	-
07: Drum Ki( ドラムキット )	-	-	-	-
08: Class.Dr( クラシックドラム )	-	-	-	-
09: Timbales( ティンパレス )	-	-	-	-
10: CongaSe( コンガセット )	-	-	-	-
11: TrumpHi( トランペットヒット )				
12: Amazonas( アマゾン )	-	-	-	-
13: Xeno-SFX( エイリアン )	-	-		
14: WildWes( ウェスタン )	-	-		





0 通常は16チャンネル・マルチティンバー音源として機能します。  
パネル設定によりリモートチャンネルの設定が可能です。設定されたチャンネルは、本体の鍵盤をオン/オフした場合と同様に扱われます。ただし、このモードに設定したチャンネルは以下のデータを受信しません。

コントロールチェンジ： データ・エントリーMSB, LSB  
ポルタメント・コントロール  
RPN・データ・インクリメント  
RPN・データ・デクリメント  
RPN LSB, MSB

1 バンクセレクト送信：  
LSBは常に00H固定で送信されます。  
バンクセレクト受信：  
MSBはメロディ音色/リズム音色の切り替えに用いられます。  
(MSB 00H：メロディ音色/MSB 7FH：リズム音色)  
LSBは無視されます。  
10チャンネルのバンクセレクトは無視されます。  
バンクセレクト受信だけでは音色変更は行われません。プログラムチェンジを受信した際に適用されます。

2 RPN送受信：  
ピッチベンド・センシティビティ BnH, 64H, 00H, 65H, 00H  
ファイン・チューニング BnH, 64H, 01H, 65H, 00H  
コース・チューニング BnH, 64H, 02H, 65H, 00H  
ヌル BnH, 64H, 7FH, 65H, 7FH

3 ピッチベンド、モジュレーション、エクスプレッション、サステイン、ソステヌート、レジスタードパラメーターナンバーの各データを初期設定値に戻します。また、ポルタメントコントロールの設定をリセットします。

4 エクスクルーシブ  
<GM1システムオン> F0H, 7EH, 7FH, 09H, 01H, F7H  
MIDIマスターチューニングを除く全てのデータの設定値を初期設定値に戻します。  
<DISK ORCHESTRA オン> F0H, 43H, 73H, 01H, 14H, F7H  
外部シーケンサーなどで再生する「YAMAHAディスクオーケストラコレクション」の演奏を、このメッセージを受信して、PSR-420/320で鳴らすことができます。  
<DISK ORCHESTRA オフ> F0H, 43H, 73H, 01H, 13H, F7H

<MIDIマスターボリューム>  
F0H, 7FH, 7FH, 04H, 01H, ll, mm, F7H  
全チャンネルの音量を一度に変えられるメッセージです。  
(ユニバーサルシステムエクスクルーシブ)  
mmの値をMIDIマスターボリューム値として用います。(llの値は無視)  
MIDIマスターボリューム値と実際の音量の関係は、コントロールチェンジのマスターボリュームと同一です。  
mmのデフォルト値は7FHです。

<MIDIマスターチューニング>  
F0H, 43H, 1nH, 27H, 30H, 00H, mm, ll, cc, F7H  
全チャンネルの音程を一度に変えられるメッセージです。  
mmlの値をMIDIマスターチューニング値として用い、実際のチューニング値は次の式で表わされます。  
$$T = M - 128(28 \text{ M } 228)$$
  
T：チューニング値(セント)  
M：mmの0~3ビットをMSB、llの0~3ビットをLSBとする1バイトの値の10進値  
mmlの初期設定値は08H, 00Hです。また、n、およびccの値は任意です。  
この値はGM1システムオンでもリセットオールコントローラーでも初期化されません。

<パネルボイス> F0H, 43H, 76H, 1B, cc, vv, F7H  
パネルボイス GMボイスの切り替えメッセージです。  
cc：MIDIチャンネル  
vv：00=GMボイスモード/01=パネルボイスモード  
リモートチャンネルに設定されたチャンネルは、パネルボイスモードに固定されており、このメッセージは無効です。

<バルクダンプ>  
ソングメモリー  
F0H, 43H, 76H, 20H, bl, bh, <DATA>, cs, F7H  
レジストレーションメモリー  
F0H, 43H, 76H, 21H, bl, bh, <DATA>, cs, F7H  
bl：データバイト数LSB(データバイト数=bl+bh\*128)  
bh：データバイト数MSB  
cs：チェックサム

5 外部クロック、内部クロックの切り替えが可能です。  
6 スタート/ストップを送信します。  
7 パネルボイスモードに指定されたチャンネルは受信しますが、GMボイスモードに指定されたチャンネルは無視されます。アンビエンス・デプス値と実際の効果の関係は以下のとおりです。  
0~25：OFF, 26~81：1, 82~121：2, 122~127：3(MAX)

## GM システムレベル1 について

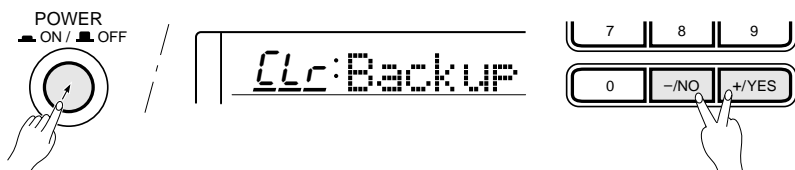
現在さまざまな楽器に普及しているMIDIは、メーカーや機種が違っても演奏やその他の各種情報を伝達できる規格です。これにより、例えばA社の音源用に作成したデータを使ってB社の音源を演奏できます。ただし、メーカーや機種によって音色配列やコントローラーの使い方が異なるため、データに互換性がありません。そこでシンセサイザーやトーンジェネレーターなどの音色配列やコントローラーの使い方に一定の基準を設け、メーカーや機種が異なってもほぼ同じ音色で演奏できるようにしたものが、GMシステムレベル1という規格です。PSR-420/320の音色配列は「GMシステムレベル1」に準拠しています。

# 初期化(イニシャライズ)の方法

PSR-420/320のパネル上の設定は電源を入れ直すとそれぞれの初期設定に戻りますが、レジストレーションメモリーデータ、録音したソングデータ、リモートチャンネル設定、MIDI送信設定、クロック設定は、POWER ON/OFFスイッチをオフにしても、電源アダプターが接続されているか、乾電池がセットされていればバックアップされています。

PSR-420/320のすべての設定を初期設定(工場出荷時の状態)に戻すことを「初期化」と呼びます。初期化は以下の方法で行ってください。

- 1 POWER ON/OFFスイッチを押して電源を切ります。
- 2 [ +/YES ] - /NO ]を同時に押しながら、POWER ON/OFFスイッチを押して電源を入れると、初期化が実行されます。初期化が完了するとディスプレイに「CLR: Backup」が表示されます。



## メモ

初期化を実行すると、録音したソングデータは失われ、レジストレーションメモリーデータ、リモートチャンネル設定、MIDI送信設定、クロック設定は初期設定値に戻りますのでご注意ください。

PSR-420/320が、何らかの原因で操作不能になったり、誤動作した場合は、一旦電源を切り、初期化の操作を行ってください。

# オプション商品のご紹介

## ヘッドフォン

- HPE-3 ..... ¥3,000
- HPE-150 ..... ¥4,000

## フットスイッチ

- FC4 ..... ¥ 3,000
- FC5 ..... ¥ 1,500

## MIDIケーブル

- YAMAHA MIDI-15 15m ..... ¥3,000
- MIDI-03 3m ..... ¥1,100

商品の金額には、消費税は含まれておりません。



# PSR-420/320仕様

## 鍵盤

レギュラーサイズ61鍵(C1~C6:タッチレスボンス付)

## ディスプレイ

大型液晶ディスプレイ(LCD)

## セットアップ

パワースイッチ:オン/オフ

マスターボリューム:MIN~MAX

## コントロール&テンキー

カーソル ◀▶、ファンクション、モード、  
[0]~[9] [+ /YES] - /NO]

## カートリッジスロット

## デモ曲

16曲

## 演奏モード

ノーマル、スプリット、シングル、フィンガード

## ボイス

AWM128音色(最大同時発音数28)+8パーカッションキット  
ボイスセット機能付

スプリットボイス:ボリューム、オクターブ、パン、  
スプリットポイント

デュアルボイス:ボリューム、オクターブ、パン  
タッチレスボンス:タッチセンス

ハーモニー:5タイプ

その他:鍵盤ボリューム、オクターブ、パン

## オートアカンパニメント(自動伴奏機能)

100スタイル

アカンブトラック:リズム、ベース、コード、パッド、  
フレーズ

アカンブラージ/スモール

アカンブトラック設定:オン/オフ、ボイス、ボリューム

アカンパニメントコントロール:シンクロススタート、  
スタート/ストップ、イントロ、メインA/B(オートフィル)、  
エンディング

テンポ:32~280

ビートインディケーター

フィンガリング(フィンガードモード):ノーマル、フル  
アカンブボリューム

スプリットポイント(アカンブモード)

## ワンタッチセッティング

## 全体のコントロール

トランスポーズ

メトロノーム

ランプ(PSR-420)

## デジタルエフェクト

4タイプ(アンビエンス/アンサンブル/アンビエンス+  
アンサンブル/サステイン)

レジストレーションメモリー:1~4

8レジストバンク

アカンブフリーズ

## マルチパッド

14マルチパッドキット(PSR-420)

11マルチパッドキット(PSR-320)

4パッド+ターミネート

## ソング

ソング:3曲

録音トラック:アカンブ、メロディ1,2

録音後のエディット:ボリューム、メロディトラックボイス、  
ソングクリア

マイナスイオン:3マイナスイオンモード(マイナスイオンチャンネル設定)

リピート再生

ガイド(PSR-420)

## MIDI

リモートチャンネル、キーボードアウト/ソングアウト/アカン  
ブアウト、クロック、ローカルオン/オフ、バルクダンプ、イニ  
シャルセンド

## 付属端子

DC IN 10-12V、ヘッドフォン、サステインペダル、MIDI IN/OUT

## アンプ実用最大出力

電源アダプターPA-5B使用時 6.0W+6.0W(EIAJ)

乾電池使用時 4.5W+4.5W(EIAJ)

ヘッドフォン:出力インピーダンス100 ±5%

## スピーカー

12cm×2

## 使用電池

単1乾電池(1.5V)×6

## 電池寿命

マンガン電池で約12時間

(デモ演奏連続使用:マスターボリューム約70%)

## 使用電源アダプター

PA-5B

## 消費電力

電源アダプターPA-5B使用時 36W

## 寸法(幅×奥×高mm)

933×372×127

## 重量(kg)乾電池含まず

6.1(PSR-420)

5.9(PSR-320)

## 付属品

ミュージックカートリッジ、電源アダプターPA-5B、譜面立て、  
和文シート、取扱説明書、保証書

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更する場合があります。

# インデックス

<b>ア</b>	アカンパニメントコントロール ..... 20	<b>ス</b>	スタイル ..... 16	フィンガリング ..... 18
	アカンパニメントスタイル ..... 16		スタイルファイルフォーマット ( Style File Format ) ..... 41	譜面立て ..... 5
	アカンブトラック ( オートアカンパニメント ) ..... 23		スタート(アカンパニメント) ..... 20	フル(フィンガリング) ..... 18
	アカンブトラック(ソングの録音) .. 49		ストップ(アカンパニメント) ..... 21	フレーズ (アカンパニメントトラック) ..... 23
	アカンブフリーズ ..... 37		スプリットボイス ..... 27	
	アカンブボリューム ..... 24		スプリットポイント (アカンブモード) ..... 19	<b>へ</b>
	アカンブモード ..... 17		スプリットポイント (スプリットモード) ..... 27	ベース (アカンパニメントトラック) ..... 23
	アカンブラージ/スモール ..... 23		スプリット(モード) ..... 26	ヘッドフォン ..... 5
	アンサンブル ..... 34	<b>セ</b>		
	アンビエンス ..... 34	セクション(アカンパニメント) ..... 22		
<b>イ</b>	イニシャルセンド ..... 58	<b>ソ</b>	ソング ..... 49	<b>ホ</b>
	イントロ(セクション) ..... 22		ソングクリア ..... 54	ボイス ..... 12
	イントロシンクロスタート ..... 20		ソングトラック ..... 49	ボイスセット ..... 33
<b>エ</b>	エンディング ..... 21, 22			ボイスリスト ..... 62
		<b>タ</b>		保証とアフターサービス ..... 73
<b>オ</b>	オートアカンパニメント ..... 15		タッチセンス ..... 28	ボリューム(スプリットボイス) ..... 27
	オートフィル ..... 22		タッチレスポンス ..... 28	ボリューム(デュアルボイス) ..... 29
	オクターブ ..... 31		ターミネート(マルチパッド) ..... 38	
	オクターブ(スプリットボイス) ..... 27	<b>チ</b>		<b>マ</b>
	オクターブ(デュアルボイス) ..... 29	チェインプレイ ..... 9		マイナスイオン ..... 43
	オプション商品 ..... 70	<b>テ</b>	ディスプレイ ..... 10	マスターボリューム ..... 8
<b>カ</b>	ガイド(PSR-420) ..... 47		デジタルエフェクト ..... 34	マルチパッド ..... 38
	カーソル ..... 10		デジタルエフェクトタイプ ..... 34	マルチパッドキット ..... 38
	カートリッジスタイル ..... 41		デモ曲 ..... 8	
	カートリッジスロット ..... 39		デュアルボイス ..... 29	<b>ミ</b>
	カートリッジソング ..... 40		電源 ..... 8	MIDI ..... 55
	カートリッジレジストレーション .. 42		電源アダプター ..... 4	MIDIインプリメンテーション チャート ..... 68
	乾電池 ..... 4		テンポ ..... 21	MIDI受信 ..... 56
<b>キ</b>	キーボードパーカッション ..... 14	<b>ト</b>		MIDI送信 ..... 56
		トラック (オートアカンパニメント) ..... 23		MIDI端子 ..... 55
<b>ク</b>	クロック ..... 57		トラックデータ ..... 24	MIDIバルクダンブ受信 ..... 59
			トランスポーズ ..... 32	MIDIバルクダンブ送信 ..... 59
<b>ケ</b>	鍵盤ボリューム ..... 31	<b>ノ</b>		ミュージックカートリッジ ..... 39
		ノーマル(モード) ..... 11		
<b>コ</b>	故障かな?と思ったら ..... 67		ノーマル(フィンガリング) ..... 18	<b>メ</b>
	コード ..... 17, 18	<b>ハ</b>		メイン(セクション) ..... 22
	コード(アカンパニメントトラック) 23		パーカッションキット ..... 14	メジャー ..... 52
	コードマッチ機能(マルチパッド) .. 38		パーカッションキットリスト ..... 64	メトロノーム ..... 32
<b>サ</b>	再生(ソング) ..... 53		パッド(アカンパニメントトラック) .. 23	メモライズ ..... 36
	再生(マルチパッド) ..... 38		ハーモニー ..... 30	メロディトラック(ソングの録音) .. 49
	最大同時発音数 ..... 62		ハーモニータイプ ..... 30	
	サステイン ..... 5, 34		パン ..... 31	<b>モ</b>
<b>シ</b>	GMシステム・レベル1 ..... 69		パン(スプリットボイス) ..... 27	モード ..... 11
	受信チャンネル ..... 56		パン(デュアルボイス) ..... 29	
	初期化(イニシャライズ) ..... 70	<b>ヒ</b>		<b>ラ</b>
	仕様 ..... 71	ビートインディケーター ..... 21		ランプ(PSR-420) ..... 33
	シングル(モード) ..... 17	<b>フ</b>	ファンクション ..... 10	
	シンクロスタート ..... 20		ファンクションツリー ..... 60	<b>リ</b>
			フィンガード(モード) ..... 18	リズム (アカンパニメントトラック) ..... 23
				リピート再生 ..... 46
				リモートチャンネル ..... 56
				<b>レ</b>
				レジストレーションバンク ..... 36
				レジストレーションメモリー ..... 35
				練習機能 ..... 43
				<b>ロ</b>
				ローカルオン/オフ ..... 58
				録音 ..... 50
				<b>ワ</b>
				和文シート ..... 5
				ワンタッチセッティング ..... 25



**YAMAHA**  
YAMAHA CORPORATION

**ヤマハ株式会社**

M.D.G., EMI Division © 1995 Yamaha Corporation

VT41850 505POTY1.4-01AO printed in China